

令和6年度
全国情報処理教育研究協議会

期 日 令和7年3月8日(土)



主 催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

<資料一覧>

1 令和6年度全国情報処理教育研究協議会次第

2 研究協議会資料

(1) 情報処理教育研究協議会 資料Ⅰ

(2) 情報処理教育研究協議会 資料Ⅱ

3 情報処理検定試験 新科目「情報基礎」「情報処理」手引き 第1版(令和7年3月)

※別ファイル

4 文部科学省講話資料

文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 岩館 良伸 様

※別ファイル

5 令和6年度教育研究協議会 事務局より連絡事項(3月)

※別ファイル

令和6年度全国情報処理教育研究協議会 次第

1	日 時	令和7年3月8日（土）		
2	会 場	全商会館3階中会議室を中継したオンライン開催		
3	時 程			
		司会	全商協会 事務局次長	西木 成男
9:00	開会のことば	全商協会情報処理研究部	部長	田中 雅明
	理事長挨拶	全商協会	副理事長	根岸 卓
9:05	（商業経済教育研究協議）			
	（休憩）			
		司会	全商協会情報処理研究部専門委員	
10:25	部長挨拶	全商協会情報処理研究部	部長	田中 雅明
10:27	1 令和6年度 情報処理検定試験実施報告			
	(1) 情報処理検定試験全般について			
	(2) ビジネス情報1級・2級・共通3級			
	(3) プログラミング1級・2級			
	質疑応答			
	（休憩）			
	2 新しい情報処理検定について			
	3 その他			
	(1) 情報処理競技大会について			
	(2) 全商プログラミング・コンテストについて			
	（休憩）			
11:40	（ビジネスコミュニケーション教育研究協議）			
12:00	事務局より	全商協会	事務局長	閑野 泉
12:20	文部科学省講話	文部科学省 初等中等教育局参事官（高等学校担当）付 産業教育振興室 教科調査官	岩館 良伸	
12:50	閉会のことば	全商協会商業経済研究部	部長	柳田 昌臣

※時程は目安であり、進行状況に応じて変更になる場合があります。

令和6年度

全国情報処理教育研究協議会資料

資料Ⅰ

期 日 令和7年3月8日（土）

公益財団法人 全国商業高等学校協会

情報処理研究部

検定報告

令和6年度 情報処理検定試験実施報告 ～第71・72回 情報処理検定試験～

令和6年度検定試験は、全ての級において年2回（9月・1月）実施しました。

- 令和6年9月22日（日）実施
第71回情報処理検定試験
- 令和7年1月19日（日）実施
第72回情報処理検定試験

I 検定試験全般について

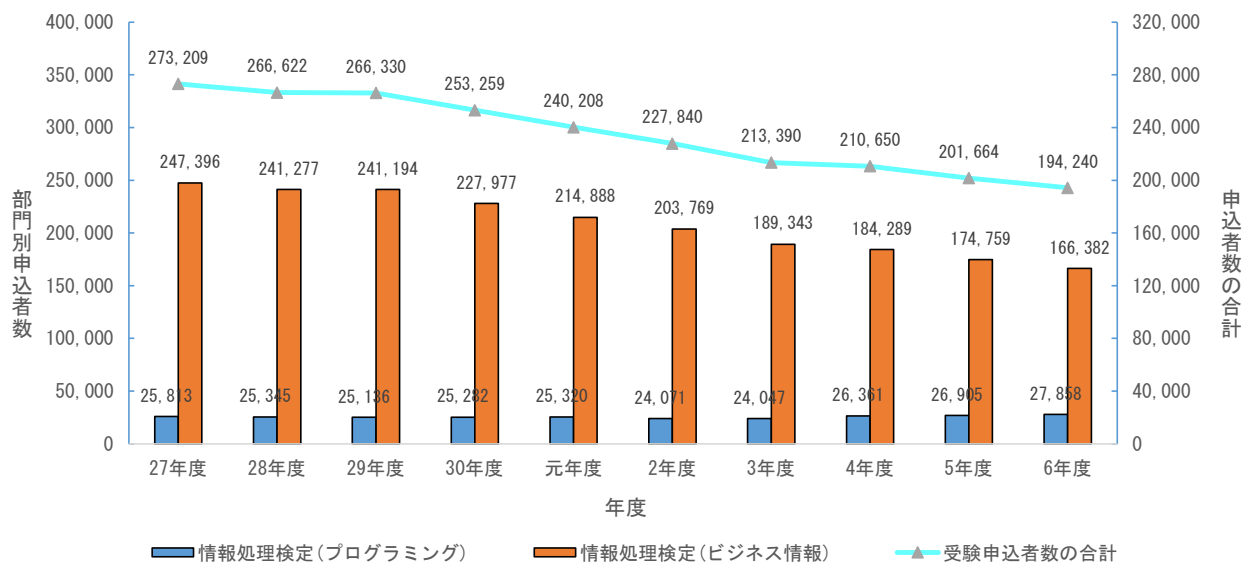
1. 受験申込者数の推移

過去10年間の受験申込者数の推移を以下に示しました。

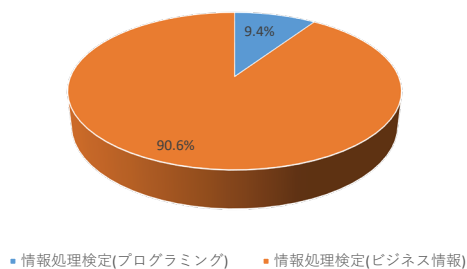
情報処理検定受験申込者数の推移

年度(平成・令和)	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
情報処理検定(プログラミング)	25,813	25,345	25,136	25,282	25,320	24,071	24,047	26,361	26,905	27,858
情報処理検定(ビジネス情報)	247,396	241,277	241,194	227,977	214,888	203,769	189,343	184,289	174,759	166,382
受験申込者数の合計	273,209	266,622	266,330	253,259	240,208	227,840	213,390	210,650	201,664	194,240

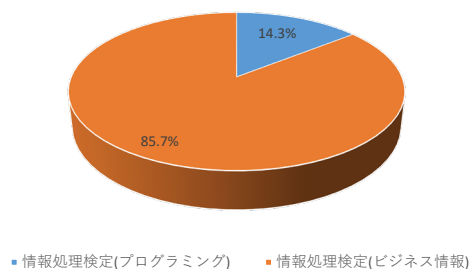
情報処理検定試験受験申込者数の推移



平成27年度における申込者数の割合



令和6年度における申込者数の割合



受験申込者数は、この 10 年間で 247,396 人から 194,240 人へと、約 8 万人が減少しています。申込者数が 20 万人を切りました。昨年度と比較しても 7,424 人の減少となっており、申込者数の減少が続いています。

その中において、プログラミングだけに限ってみると、平成 27 年度の 25,813 人から 27,858 人と、約 2 千人とわずかではありますが増加しています。

例年申し上げている通り、申込者数の減少は、商業学科に学ぶ生徒の減少が大きく影響していると考えられます。ビジネス情報においては、それに比例する形で減少が続いていますが、それに反する形でプログラミングの申込者数は増加しています。

10 年前の平成 27 年では、申込者数の割合はビジネス情報が 90%以上を占めており、プログラミングの申込者数割合は 9.4%でした。それに対して今年度はプログラミング申込者数が 14.3%と、その割合を大きく増やしています。申込者総数が大幅に減少する中での増加は非常に健闘している数字であると言えます。

これは、学習指導要領にある「企業活動に有用なプログラムと情報システムを開発するために必要な資質・能力を育成することの重要性」を、指導を行う教員、指導を受ける生徒ともにそれを認識、理解し、意識を持って取り組むという基盤が醸成されつつあることを表わしているものと考えています。

今後も、生徒に求められる検定を意識し、生徒に求められる作問を行い、一人でも多くの生徒に受検してもらえるよう心掛けていきたいと思っています。

2. 令和 6 年度の実受験者数

1. 令和 6 年度年間実受験者数の状況

令和 6 年度の第 71 回（9 月）・第 72 回（1 月）の年間実受験者数の状況です。

第 1 級は、9 月試験で 20,565 人、1 月試験では 30,173 人が受験し、今年度は 50,738 人の受験者となりました。昨年度と比較すると 9 月試験では 301 人の減少、1 月試験では 284 人の増加、年度全体では 17 人受験者が減少しました。

第 2 級は、9 月試験で 24,487 人、1 月試験では 47,846 人が受験し、今年度は 72,333 人の受験者となりました。昨年度と比較すると 9 月試験では 363 人の増加、1 月試験では 2,142 人の減少、年度全体では 1,678 人の受験者が減少しました。

第 3 級は、9 月試験で 26,082 人、1 月試験では 27,460 人が受験し、今年度は 53,542 人の受験者となりました。昨年度と比較すると 9 月試験では 969 人の減少、1 月試験では 1,594 人の減少でした。3

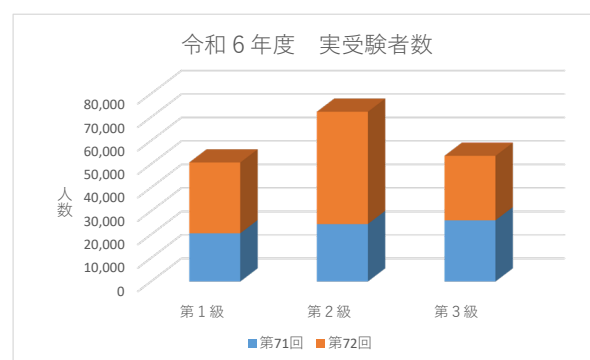
級全体では 2,563 人の受験者が減少しました。

全受験者では、9 月試験が昨年度より 808 人の減少、1 月試験が 3,454 人の減少、全体では 4,258 人の減少でした。

第 2 級、第 3 級の受験者数減少はほぼ例年と同様の傾向を示していますが、第 1 級は昨年度ほぼ同程度の受験者数となりました。これは例年とは違う傾向であり、この傾向の違いが次年度も続くのか注意して動向を見守りたいと思います。

令和 6 年度 実受験者数

	第 1 級	第 2 級	第 3 級	合計
第 71 回	20,565	24,487	26,082	71,134
第 72 回	30,173	47,846	27,460	105,479
合計	50,738	72,333	53,542	176,613

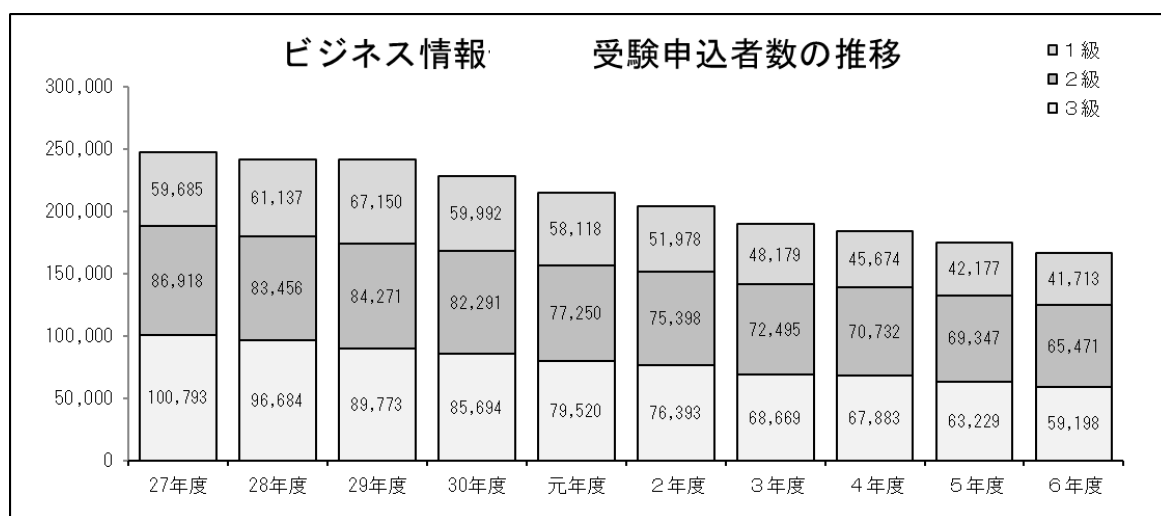


Ⅱ ビジネス情報

情報処理検定試験ビジネス情報は、新学習指導要領に変更されたことを受け、令和4度より出題形式の一部と検定基準を変更し、新学習指導要領に対応した。特に3級ではフローチャート（トレース）が出題されるなど、大きく変更した。1級、2級に関しては出題範囲の変更を行った。

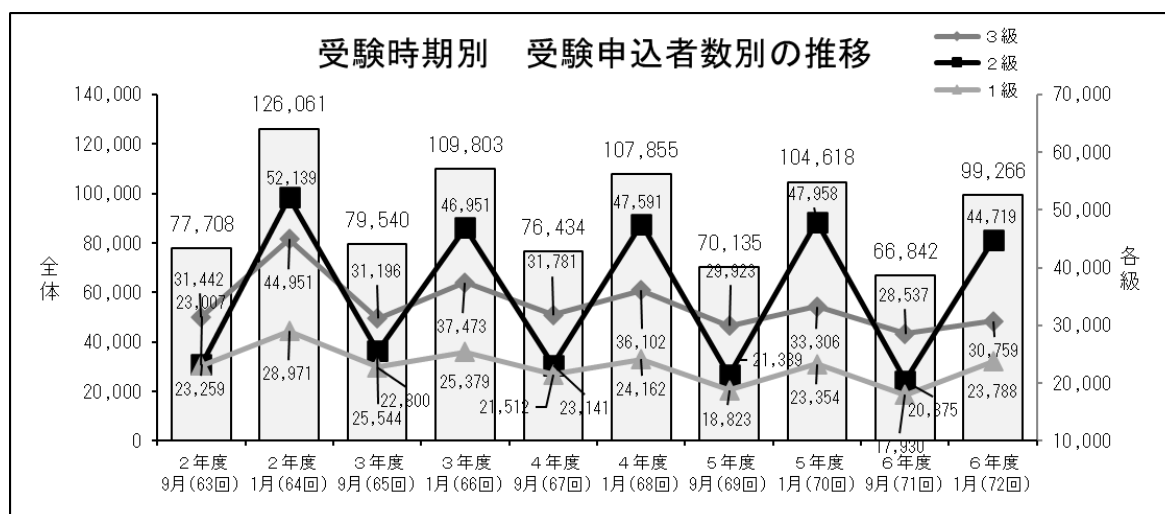
1. 受験申込者数（過去10年間）

令和6年度の受験申込者数の総計は、約166,000人で前年から8,300人程度の減少であった。その内訳は、第1級で-404人、第2級で-3,870人、第3級で-4,038人と、すべての級で減少となっており、減少傾向は継続しているが、今年度は、昨年度よりも減少数が少なくなっている。今後も高校再編や少子化の影響で、減少傾向は継続すると思われる。今後も考えさせる問題、思考力を測る問題を織り交ぜつつ、さまざまなビジネスシーンで活用できる情報処理能力を身に付けさせられるような、意味のある検定試験として位置づけたい。第3級、第2級、そして第1級へと着実なステップで学習を積んで検定試験に挑戦して頂きたい。



2. 受験時期別受験申込者数の推移（過去5年間）

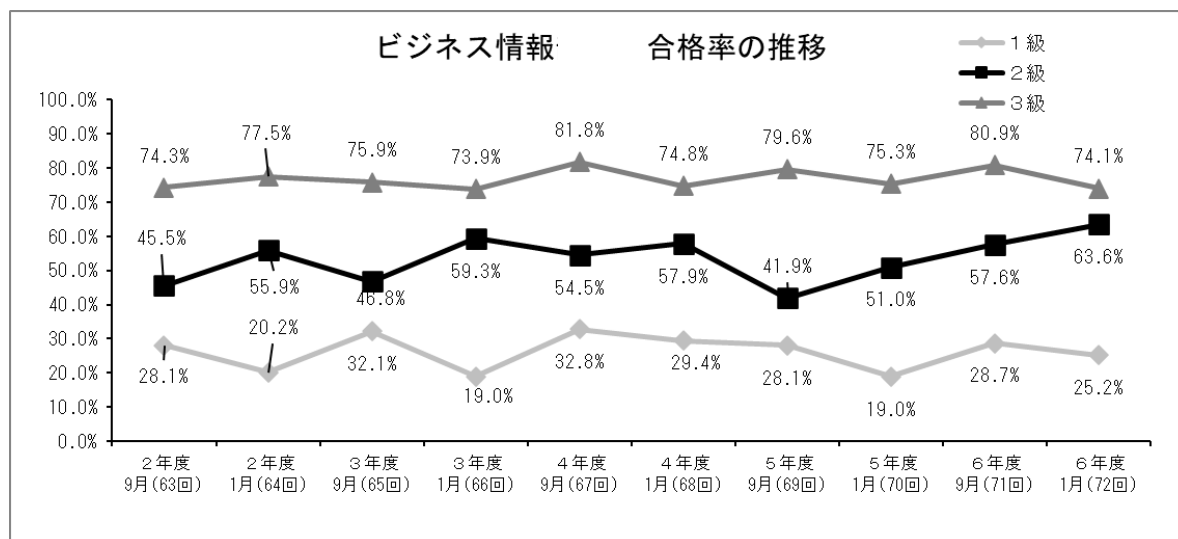
9月では、1級が-898人、2級が-637人、3級が-1,484人、全体で-3,019人となり、全級で減少となった。1月では、1級が+434人、2級が-3,239人、3級が-2,547人、全体で-5,352人となり、1級受験者の増加があったが、全体として減少となった。9月から1月の受験者数では、2級が大幅に増加する傾向があり、当初から着実に学習を積み重ね、1月に受験していると思われる。今後も、基礎的な内容を反復して学習し、実習を通して学力の定着を図って頂きたい。



3. 合格率の推移（過去5年間）

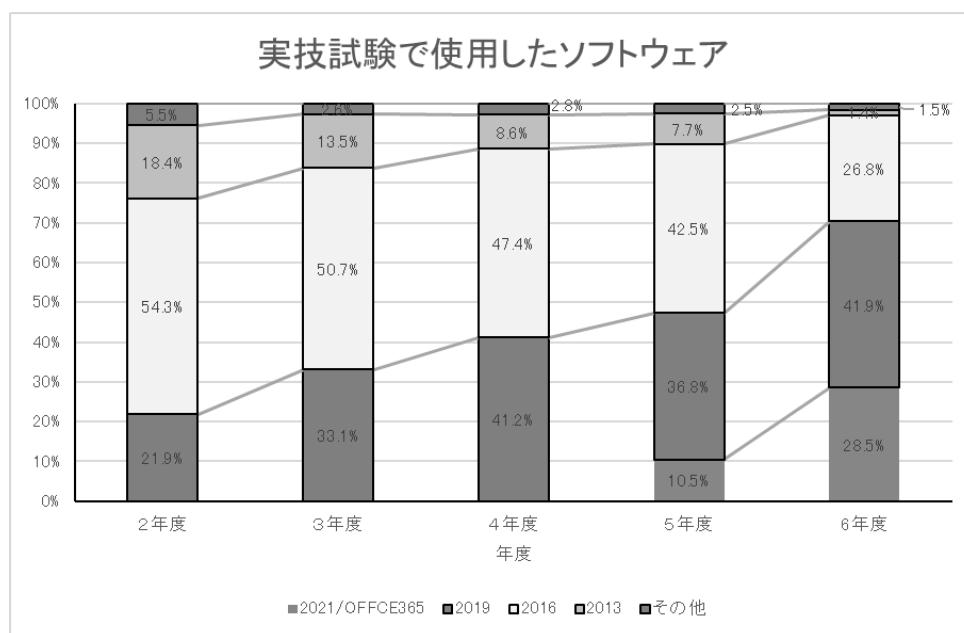
過去10年間の合格率平均は、第1級25.1%、第2級54.8%、第3級74.2%である。

令和6年度の延べ数での合格率は、第1級で25.7%、第2級で61.7%、第3級で77.4%であった。第1級では、9月（第71回）で28.7%の合格率であり、受験者数の多い1月（第72回）の合格率は25.2%であった。第2級では、9月で57.6%の合格率であり、1月が63.6%の合格率となった。9月の不合格者を含めて1年間しっかり学習した成果が出たと思われる。第3級では、1月の合格率が9月よりも低い傾向が続いている。1年を通した合格率は、各級とも安定した結果が出たと思われる。特に難易度の調整はしていない。平易な問題と応用問題を全体のバランスを見て出題している。今後も同程度の難易度の作問を心掛けていく。



4. アプリケーションソフトウェアのシェア（過去5年間）

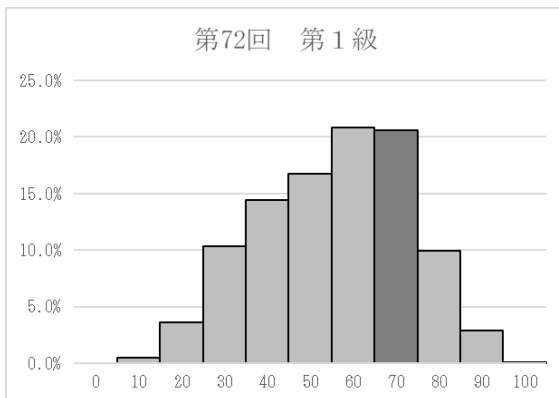
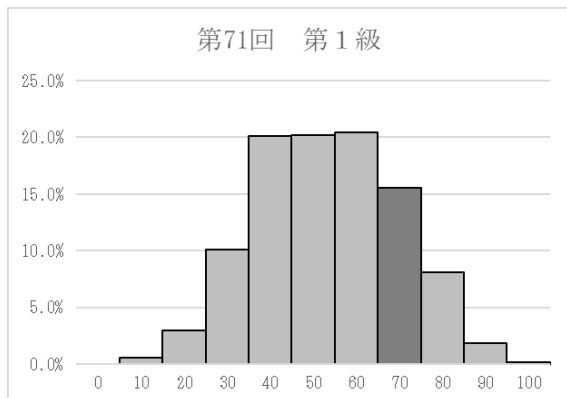
今年度からアンケート回収方法が変更になったため、昨年までと同等の比較はできないが、Excel2021（microsoft365含む）が、29.0%、Excel2019のシェアが42.5%、Excel2016が27.2%となり、あわせて全体の90%を超えるシェアとなった。「その他」の内訳は2010や2024であった。すでに2024を使用する学校も出てきており、今後は2021、2024、microsoft365が主流になると思われる。今年10月にはExcel2016、2019のサポートが終了するため、Excel2021で検証していく。今後の動向を注視していく。



5. サンプル調査からみた情報処理検定ビジネス情報の傾向 各グラフとも、「70」点台の系列の色を濃くしてある。

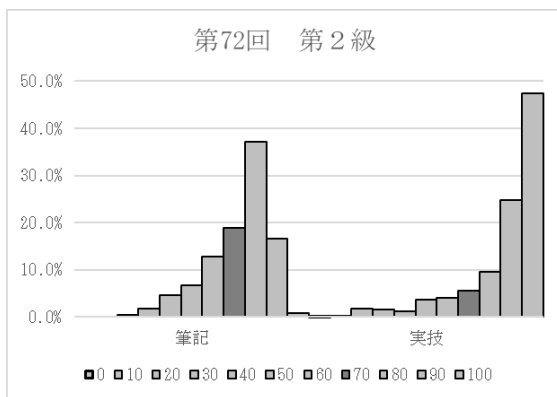
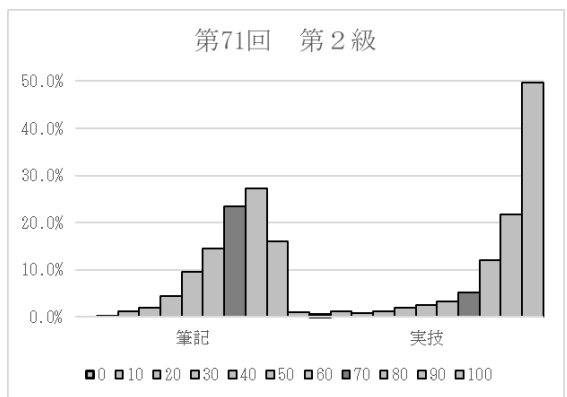
第1級

得点分布において、第71回、第72回ともに60点台が頂点となり、71回は受験時期が早いいためか40点台から60点台までが非常に多い。72回では40点から50点台が減り、60点台の%が上がっており学習の深度が上がっていると考えられる。もう少しで合格という受験者も多く、惜しい結果となった。



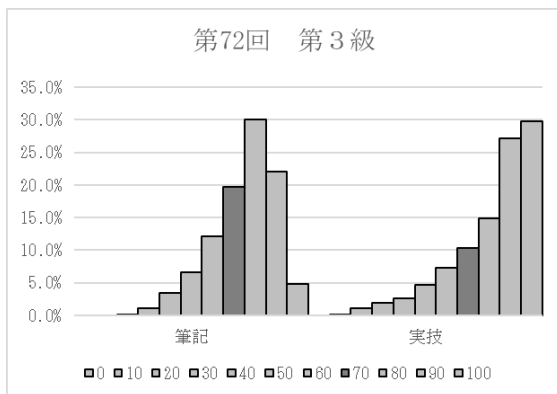
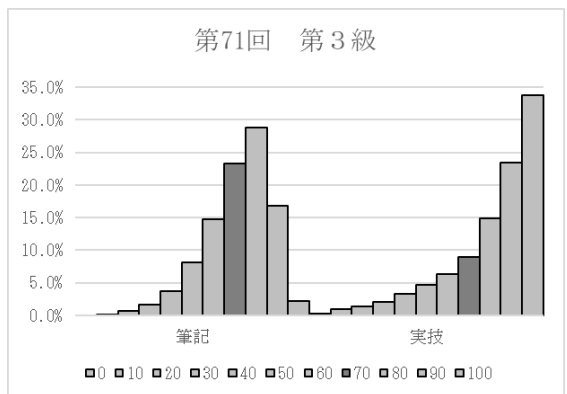
第2級

実技試験では、70点以上の割合が、第71回では89.6%、第72回では87.1%であり、ほとんどの受験生が合格点に達している。筆記試験では、第71回が、60点台14.4%、70点台23.5%、80点台27.3%、で80点台が頂点であった。第72回では、60点台12.8%、70点台18.9%、80点台37.2%と、80点台が頂点となった。筆記試験に対しての十分な時間と質の高い学習が合格に繋がると考える。



第3級

第71回、第72回ともに良く出来ている。筆記の70点以上は71.1%、77.0% 80点以上は47.8%、57.3%、実技の70点以上は80.9% 82.1% 80点以上は71.9% 71.7%であった。筆記の学習時間を意識的に増やすことが合格に繋がると考える。



【第71回（9月実施）に関して】

（1）第1級について

	5	4	3	2	1
【全般】	19	54	59	0	0

【全般について】

- ・良問であった。
- ・次回も同等のレベルの出題をお願いしたい。
- ・難易度ほど良い。
- ・深い知識を問う問題が出題されており、良問であった。
- ・難易度が適当であった。
- ・直近の中では、一番易しめの問題だった。用語の説明についても、初見であるが読みやすいものが多く易しかった。
- ・昨年度に比べると全体的に易しい。
- ・例年と同等の問題であった。
- ・バランスよく出題されており、難易度も適切だったと考えています。これ以上ひねった問題・難易度の高い問題の出題が増えると、ぐっと合格率が下がると思います。
- ・表計算のアルファベットの綴り間違いでの減点にならないように選択問題にした方が良くと思う。
- ・エクセルの読解に時間がかかる生徒が多かった。
- ・用語の説明文について、気になった先生がいた。
（例）プロトタイピングモデル：
試作品を作成し、システムの機能を利用者に提示し、～提示するだけではなく、提供して評価を受けるので、「～利用者に提供し、～」
「最適解を求める方法」方法はこれだけではないので、「最適解を求める方法の一つとして」
- ・難易度のバランスが良かった。考える問題の考えさせ方が良かった。
- ・【3】～【7】の各設問に生徒が間違いやすい問題があったように思います。
- ・実施後の訂正はやめてほしい。
- ・問題訂正「答えない」の救済措置について全て正答にしても良いのではないかと、という意見もあった。

【1】～【4】について

- ・【1】～【3】はややこしい選択肢もなく解答しやすかったと思われる。
- ・1月と9月の検定では【3】の計算問題、【4】で特に難易度の差が大きいに思う。
- ・【3】で計算問題が2題出題され、【3】4については動画のフレームについて（想像すれば何とかなるはずですが）の出題で、本校の受験者は焦っ

てしまったと言っていました。

【5】について

- ・問2や問5は、実教出版の問題集にないパターンであり、今後検定で出題されると思うと、指導サイドの工夫がもう少し必要だと感じた。
- ・問4の「受取希望日としている」がわかりにくい。「受取希望日としている注文の」などかどうか。
- ・例年より、【4】【5】は易しかった印象。

【6】

- ・問5に対して、あの形でマクロを答えさせる必要はあるのか？

【7】

- ・C16の「追加台紙」がG16の項目であることがわかりづらく、C17を「追加台紙数量」と勘違いしてしまうのではないかと感じた。いかに【7】に時間をかけられるかにかかってくる中、【4】問4で時間がかかった受験者もいたのではないかと。
- ・問3 離れた表にDMIN関数を使用するのは、データベースの範囲として考えにくいと思う。（引数を書いてあったので答えは導けると思うが）MINIFS関数やMAXIFS関数を出題内容に追加してもよいのではないかと。
- ・問4 問題文の誤りがあり受験生に不利になったように感じる。本試験場では質問や空白解答は無かったが、解答を関数で記述しようとしている受験生が数名見受けられた。
- ・ミスを誘う表記が見られた。「追加台紙数量」と、アルバム「数量」など。また、2つの表を1つのデータベースとしてデータベース関数を使わせるのは検定として良くない。
- ・写真のイメージが付きにくく、問題の意図をつかめない生徒がいた様子であった。

(2) 第2級について

	5	4	3	2	1
【筆記】	25	41	65	0	0
【実技】	29	34	70	0	0

ア. 筆記

- ・良問である。(多数)
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・妥当である。(多数)
- ・問題の言い回しで迷った生徒もいたが、実技ともに良好な問題であったと思われる。
- ・用語問題において、単語の暗記だけでは解答しにくいような工夫がなされていて良い。

【3】について

- ・5の差集合の誤答が多かったです。

【5】について

- ・前回もそうだが、少し難しくなっているように感じた。
- ・1級と2級の差が激しいため、1級に近い問題を1問程度出題することを今後も継続してほしい。
- ・理解力が問われるいい問題だったと思います。
- ・問2が難問であった。
- ・難易度のバランスが良かった。
- ・問4は1級を受験する上で、良問だったと思う。
- ・問4で表示される合計金額のセルを問題中に用意した方が良い。式のコピーの文は最後に持ってくるとうわかりにくい。

イ. 実技

- ・良問である。(多数)
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・妥当である。(多数)
- ・グラフの採点について、グラフの種類および凡例等の採点項目について採点基準をもう少し明確に示してほしい。正しい入力前提であるもののグラフや凡例の種類など正しいものを正しい位置において○なのか、ある程度許容の余地があるのかを明確に明示していただきたい。
- ・グラフの作成について、受験者が誤ってグラフを2つ作成するなどのイレギュラーが起こった際の採点の対応についても、お示しいただきたい。
- ・採点箇所に疑問が残った。「産地数」と「順位」の2つが採点箇所であり、「トマトの出荷報告書」は採点箇所ではなかったことが疑問である。
「産地数」はA列を狭める必要性があるため、採点

箇所として妥当だと思うが、「順位」ではなく、「トマトの出荷報告書」や「2. 中部地方出荷量表」でもよかったのではないだろうか。

- ・グラフのデータラベルは有無が問われているだけになっているが、本来位置も採点箇所であるべきではないだろうか。
- ・実技試験の難易度は適当であった。
- ・端数処理の箇所を増やした方が良い。簡単だった。
- ・同じ関数の箇所が多いと感じた。SUMIFS 関数など。備考が RANK 関数と ROUND 関数ができていないとできない内容だったので、IF 関数と AND 関数だけで解ける内容が良いと思う。
- ・難しい操作などもなく良問であった。
- ・備考欄の採点箇所について現行は一部分のみが採点箇所となっているが、備考欄全てができていないかを見てほしいのではないかと。
- ・報告書としては意味が不明瞭。検定問題にだけ着目している。

(3) 第3級について

	5	4	3	2	1
【筆記】	29	34	62	0	0
【実技】	31	30	64	0	0

ア. 筆記

- ・良問であった。(多数)
- ・基本的な知識を問う良問であった。
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・奨励級として、丁度良い問題であった。
- ・通年と比較しても、難易度は適当であった。
- ・生徒が普段から学習している内容からの出題であり、普段の学習を頑張ろうと思える出題であった。

【5】について

- ・問1などセル内の値を利用して計算式を設定するので、値がいくつかを判断させるのは必要だと思うが、計算能力を問うものではないと考えるので、簡単な計算式で良いように思う。

【6】について

- ・急に出てきたループに戸惑いましたが、全体的には良問でした。
- ・今回、トレースにループがあり難易度を心配したが考えられた問題だと思った。順次の問題とループの問題とでは難易度に大差が出るかと思ったが、問1が易しく、安心した。
- ・問2は、いい問題だと思う。

【7】について

- ・問1の④などで出題される平均は必要ないと思う。表計算ソフトの活用なので、受験者の計算能力を問わなくても良いのではないかな。

イ. 実技

- ・良問であった。(多数)
- ・基本的な技能をはかる問題であり、良問である。
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・奨励級として、丁度良い問題であった。
- ・例年と同等の難易度であった。
- ・Excelの基本操作が習得できているかを確認できる良い問題であった。受験生にとって理解しやすい内容で、戸惑うような表現もなく、取り組めた良い問題であったと思う。
- ・放課後に残って過去問をやらせてくださいと申し出た生徒や、授業内でスキルを磨いている生徒が合格していました。

- ・やや簡単すぎたのではないかな。

【表】について

- ・端数処理がなく簡単だった。もう少し難易度を上げてほしいと思う。

【グラフ】について

- ・採点基準について。データラベルの有無だけでなく、位置や吹き出しになっているものも不正解にしてほしい。

【第72回（1月実施）に関して】

（1） 第1級について

	5	4	3	2	1
【全般】	38	63	86	5	0

【全般】について

- ・良問であった。
- ・どの設問も、基本、発展バランスよく出題されていると感じた。
- ・問題文をよく読んで解答する必要があったが、おおむね良問であった。
- ・共通範囲にあたる用語・計算問題は、ITパスポート試験などの上級試験を意識した学習が必要であると認識できる内容であり、1級として適切な問題と感じました。
- ・大問に1つずつしっかり考えないと解けない問題はあったが、関数や用語の意味を理解している生徒には良問。
- ・新たな関数なども出題されており、常に最新の学びを要するのでとても良かった。
- ・基本をしっかりおさえられているかを問う良問であった。また、時間をかけて考えさせる問題もバランス良く配慮されていた。
- ・用語の内容を理解していないと解けない問題もあり良かった。
- ・例年通りの問題であった。関数の問題になると、生徒も迷いながらではあったが取り組んでいた。
- ・第71回と比較すると難易度が高く感じた。
- ・9月と1月で難易度の差をつけるのはやめてほしい。また、教科書や問題集にも載っていないような問題はどうか疑問に思う。（消去法で答えは導き出せるかも知れないが...）
- ・計算問題については、問題の解き方を理解しているということが大切であるため、電卓を使用してもよいと思う。実社会で実際に計算問題を手計算で計算するということは非常に少ないと思うので、実務に即したやり方ということで、検討をお願いいたします。教員側も指導に疲れます。
- ・関数を記述させる問題があるが、それは必要ないと思う。できれば記号で選択できるようにしてほしい。Excelでも、頭文字を入力すれば、選択できるようになっているから。何か、英語力を問うような問題みたいなので。
- ・適切な内容の問題であったが、関数などのスペルミスで不正解になるのは生徒がかわいそう。分かっているのに不正解になっている。実際のエクセルなどの表計算ソフトでは、そのようになっていない

いので改善してほしい。エクセルなどの関数の語群を問題文に記入しておくなどの対応をお願いします。

- ・【1】【2】【3】【6】は、比較的やさしかった。
- ・【5】【6】【7】は難易度のバランスが良かった。
- ・難易度が高いと感じた。
- ・深い理解を求める用語の問題が難しかった。
- ・少し、簡単だったのではという意見がありました。
- ・例年に比べ、取り組みやすく感じた。
- ・現在のような難易度を維持してもらいたい。
- ・もっと易しくしないと受験者は減ると思います。
- ・筆記問題の解答が「カタカナ」表記ですが、あいまいな表記があると判断が難しい為「数字」表記にしたらどうかと思います。もしくは、マークシートでの解答を希望します。
- ・（作問のご苦労は重々理解しておりますが...）最後の問題は、学習の成果を試すには指導に苦慮するところです。何か別のアプローチはないかと考えてしまいます。

【1】～【4】について

- ・【1】【2】で、曖昧な記憶では間違えそうな問題があり良かった。
- ・【3】の計算問題はひと手間が必要なもので、生徒は苦手とする問題であった。
- ・【3】【4】で、解像度を求める問題、サブネットマスクを求める問題、散布図の問題が思考力・理解力が必要な問題で良かった。
- ・【4】問3は出題の仕方がいつもと違っていた。
- ・【4】問3 サブネットマスクに関する問題は、問題集の説明だけでは解くのが難しい内容であった。
- ・【4】問3のネットワークアドレスやブロードキャストアドレスをきちんと理解していることで、必要なサブネットマスクを考えさせる良い問題だと思います。
- ・【4】問4 負の相関をただ求める内容ではなく、散布図から何がわかるか、何を分析できるのか、分析した結果どう生かすことができるか等が身につくような内容にしてもらいたい。

【5】

- ・問4の「GROUP BY」を答えさせる問題もGROUP BY句に書かれているフィールド名とSELECTの横に書かれているフィールド名が減少しているなど、受験者が安易に答えを導き出せないようにして、もう一度GROUP BYについて再勉強させる機会を与えていと考えられ良い問題だと思います。
- ・問4のSQL文が、検定試験の出題としてはあまり良

くないような気がします。SELECTの後とGROUP BYの
後に入るものが違っていたり，予約番号があれば
会員コードは決まるはずなのにGROUP化項目に入れ
たりと，わかりづらい出題でした。SQLはあまり詳
しくないのです，的外れだったり，間違っていたら
すみません。

- SQLの解答欄が少し狭かった。

【6】

- 難易度が高かった。

【7】

- 解答が長い長文での関数が，意図をとらえるまでの
時間がかかっていた。
- 5の正答率が高くなかったが，しっかりと組めばで
きる問題だと思うので，よい難易度だと感じた。
- 内容をもう少し易しくして欲しい。作成条件や作成
手順が多く，複雑である。
- OFFSETの列幅行幅の省略などについて，形式の統一
をしてほしい。
- OFFSET関数の使い方が難しかった。
- いつもより易しめ（というか取り組みやすい？）な
印象。
- 作成条件，作成手順が読みづらい。レイアウトにつ
いて，もっと考慮してもらいたい。

(2) 第2級について

	5	4	3	2	1
【筆記】	50	59	97	2	0
【実技】	55	48	104	2	0

ア. 筆記

- ・良問である。(多数)
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・妥当である。(多数)
- ・問題文をよく読んで回答する必要があったが、おおむね良問であった。
- ・解答用紙の一部に、用紙のカットミスがありました。

【4】について

- ・問4は AND 条件の中に OR が出てくるので、解きにくいと感じる。
- ・問4の WHERE 句の OR 評価を考えさせる良い問題だと思います。

【5】について

- ・難しい問題であるが、思考力を問う良問だった。
- ・少し難しく感じました。
- ・前回もそうだが、少し難しくなっているように感じた。
- ・問1はサービス問題であった。
- ・問2、問3は難問であった。特に問3は、解を導くのに時間がかかる。
- ・問4の干支に関して、過去問題のように「なお、現在は〇〇年〇〇月〇〇日」「～〇曜日」というように、表示されている干支を問題文に明示すると、問題そのものに対しての可読性が高まると思いました。

イ. 実技

- ・良問である。(多数)
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・妥当である。(多数)
- ・難易度が低いと感じた。
- ・少し簡単と感じた。
- ・少し易しかったが良い問題でした。
- ・迷いなく操作すれば12分くらいで作成できたので表作成は易しめであったと思う。
- ・〇〇ifs 関数などが中心に出題されたので、2級で他にも実用的な関数はあると思うのでそれも出題をして欲しい。
- ・区分線等の出題もなく解きやすい問題だったと感じています。

- ・実技のグラフは、区分線はあってもよいのではと感じた。
- ・模範解答の訂正がありましたが、模範解答は手入力されているのでしょうか
- ・AエリアからEエリアの中から、Aエリア～Cエリアを使ってグラフを作成ということに気付かない受験生がいたが、全体的に普通の問題だった。

(3) 第3級について

	5	4	3	2	1
【筆記】	48	40	103	0	0
【実技】	49	38	98	2	0

ア. 筆記

- ・良問であった。(多数)
- ・基礎・基本を問う良問であった。(多数)
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・妥当な問題であった。(多数)
- ・例年通りの難易度であった。(多数)
- ・学んだことが点数であらわれる良い問題であった。
- ・1年かけて勉強してきた生徒達には良問であった。
- ・ICT関連の基礎知識が問われる問題が多く、良い問題であった。
- ・日時に関する問題もあってよいかと思います。

【1】～【3】について

- ・【1】1の不正解が多かった。

【7】について

- ・問1の④平均は簡単な計算を考えさせる良問である。

イ. 実技

- ・良問であった。(多数)
- ・基礎・基本を問う良問であった。
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・妥当な問題であった。(多数)
- ・例年通りの難易度であった。
- ・学んだことが点数であらわれる良い問題であった。
- ・1年かけて勉強してきた生徒達には良問であった。
- ・表計算ソフトの基礎的な操作が問われる問題が多く、良い問題だと感じた。
- ・少し難易度が低いと感じた。
- ・もう少し難易度が高くてよかったと感じた。

【表】について

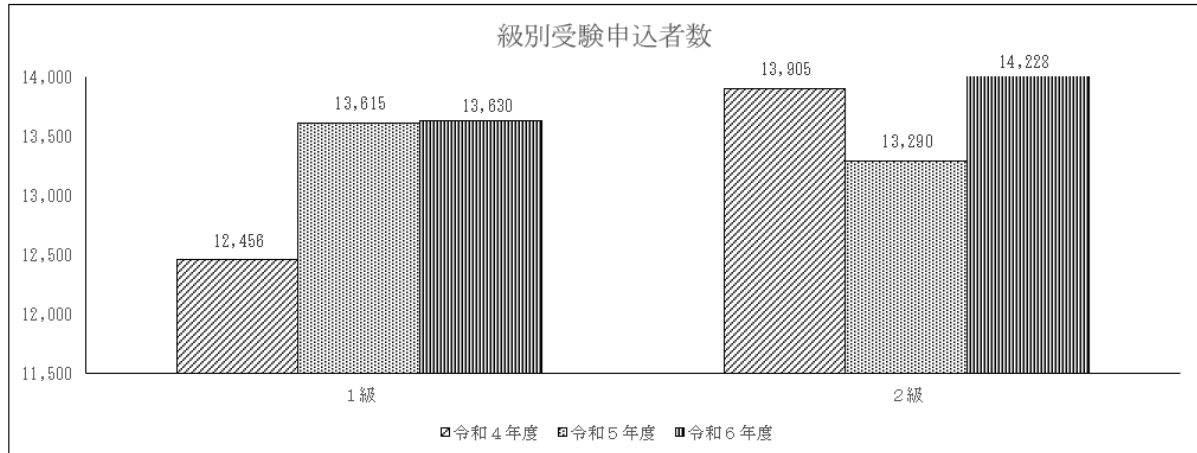
- ・文字列操作の関数(LEFT・RIGHT・MID・VALUE)を出題して欲しい。
- ・作成条件の6(2)の小数第3位未満切り捨ての処理ができなかった生徒が多かった。

Ⅲ プログラミング

第71回情報処理検定試験は令和6年9月22日(日)、第72回情報処理検定試験は令和7年1月19日(日)に全国一斉に実施された。

1. 受験申込者数（過去3年間）

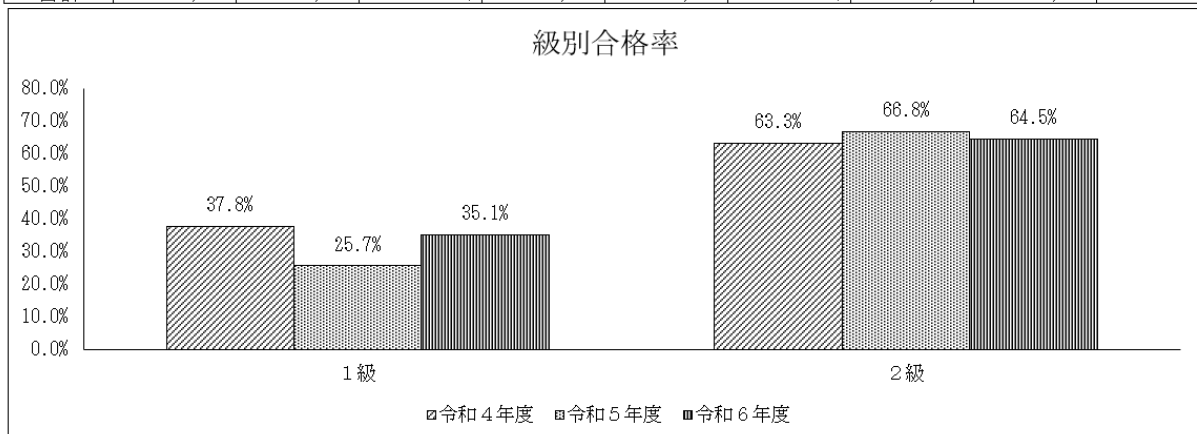
区分	令和4年度			令和5年度			令和6年度			増減率
	第67回	第68回	合計	第69回	第70回	合計	第71回	第72回	合計	
1級	4,508	7,950	12,458	4,434	9,181	13,615	4,749	8,881	13,630	0.1%
2級	5,993	7,912	13,905	5,765	7,525	13,290	6,548	7,680	14,228	7.1%
合計	10,499	15,862	26,361	10,199	16,706	26,905	11,297	16,561	27,858	3.5%



令和6年度の情報処理検定プログラミングの申込者数は、第1級13,630名、第2級14,228名、合計27,858名であった。令和5年度受験申込者数と比較すると第1級が約0.1%増、第2級が約7.1%増となった。今年度は、第1・2級合計で約3.5%増となり、昨年度よりプログラミングの受験申込者数は、953名増加し、過去10年で最も多い受験申込者数となった。

2. 実受験者数および合格者数（過去3年間）

区分	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	実受験者数	合格者数	合格率	実受験者数	合格者数	合格率	実受験者数	合格者数	合格率
1級	11,601	4,381	37.8%	12,651	3,245	25.7%	12,815	4,503	35.1%
2級	12,772	8,089	63.3%	12,066	8,057	66.8%	12,992	8,376	64.5%
合計	24,373	12,470	51.2%	24,717	11,302	45.7%	25,807	12,879	49.9%

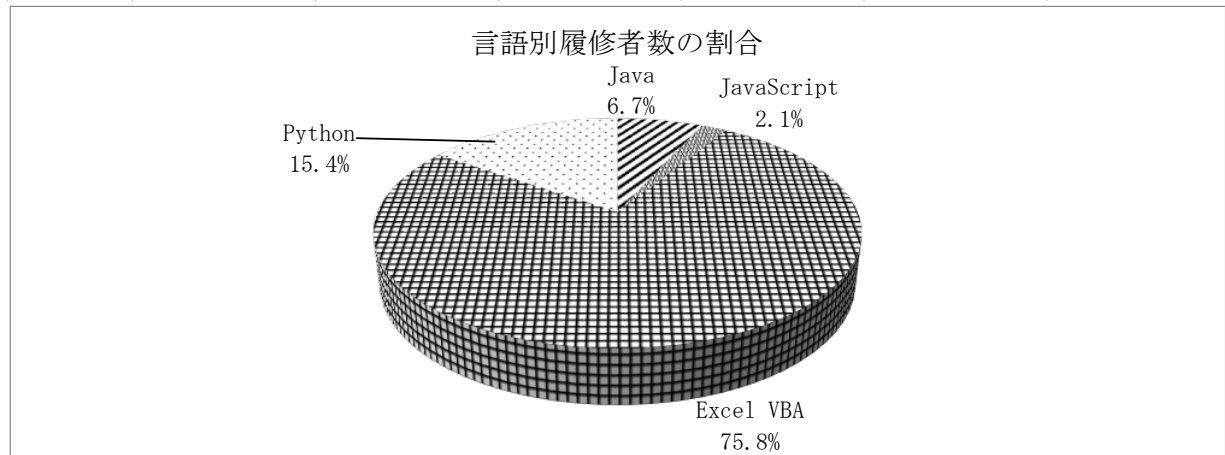


令和6年度の合格率は、第1級で約35.1%、第2級で約64.5%、第1・2級合計で約49.9%であった。令和5年度の合格率は、第1級で約25.7%、第2級で約66.8%、第1・2級合計で約45.7%であり、合格率は第1級は約9.4%増加し、第2級は約2.3%減少した。

3. 言語学習の状況（言語別履修者数）

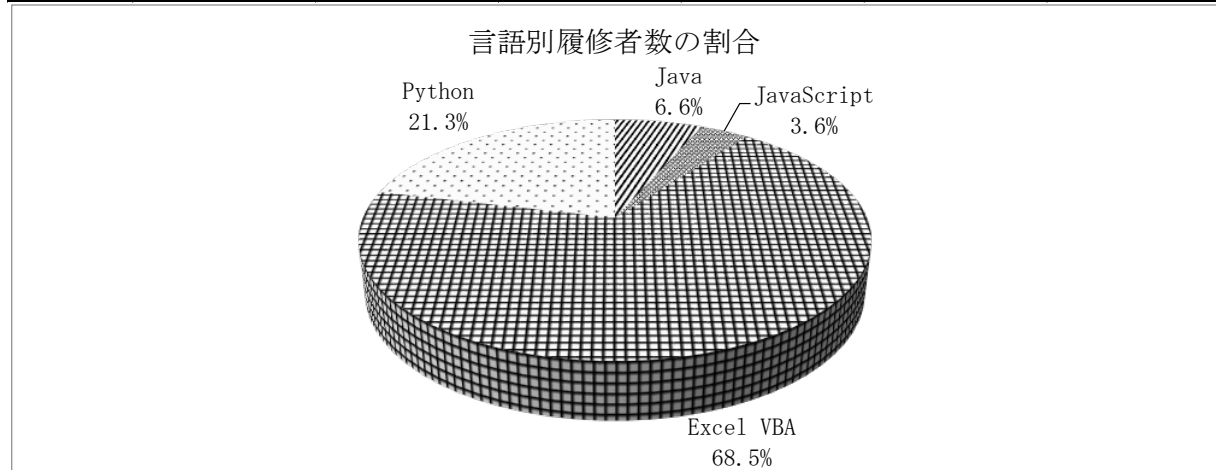
令和6年度（第71回）情報処理検定

言語	Java	JavaScript	Excel VBA	Python	その他	合計
履修者数	387	118	4,359	885	389	6,138



令和6年度（第72回）情報処理検定

言語	Java	JavaScript	Excel VBA	Python	その他	合計
履修者数	577	318	5,988	1,864	229	8,976

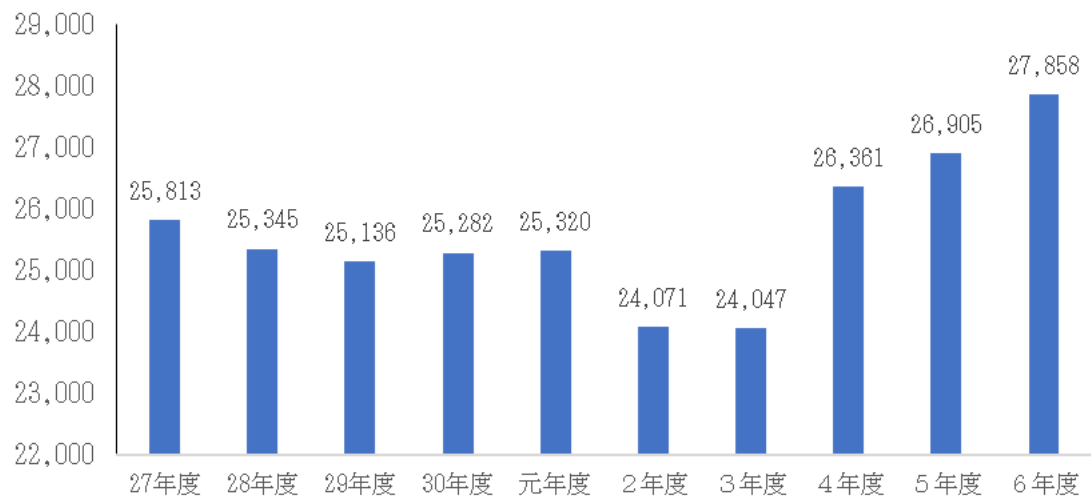


4. 過去10年間の推移

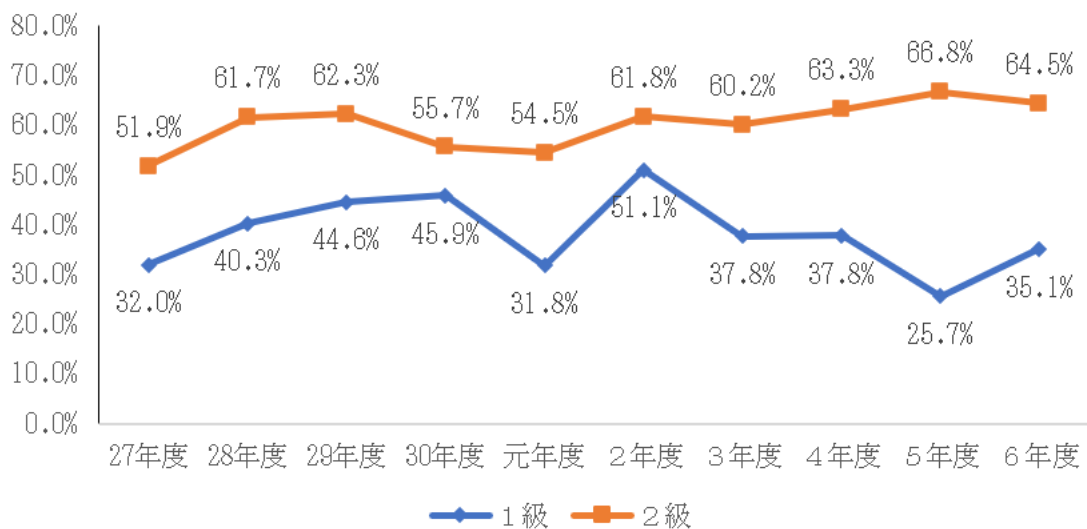
受験申込者数および合格率の推移

年度	1 級		2 級		受験申込者数合計
	申込者数	合格率	申込者数	合格率	
27年度	12,119	32.0%	13,694	51.9%	25,813
28年度	11,889	40.3%	13,456	61.7%	25,345
29年度	11,806	44.6%	13,330	62.3%	25,136
30年度	11,944	45.9%	13,338	55.7%	25,282
元年度	11,783	31.8%	13,537	54.5%	25,320
2 年度	11,175	51.1%	12,896	61.8%	24,071
3 年度	11,511	37.8%	12,536	60.2%	24,047
4 年度	12,456	37.8%	13,905	63.3%	26,361
5 年度	13,615	25.7%	13,290	66.8%	26,905
6 年度	13,630	35.1%	14,228	64.5%	27,858

受験申込者数の推移（年度）



合格率の推移（年度）



【第71回（9月実施）に関して】

（１）第１級について

	5	4	3	2	1
【全般】	12	27	58	0	0

【全般】について

- ・良問であった。（多数）
- ・生徒の到達度を測れる良問であった。（多数）
- ・例年どおりの適正な問題である。（多数）
- ・丁寧に解いて行けば解ける問題になっており、高校生が受験するには良問であった。
- ・ちょうどよい。
- ・全体的に易しい。
- ・ソートの問題が多い。
- ・全体的に時間がかかる問題であった。
- ・【６】【７】の解答不要の場所が増えているように感じる。
- ・流れ図が複雑になると文字が小さくなり、見づらい部分があった。

【６】について

- ・流れ図記号内の文字が小さすぎる。視力が弱い生徒等のことも検討していただきたい。
- ・高校生にとっては難易度が高いのではないかな。問題がややこしい。

【７】について

- ・回答の配点を検討してほしい。（多数）
- ・難解である。
- ・難易度が高く、生徒の正答率が低かった。

（２）第２級について

	5	4	3	2	1
【全般】	12	22	46	4	0

【全般】について

- ・良問だった。（多数）
- ・バランスのいい例年通りの問題だった。（多数）
- ・難易度がほどよい。
- ・全体的に時間のかかる問題だった。
- ・全体的に複雑に思えた。

【７】について

- ・難しかった。（３件）
- ・配点を見直してほしい。

【第72回（1月実施）に関して】

（1）第1級について

	5	4	3	2	1
【全般】	33	40	77	4	0

【全般】について

- ・良問であった。（多数）
- ・生徒の理解度を測るのにより問題であった。（多数）
- ・問題文をよく読む必要のある問題であり，良問であった。（多数）
- ・現在の難易度を維持してほしい。（多数）
- ・難易度が高いように感じた。
- ・やや難しい。
- ・流れ図の難易度も高くなっているが，よく読んで，意味をしっかりと取れれば解答が可能な問題であった。
- ・作問者等からの解説を公開していただきたい。

【3】について

- ・1.，5. などよく考えられた問題だと思う。
- ・1. と5. は検定問題として難易度が高かった。
- ・思考力が問われるものが多くなっているように感じた。
- ・計算も伴う新しい出題は，選択肢があってもいいかと思う。
- ・5. の出題は，2進数とビット数に関する出題と思われるが，プログラミングの出題としてややそぐわない気がした。

【5】について

- ・インサクションソートを問う問題であったが，生徒は苦手としていた。

【7】について

- ・配点を検討してほしい。（多数）
- ・例年と比べて安易な問題であった。
- ・問題（流れ図）のフォントサイズが小さい。

（2）第2級について

	5	4	3	2	1
【全般】	32	30	79	0	0

【全般】について

- ・良問だった。（大多数）
- ・妥当な問題だった。（多数）
- ・添え字の変換等，難易度的に適切だったと思う。

【1】について

- ・2. の「テキストデータに変換するソフトウェアやハードウェア」の表現に迷う生徒も多かった。

【7】について

- ・7が少し難しく感じたけど，考えると解ける問題だったため，プログラミング2級の範囲をしっかりと落とし込めている生徒にとっては良問だった。
- ・少々難解であるが，概ね良問だった。
- ・難易度はあまり高いイメージはなかったが，しっかりと配列の意味や意図を読み取る必要があると感じた。

令和6年度 第36回 全国高等学校情報処理競技大会 入賞者一覧表

令和6年7月14日(日)

会場 千葉商科大学

団体成績 (上位10校)

団体順位	都道府県	学校名	団体得点
優勝	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	427
準優勝	静岡	静岡県立静岡商業高等学校	342
第3位	北海道	北海道岩見沢緑陵高等学校	342
第4位	石川	石川県立小松商業高等学校	336
第5位	大分	大分県立情報科学高等学校	333
第6位	佐賀	佐賀県立佐賀商業高等学校	325
第7位	福島	福島県立福島南高等学校	315
第8位	愛知	愛知県立愛知商業高等学校	312
第9位	新潟	新潟県立新潟商業高等学校	307
第10位	富山	富山県立高岡商業高等学校	300

個人成績 (上位30名)

個人順位	都道府県	学校名	氏名
優勝	石川	石川県立小松商業高等学校	高城 咲希
準優勝	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	澤井 友基
第3位	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	長屋 陽大
優良賞	静岡	静岡県立静岡商業高等学校	佐藤 雄太
	大分	大分県立情報科学高等学校	加来 充風
	愛知	愛知県立東海樟風高等学校	岩本 真弥
	岡山	岡山県立笠岡商業高等学校	大島 愛子
	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	小山 来已
	北海道	北海道岩見沢緑陵高等学校	桜井 裕也
	青森	青森県立八戸商業高等学校	沼澤 獅音
佳良賞	静岡	静岡県立静岡商業高等学校	築地 龍之介
	佐賀	佐賀県立佐賀商業高等学校	阿部 奨真
	山口	山口県立徳山商工高等学校	長岡 遼矩
	石川	石川県立小松商業高等学校	藤本 葉月
	岡山	岡山県立笠岡商業高等学校	三宅 巧真
	宮崎	宮崎県立日南振徳高等学校	細川 虎楽郎
	香川	香川県立高松商業高等学校	古川 明豊
	広島	広島市立広島商業高等学校	大津 颯輝
	福島	福島県立福島商業高等学校	服部 武琉
	北海道	北海道岩見沢緑陵高等学校	三浦 碧月
	愛知	愛知県立愛知商業高等学校	阪永 えり子
	佐賀	佐賀県立佐賀商業高等学校	宮崎 星那
	富山	富山県立高岡商業高等学校	酒井 将
	三重	三重県立宇治山田商業高等学校	中村 温人
	宮城	仙台市立仙台商業高等学校	峰岸 寧々
	埼玉	埼玉県立深谷商業高等学校	常田 英里香
	新潟	新潟県立新潟商業高等学校	山川 健助
	福島	福島県立福島南高等学校	南 駿太
	岐阜	関市立関商工高等学校	林 飛龍
	福島	福島県立福島南高等学校	安齋 湊

令和7年度 第37回 全国高等学校情報処理競技大会要項

主 催 全 国 商 業 高 等 学 校 長 協 会
 公益財団法人 全国商業高等学校協会
 後 援 文 部 科 学 省 （ 申 請 予 定 ）

1. 目 的 情報処理教育の振興を図る事業の一環として実施する。
2. 日 時 令和7年7月26日（土） 午前10時（開会）
3. 会 場 千葉商科大学 市川キャンパス 千葉県市川市国府台1-3-1
4. 参加資格 全国商業高等学校長協会の会員校在籍生徒であること。
5. 参加校数 および参加人数
 - (1) 各都道府県代表1校とし、1校あたり3名とする。原則として1名の補欠登録者を認め、選手登録した生徒が出場できない場合は、その補欠登録者のみが出場できることとする。
 - (2) 各都道府県の代表校以外の会員校から、各都道府県2名を限度として、個人参加を認める。
 ※高等学校統合に伴う団体の出場については、統合により新旧高等学校が併存し、それぞれが独立した校名で会費を納入した場合でも、当該校長が認めた場合は、合同チームとして認められる。
 ※全定併設校は同一校として出場できるが、全日制・定時制それぞれ単独校のチームとして出場することもできる。
6. 参 加 費
 - (1) 団 体 …… 5,000円+1,000円×団体参加人数
 - (2) 個 人 …… 1名あたり2,000円
7. 実施要項
 - (1) 出題範囲 全商情報処理検定試験1級程度の出題範囲とし、出題は次の2部門に分ける。
 第Ⅰ部 関連用語とデータベース 検定範囲のほか、最近普及している語も含むデータベースに関するもの
 第Ⅱ部 表計算とアルゴリズム 表計算に関するもの、流れ図の完成
 - (2) 競技方法 筆記試験による個人の得点を基準とし、団体賞及び個人賞を決定する。
 - (3) 競技時間 各部門40分、2部門合わせて80分とする。
 - (4) 審 査 審査委員会を設けて審査をする。
 - (5) 表 彰 【団体優勝】文部科学大臣賞・杯（持ち回り）、全商杯・優勝旗（持ち回り）
 その他、成績優秀校にも、賞状と賞品を授与する。
 ※なお、団体優勝校は、国際交流事業に参加できる。
 【個人優勝】文部科学大臣賞・杯
 その他、成績優秀者にも、賞状と賞品を授与する。
 また、当日参加した生徒全員に参加記念品を贈呈する。

(6) 当日次第	開 場	9:00
(予定)	受 付	9:30
	開 会	10:00
	情報処理競技大会	
	第Ⅰ部 関連用語とデータベース	10:40～11:20 (40分)
	第Ⅱ部 表計算とアルゴリズム	11:40～12:20 (40分)
	昼食・待機	
	成 績 発 表	14:30
	閉 会	16:30

※ 得点が同点の場合の順位決定のルールについて

1 個人順位

- ① 第Ⅱ部の得点が高い方を上位とする。
- ② ①が同点の場合には、第Ⅱ部で、難易度が高い問題の正答で評価する。
- ③ ①・②とも同じ場合には、第Ⅰ部で、難易度が高い問題の正答で評価する。

2 団体順位

- ① 個人順位の高い選手がいる団体を上位とする。

8. 参加申込 (1) 申込期日 **令和7年6月27日(金) (期日厳守)**

(2) 申 込 先 johoh@zensho.or.jp

※申込書は、全商協会のWebページよりダウンロードし、必要事項に入力のうえ「**電子メール**」でお願いいたします。

9. そ の 他

- (1) 引率の先生や参加生徒の交通費・宿泊費などは支給しません。
- (2) **当日の参加者の昼食代は、参加校にてご負担ください。**(任意で本協会が準備するお弁当を申し込むことができます。)
- (3) 筆記用具は各自持参してください。**(電卓の使用はできません)**
- (4) 都道府県大会は、申込期日までに代表を選出できるよう実施してください。
- (5) 事前に会場を見学することや、自動車での来場はご遠慮ください。
- (6) 競技会場内への選手および運営委員以外の立ち入りを禁止いたします。
- (7) 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、必要に応じて変更が生じる場合があります。

10. 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは「全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会主催各種競技大会等における個人情報及び肖像権に係わる取扱について」をご参照ください。)

令和6年度 第45回 全商プログラミング・コンテスト入賞校・作品名一覧

第45回全商プログラミング・コンテストには、全国から7編の作品が寄せられ、慎重に審査した結果、次のように入賞作品が選ばれました。

なお、同じ賞の中では、順位は定めずに北から南へと県別・学校別に記載してあります。

最優秀賞 1 編

岐阜県立大垣商業高等学校	コンビニエンスDAIGUEST	C#
--------------	-----------------	----

優秀賞 3 編

千葉県立千葉商業高等学校	Auto-Mind	HTML, JavaScript, Python
岐阜県立岐阜商業高等学校	問題集作成サイト	HTML, JavaScript, CSS, Java
岐阜県立岐阜商業高等学校	ItemMaster	Swift

優良賞 3 編

千葉県立君津商業高等学校	ビジネクスト～これから社会に出るあなたへ～	VB
岐阜県立海津明誠高等学校	目指せ!!必殺! 仕訳人	HTML, CSS, JavaScript
岐阜県立海津明誠高等学校	あにフレ	HTML, CSS, JavaScript

奨励賞 該当作品なし

令和7年度 第46回 全国商業高等学校プログラミングコンテスト応募用紙

プログラム概要説明書

No.				学 校 名	立 高等学校			
所在地					電話番号			
プログラム名					使用言語 (行数)	(行)		
作 成 者 (学科,学年,氏名)	No.	学 科	学年	氏 名	No.	学 科	学年	氏 名
	1				6			
	2				7			
	3				8			
	4				9			
	5				10			
(共同作成の場合は、全員記入してください。10名まで。)								
使用機種等								
[作成の目的 (ねらい)]								
[処理の概要]								
サポートプログラム								
[プログラムの特徴と特に工夫・努力した点]								
[利用の効果]								
添 付 書 類 等	<input type="checkbox"/> プログラム報告書(紙), <input type="checkbox"/> プログラムリスト(紙), <input type="checkbox"/> 出力結果(紙), <input type="checkbox"/> メディア ※同梱したら□にチェックして下さい							
	その他 ()							
指 導 者 名								

令和7年度 第46回 全国商業高等学校プログラミングコンテスト作品募集要項

1. 主 催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
2. 目 的 コンピュータを効果的に利用するための創意と工夫の成果を発表する機会を提供するとともに、優秀作品の表彰を行い、情報処理教育の振興を図る。
3. プログラムの内容 学校生活に関係あるもので、例えば、教科・科目、実験、実習、生徒会活動、クラブ活動、身体測定、体力測定、その他学校行事などに関係あるものとする。(教科の延長上にある実務的な作品も認める。
 ※ 従来のプログラム言語に関わらず、オーサリングツール等のサポートソフトウェアを用いたものや表計算ソフトウェアのマクロ等を利用したデータ処理の作品等、幅広く募集する。なお、報告書等については、この要項に従うこと。
4. 使 用 言 語 Java, Visual Basic, Cなどのプログラム言語を用いたもの、及びオーサリングツールを用いたもの。
5. 提 出 物 応募用紙(プログラム概要説明書)に必要事項を記入し、プログラム報告書(説明および処理結果・出力画面等)、プログラムリスト、プログラムや**プログラム再生動画**のデータの入ったメディアをそろえて提出する。なお、書類はすべてA4用紙で統一すること。(応募作品は返却しません。また、作品受領等のご連絡はいたしませんのでご了承下さい。)
6. 表 彰 当協会において、応募作品より最優秀賞1作品、優秀賞3作品、優良賞5作品、奨励賞5作品を選考して表彰する。ただし、各賞に該当する作品がない場合、その限りではない。なお奨励賞は、過去5年間、受賞実績がない参加校のうち、一定の審査基準を満たす作品に与えられる。表彰された作品は、機関誌と当協会HPにて紹介する。(9月第2週前後にWeb公開予定)
7. 審 査 基 準 プログラムは、その独創性、明晰度、技法、利用方法及びプログラム説明書の表現力により審査を行う。具体的内容は次のとおりとする。
(1)モデルの構想 (2)プログラムの技法 (3)添付書類
8. 参 加 資 格 当協会の会員校在籍生徒であり、会費納入の対象者であること。
 なお、グループによる共同作業の場合は10名までとする。
9. 応 募 方 法 学校推薦として、各校2点までとする。作品は未発表の創作に限る。応募にあたっては著作権、肖像権を考慮して、各学校の責任のもとに十分審査し出品する。
10. 期 日 令和7年8月6日(水)必着
 (締切日以降に到着した作品は、審査いたしかねます。)
11. 申 込 先 公益財団法人 全国商業高等学校協会
 情報処理研究部 プログラミングコンテスト係
 〒160-0015 東京都新宿区大京町26番地
 電話 03(3357)7911
12. 個人情報取り扱いに関し て コンテスト応募に際して提供される個人情報は、本コンテスト活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
 (詳しくは「全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会主催各種競技大会等における個人情報及び肖像権に係わる取扱について」をご参照ください。)

提出物

プログラム概要説明書

用紙は、別紙の令和7年度応募用紙を用いる。

〔記入方法〕

- (1) 「No.」の欄は、記入しない。
- (2) 使用言語（行数）の（ ）は、プログラム言語レベル記述ステップ数を書く。
- (3) 「作成者」は、グループによる共同作業の場合は10名までとする。「使用機種等」は、使用機種名及び主要周辺機器名（型名）を書く。
- (4) 「処理の概要」は、応募プログラムが処理できる仕事の内容を箇条書きする。
- (5) 「サポートプログラム」は、実行する際に、自作プログラム以外に使用しなければならないプログラム名（ソフト名）を具体的に書く。
- (6) 「プログラムの特徴と特に工夫・努力した点」は、応募プログラムの特徴と設計技法、機能、出力、操作性等において、特に工夫や努力をした点を書く。
- (7) 「利用の効果」は、作成したプログラムを実際に使用した実績があればそのときの効果について、実際に使用した実績がなければ、どのようなところで使用したいかについて書く。
- (8) 「添付書類等」は、提出した書類すべてを記入する。

プログラム報告書

報告書は、A4判の横書き用紙を使用する。最上段に「全国商業高等学校プログラミングコンテスト参加作品」と記載し、続いてプログラム名、学校名、所在地、電話番号、学科、学年、氏名（共同作成の場合には、全員の分を記入）を明記した表紙を付けること。なお、記載内容に応じた目次をつけること。

〔記載事項〕

1. プログラム名（使用言語と行数）
2. 使用システム構成 該当プログラムに使用するハードウェア・ソフトウェア及びその構成を記載する。
3. 処理の概要 処理の内容を説明し、プログラムの全体を概観できる程度の流れ図を図示する。作品全体の流れ、機能ごとの説明を加える。
4. 操作方法と処理結果 実行上の操作手順を明記し、出力結果をできるだけ詳細に説明する。画面等は写真、ハードコピー等を添えて説明する。
5. 参考資料等 参考文献、その他があれば記述しておく。引用文献等がある場合には、必ず明記する。著作権の了解の有無についても明記する。
6. その他 指導していただいた先生など、指導者名を書く。なお、プログラム作成の過程がわかるように、作成日数や苦心した点、新しいアイデアなども書く。

プログラムリスト

A4用紙で提出する。わかりやすく、また見やすいように工夫し、両面印刷なども利用する。

プログラムの実行動画（2分以内）

Media Playerでの再生が可能なこと。また最優秀作品についてはWebで公開をします。なお、生徒の肖像権等については十分な配慮をお願いします。また、プログラムの実行動画は採点対象にはなりません。

プログラム、データ、実行動画のメディア

CD-R、DVD-R、フラッシュメモリ等、各校で扱いやすいものでよい。

令和6年度

全国情報処理教育研究協議会資料

資料Ⅱ

- 1 令和6年度 検定基準
- 2 令和6年度 検定問題（第71回・第72回）
- 3 平成6年度 申込者数・受験者数・合格者数集計表

期 日 令和7年3月8日（土）

公益財団法人 全国商業高等学校協会

情報処理研究部

令和6年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第1級検定基準（1）

共通範囲	<p>(1)ハードウェア・ソフトウェアに関する知識</p> <p>＜システムの開発と運用＞</p> <p>開発手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォーターフォールモデル プロトタイピングモデル スパイラルモデル <p>開発工程</p> <ul style="list-style-type: none"> 要件定義 外部設計 内部設計 プログラム設計 プログラミング テスト <ul style="list-style-type: none"> 単体テスト 結合テスト システムテスト 運用・保守 ブラックボックステスト ホワイトボックステスト <p>開発期間に関する計算（人日 人月）</p> <p>＜性能・障害管理＞</p> <p>RASIS</p> <ul style="list-style-type: none"> 信頼性 可用性 保守性 完全性 安全性 <p>稼働率</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均故障間隔（MTBF） 平均修復時間（MTTR） <p>稼働率に関する計算</p> <p>スループット</p> <p>レスポンスタイム</p> <p>ターンアラウンドタイム</p> <p>障害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> フォールトトレラント フォールトアバイダンス フェールセーフ フェールソフト フェールブルーフ <p>NAS</p> <p>RAID</p> <ul style="list-style-type: none"> ミラーリング ストライピング <p>記憶容量に関する計算</p>	<p>(2)通信ネットワークに関する知識</p> <p>＜ネットワークの構成＞</p> <p>OSI参照モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ハブ ルータ <ul style="list-style-type: none"> パケットフィルタリング ゲートウェイ プロトコル <ul style="list-style-type: none"> TCP/IP HTTP FTP POP IMAP SMTP DHCP MACアドレス IPアドレス（IPv4 IPv6 CIDR） <ul style="list-style-type: none"> プライベートIPアドレス グローバルIPアドレス サブネットマスク ネットワークアドレス ブロードキャストアドレス ホストアドレス ポート番号 NAT DMZ DNS VPN 通信速度（bps）に関する計算 <p>＜ネットワークの活用＞</p> <p>シンククライアント</p> <p>Cookie</p> <p>MIME</p> <p>VoIP</p>	<p>(3)情報モラルとセキュリティに関する知識</p> <p>＜セキュリティ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通鍵暗号方式 公開鍵暗号方式 電子署名 <ul style="list-style-type: none"> デジタル署名 認証局（CA） SSL（TLS） HTTPS ログファイル <ul style="list-style-type: none"> システムログ アクセスログ インシデント <ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメント リスクアセスメント クロスサイトスクリプティング ソーシャルエンジニアリング SQLインジェクション

令和6年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第1級検定基準（2）

ビジネス情報部門範囲	<p>(1) 関連知識</p> <p>＜問題解決の手法＞</p> <p>ブレインストーミング</p> <p>KJ法</p> <p>決定表（デシジョンテーブル）</p> <p>DFD</p> <p>データフロー</p> <p>データの源泉と吸収</p> <p>プロセス</p> <p>データストア</p> <p>パート図（PERT）</p> <p>アローダイアグラム</p> <p>クリティカルパス</p> <p>ABC分析</p> <p>バレート図</p> <p>Zグラフ</p> <p>回帰分析</p> <p>散布図</p> <p>正の相関</p> <p>負の相関</p> <p>回帰直線（近似曲線）</p> <p>線形計画法</p> <p>ヒストグラム</p> <p>特性要因図</p> <p>ファンチャート</p> <p>SWOT分析</p> <p>内的要因（強み 弱み）</p> <p>外的要因（機会 脅威）</p> <p>PPM分析（金のなる木 花形 問題児 負け犬）</p> <p>＜経営計画と管理＞</p> <p>コンプライアンス</p> <p>セキュリティポリシー</p> <p>ERP（経営資源計画）</p> <p>CRM（顧客関係管理）</p> <p>BPR（業務プロセス再設計）</p> <p>コアコンピタンス</p> <p>アウトソーシング</p> <p>アライアンス</p> <p>ハウジングサービス</p> <p>ホスティングサービス</p> <p>ASP</p> <p>SaaS</p> <p>PaaS</p> <p>IaaS</p>	<p>(2) 表計算ソフトウェアの活用</p> <p>＜関数の利用＞</p> <p>数学/三角</p> <p>CEILING</p> <p>FLOOR</p> <p>ABS</p> <p>RANDBETWEEN</p> <p>統計</p> <p>FORECAST</p> <p>MEDIAN</p> <p>MODE</p> <p>検索/行列</p> <p>OFFSET</p> <p>ROW</p> <p>COLUMN</p> <p>データベース</p> <p>DSUM</p> <p>DAVERAGE</p> <p>DMAX</p> <p>DMIN</p> <p>DCOUNT</p> <p>DCOUNTA</p> <p>文字列操作</p> <p>SUBSTITUTE</p> <p>論理</p> <p>IFERROR</p> <p>＜応用機能＞</p> <p>最適解（ソルバー）</p> <p>手続きの自動化（マクロ機能）</p>	<p>(3) データベースソフトウェアに関する知識</p> <p>＜DBMS＞</p> <p>DBMSの機能</p> <p>排他制御</p> <p>ロック</p> <p>共有ロック</p> <p>専有ロック</p> <p>デッドロック</p> <p>障害回復</p> <p>トランザクション</p> <p>コミット</p> <p>ジャーナルファイル</p> <p>チェックポイント</p> <p>ロールバック</p> <p>ロールフォワード</p> <p>＜データベースの設計＞</p> <p>データベース設計の手順</p> <p>概念設計</p> <p>論理設計</p> <p>物理設計</p> <p>データ構造の設計</p> <p>非正規形</p> <p>正規化（第1～第3）</p> <p>E-R図</p> <p>エンティティ（実体）</p> <p>アトリビュート（属性）</p> <p>リレーションシップ（関係）</p> <p>整合性制約（参照整合性）</p> <p>＜SQL＞</p> <p>INSERT INTO ～ VALUES ～</p> <p>UPDATE ～ SET ～ WHERE ～</p> <p>DELETE FROM ～ WHERE ～</p> <p>表名の別名指定</p> <p>DISTINCT</p> <p>LIKE（ワイルドカード % _）</p> <p>ORDER BY（ASC DESC）</p> <p>GROUP BY（HAVING）</p> <p>BETWEEN</p> <p>IN（NOT IN）</p> <p>副問合せ</p> <p>EXISTS（NOT EXISTS）</p>
プログラミング部門範囲	<p>(1) 関連知識</p> <p>16進数の計算</p> <p>2進化10進数</p> <p>固定小数点形式</p> <p>浮動小数点形式</p> <p>補数</p> <p>クロック周波数</p> <p>MIPS</p> <p>情報落ち</p> <p>桁落ち</p> <p>丸め誤差</p> <p>論理回路</p> <p>AND OR NOT XOR</p> <p>ベン図（集合・論理演算）</p> <p>トップダウンテスト</p> <p>スタブ</p> <p>ボトムアップテスト</p> <p>ドライバ</p> <p>回帰（リグレッション）テスト</p> <p>負荷テスト</p> <p>機能テスト</p> <p>性能テスト</p> <p>シフト演算</p> <p>論理シフト</p> <p>算術シフト</p>	<p>データ構造</p> <p>キュー</p> <p>スタック</p> <p>リスト</p> <p>ポインタ</p> <p>木構造</p> <p>オブジェクト指向</p> <p>オブジェクト</p> <p>クラス</p> <p>インスタンス</p> <p>カプセル化</p> <p>プログラム呼び出し</p> <p>リカーシブ（再帰）</p> <p>リロケータブル（再配置）</p> <p>リエントラント（再入）</p> <p>リユーザブル（再使用）</p> <p>(2) アルゴリズム</p> <p>関数の呼び出し</p> <p>コントロールブレイク</p> <p>多次元配列</p> <p>二分探索</p> <p>順位付け</p> <p>ソート</p> <p>バブルソート（交換法）</p> <p>セレクションソート（選択法）</p> <p>インサージョンソート（挿入法）</p>	<p>(3) プログラム言語（マクロ言語）</p> <p>変数</p> <p>Double</p> <p>Boolean</p> <p>配列</p> <p>一次元配列</p> <p>多次元配列</p> <p>引数</p> <p>関数</p> <p>Left</p> <p>Right</p> <p>Mid</p> <p>Len</p> <p>Call</p> <p>Function ～ End Function</p> <p>Exit Do</p> <p>Exit For</p> <p>Select Case ～ End Select</p> <p>マルチステートメント（：）</p> <p>行の継続（_）</p>

令和6年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第2級検定基準（1）

共 通 範 囲	<p>(1)ハードウェア・ソフトウェアに関する知識</p> <p>＜ハードウェアの構成＞</p> <p>OCR</p> <p>OMR</p> <p>磁気ディスク装置</p> <p>磁気ヘッド</p> <p>アクセスアーム</p> <p>シリンドラ</p> <p>トラック</p> <p>セクタ</p> <p>UPS</p> <p>＜ソフトウェアに関する知識＞</p> <p>ドット</p> <p>ピクセル（画素）</p> <p>解像度（dpi ppi）</p> <p>画像容量の計算</p> <p>RGB</p> <p>CMYK</p> <p>圧縮</p> <p>解凍</p> <p>アーカイバ</p> <p>プラグアンドプレイ</p> <p>＜ディレクトリとファイル＞</p> <p>ルートディレクトリ</p> <p>サブディレクトリ</p> <p>拡張子</p> <p>テキストファイル</p> <p>バイナリファイル</p> <p>ファイル形式</p> <p>BMP</p> <p>JPEG</p> <p>GIF</p> <p>PNG</p> <p>MPEG</p> <p>MIDI</p> <p>MP3</p> <p>CSV</p> <p>PDF</p> <p>ZIP</p> <p>＜関連知識＞</p> <p>2進数の計算</p> <p>ISO</p> <p>JIS</p> <p>ANSI</p> <p>IEEE</p> <p>文字コード</p> <p>JISコード</p> <p>ASCIIコード</p> <p>Unicode</p> <p>TCO（総保有コスト）</p> <p>イニシャルコスト</p> <p>ランニングコスト</p> <p>ワイルドカード（* ？）</p>	<p>(2)通信ネットワークに関する知識</p> <p>＜ネットワークの構成＞</p> <p>アナログ回線</p> <p>デジタル回線</p> <p>パケット</p> <p>LAN</p> <p>有線LAN</p> <p>無線LAN</p> <p>Wi-Fi</p> <p>SSID</p> <p>テザリング</p> <p>＜ネットワークの活用＞</p> <p>ピアツーピア</p> <p>クライアントサーバシステム</p> <p>ストリーミング</p> <p>グループウェア</p>	<p>(3)情報モラルとセキュリティに関する知識</p> <p>＜権利の保護と管理＞</p> <p>知的財産権</p> <p>産業財産権</p> <p>著作権</p> <p>肖像権</p> <p>著作権法</p> <p>個人情報保護法</p> <p>不正アクセス禁止法</p> <p>フリーウェア</p> <p>シェアウェア</p> <p>サイトライセンス</p> <p>OSS</p> <p>＜セキュリティ管理＞</p> <p>多要素認証</p> <p>多段階認証</p> <p>ワンタイムパスワード</p> <p>シングルサインオン（SSO）</p> <p>アクセス許可</p> <p>フルコントロール</p> <p>読み取り</p> <p>書き込み</p> <p>ファイアウォール</p> <p>セキュリティホール</p> <p>キログガー</p> <p>ランサムウェア</p> <p>ガンプラー</p> <p>暗号化</p> <p>復号</p> <p>バックアップ</p>

**令和6年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第2級検定基準（2）**

ビジネス情報部門範囲	<p>(1) 表計算ソフトウェアの活用</p> <p>＜関数の利用＞</p> <p>日付/時刻</p> <p>DATE</p> <p>YEAR</p> <p>MONTH</p> <p>DAY</p> <p>WEEKDAY</p> <p>TIME</p> <p>HOUR</p> <p>MINUTE</p> <p>SECOND</p> <p>数学/三角</p> <p>INT</p> <p>MOD</p> <p>SUMIFS</p> <p>統計</p> <p>AVERAGEIFS</p> <p>COUNTIFS</p> <p>LARGE</p> <p>SMALL</p> <p>検索/行列</p> <p>VLOOKUP</p> <p>HLOOKUP</p> <p>INDEX</p> <p>MATCH</p> <p>文字列操作</p> <p>TEXT</p> <p>FIND</p> <p>SEARCH</p> <p>論理</p> <p>AND</p> <p>OR</p> <p>NOT</p> <p>文字列結合（&）</p>	<p>＜応用操作＞</p> <p>複合参照</p> <p>フィルタ</p> <p>マルチシート</p> <p>グループ集計（小計）</p> <p>クロス集計（ピボットテーブル）</p> <p>最適解（ゴールシーク）</p> <p>＜グラフ＞</p> <p>散布図</p> <p>複合グラフ</p> <p>2軸上の折れ線と棒</p> <p>2軸上の折れ線</p> <p>体裁処理</p> <p>区分線</p> <p>軸の反転</p>	<p>(2) データベースソフトウェアの活用</p> <p>＜リレーショナル型データベース＞</p> <p>データベース</p> <p>DEMS</p> <p>基本表（表）</p> <p>テーブルの構成要素</p> <p>テーブル（表）</p> <p>レコード（行）</p> <p>フィールド（列）</p> <p>データ型</p> <p>数値型</p> <p>文字型</p> <p>日付/時刻型</p> <p>仮想表（ビュー表）</p> <p>関係演算</p> <p>選択</p> <p>射影</p> <p>結合</p> <p>集合演算</p> <p>和</p> <p>積</p> <p>差</p> <p>キーの種類</p> <p>主キー</p> <p>複合キー（連結キー）</p> <p>外部キー</p> <p>＜SQL＞</p> <p>SELECT ～ FROM ～ WHERE ～</p> <p>比較演算子</p> <p>= > >= < <= <></p> <p>算術演算子</p> <p>+ - * /</p> <p>論理演算子</p> <p>AND OR NOT</p> <p>関数</p> <p>SUM</p> <p>AVG</p> <p>MAX</p> <p>MIN</p> <p>COUNT</p> <p>列名の別名指定（AS）</p>
プログラミング部門範囲	<p>(1) 関連知識</p> <p>翻訳（コンパイル）</p> <p>機械語</p> <p>テストラン</p> <p>文法エラー</p> <p>論理エラー</p> <p>デバッグ</p> <p>言語プロセッサ</p> <p>コンパイラ</p> <p>インタプリタ</p> <p>アセンブラ</p> <p>プログラム言語</p> <p>C言語</p> <p>Java</p> <p>アセンブリ言語</p> <p>簡易言語</p> <p>データチェック</p> <p>シーケンスチェック</p> <p>リミットチェック</p> <p>トータルチェック</p> <p>ニューメリックチェック</p> <p>チェックディジットチェック</p> <p>グローバル変数</p> <p>ローカル変数</p>	<p>(2) アルゴリズム</p> <p>手続きの呼び出し</p> <p>データの集計</p> <p>データの件数</p> <p>最大値・最小値</p> <p>一次元配列</p> <p>線形探索</p> <p>多分岐</p>	<p>(3) プログラム言語（マクロ言語）</p> <p>変数</p> <p>Long</p> <p>String</p> <p>定数</p> <p>比較演算子</p> <p>= > >= < <= <></p> <p>算術演算子</p> <p>+ - * / ^ Mod %</p> <p>代入演算子</p> <p>=</p> <p>論理演算子</p> <p>And Or Not</p> <p>文字列結合（&）</p> <p>注釈（'）</p> <p>関数</p> <p>MsgBox</p> <p>InputBox</p> <p>Val</p> <p>Int</p> <p>If ～ Then ～ Else ～ End If</p> <p>For ～ Next</p> <p>Do While ～ Loop</p> <p>Sub ～ End Sub</p>

令和6年度 情報処理検定試験級別出題範囲 第3級検定基準

共通範囲	<p>(1)ハードウェア・ソフトウェアに関する知識</p> <p>＜ハードウェアの構成＞</p> <p>集積回路</p> <p>ROM</p> <p>RAM</p> <p>CPU（中央処理装置）</p> <p>制御装置</p> <p>演算装置</p> <p>記憶装置</p> <p>主記憶装置</p> <p>補助記憶装置（媒体）</p> <p>ハードディスク</p> <p>SSD</p> <p>DVD</p> <p>ブルーレイディスク</p> <p>フラッシュメモリ</p> <p>入力装置</p> <p>タッチパネル</p> <p>イメージスキャナ</p> <p>バーコードリーダ</p> <p>出力装置</p> <p>インクジェットプリンタ</p> <p>レーザプリンタ</p> <p>プロジェクタ</p> <p>インタフェース</p> <p>USB</p> <p>HDMI</p> <p>Bluetooth</p> <p>＜ソフトウェアの構成＞</p> <p>OS（オペレーティングシステム）</p> <p>アプリケーションソフトウェア</p> <p>インストール</p> <p>アンインストール</p> <p>アップデート</p> <p>＜パーソナルコンピュータの操作＞</p> <p>GUI</p> <p>画面</p> <p>アイコン カースル スクロール</p> <p>＜関連知識＞</p> <p>2進数（ビット バイト）</p> <p>処理速度の単位（ms μs ns ps fs）</p> <p>記憶容量の単位（KB MB GB TB PB）</p> <p>フォーマット</p> <p>ファイル名</p> <p>フォルダ（ディレクトリ）</p> <p>バッチ処理</p> <p>リアルタイム処理</p> <p>EOS（電子発注システム）</p> <p>EC（電子商取引）</p> <p>POSシステム</p> <p>バーコード</p> <p>JANコード</p> <p>二次元バーコード（QRコード）</p> <p>RFID</p> <p>非接触型ICカード</p> <p>AI</p> <p>IoT</p>	<p>(2)通信ネットワークに関する知識</p> <p>プロバイダ</p> <p>HTML</p> <p>ブラウザ</p> <p>URL</p> <p>ドメイン名</p> <p>ハイパーリンク</p> <p>検索（サーチ）エンジン</p> <p>Webサーバ</p> <p>メールサーバ</p> <p>メーラ</p> <p>Webメール</p> <p>電子メールの送信</p> <p>宛先（To）</p> <p>カーボンコピー（Cc）</p> <p>ブラインドカーボンコピー（Bcc）</p> <p>添付ファイル</p> <p>ファイルサーバ</p> <p>プリントサーバ</p> <p>オンラインストレージ</p> <p>アップロード</p> <p>ダウンロード</p> <p>(3)情報モラルとセキュリティに関する知識</p> <p>＜情報モラル＞</p> <p>プライバシーの侵害</p> <p>フィルタリング</p> <p>有害サイト</p> <p>迷惑メール</p> <p>スパムメール</p> <p>チェーンメール</p> <p>ネット詐欺</p> <p>フィッシング詐欺</p> <p>ワンクリック詐欺</p> <p>＜セキュリティ＞</p> <p>認証</p> <p>生体認証（バイオメトリクス認証）</p> <p>ユーザID</p> <p>パスワード</p> <p>アクセス制限</p> <p>アクセス権</p> <p>不正アクセス</p> <p>なりすまし</p> <p>マルウェア</p> <p>コンピュータウイルス</p> <p>スパイウェア</p> <p>ワーム</p> <p>トロイの木馬</p> <p>ウイルス対策ソフトウェア</p> <p>ウイルス定義ファイル（パターンファイル）</p> <p>ワクチンプログラム</p> <p>(4)プログラムに関する知識</p> <p>＜アルゴリズム＞</p> <p>手続きの基本構造</p> <p>順次</p> <p>選択</p> <p>繰り返し</p> <p>回数判定</p> <p>条件判定</p> <p>流れ図（フローチャート）</p> <p>トレース</p> <p>データの入出力</p> <p>算術演算</p> <p>論理演算</p> <p>表示・印字</p> <p>変数</p> <p>定数</p>	<p>(5)表計算ソフトウェアに関する知識</p> <p>＜表の作成＞</p> <p>ワークシート</p> <p>セル</p> <p>行</p> <p>列</p> <p>行高</p> <p>列幅</p> <p>セルの表示形式</p> <p>， ¥ % 小数の表示桁数設定</p> <p>セル内の配置</p> <p>文字位置</p> <p>文字方向</p> <p>セル結合</p> <p>複写</p> <p>移動</p> <p>罫線</p> <p>細線</p> <p>太線</p> <p>比較演算子</p> <p>= > >= < <= <></p> <p>算術演算子</p> <p>+ - * / ^</p> <p>再計算</p> <p>引数</p> <p>相対参照</p> <p>絶対参照</p> <p>並べ替え</p> <p>キー項目</p> <p>昇順</p> <p>降順</p> <p>＜関数の利用＞</p> <p>合計（SUM）</p> <p>平均（AVERAGE）</p> <p>最大値（MAX）</p> <p>最小値（MIN）</p> <p>順位付け（RANK）</p> <p>判定（IF）</p> <p>件数（COUNT COUNTA）</p> <p>端数処理（ROUND ROUNDUP ROUNDDOWN）</p> <p>文字列の操作（LEN LEFT RIGHT MID）</p> <p>文字列の変換（VALUE）</p> <p>日時（NOW TODAY）</p> <p>関数のネスト（入れ子）</p> <p>＜グラフ＞</p> <p>棒グラフ</p> <p>集合</p> <p>積み上げ</p> <p>100%積み上げ</p> <p>折れ線グラフ</p> <p>円グラフ（切り離し円）</p> <p>レーダー（レーダーチャート）</p> <p>行列の切り替え</p> <p>体裁処理</p> <p>タイトル</p> <p>軸</p> <p>ラベル</p> <p>凡例</p>

2024年 9 月22日実施

令和 6 年度（第 71 回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報〉
第 1 級 試 験 問 題

注 意 事 項

- 1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
- 2. 試験問題は11ページあります。
- 3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 4. 電卓などの計算用具は使用できません。
- 5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- 6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
- 7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. システム開発手法の一つで、開発の初期段階で試作品を作成し、システムの機能を利用者に提示し、評価を受けることで、利用者の要求をより反映させやすい方法。
2. 複数台のハードディスク装置を1台のハードディスク装置であるかのように運用し、信頼性を上げることや処理速度の向上が期待できる技術。
3. プログラムの内部構造に着目し、条件分岐や例外処理などが意図したとおりに動作しているかを確認するテスト。
4. コンピュータシステムに処理の指示を出してから、すべての実行結果が出力されるまでの時間。
5. 信号機システムにおいて、障害が発生した際、信号機をすべて赤信号に変えるというように、機械やシステムの故障や誤作動を想定し、障害発生時における安全を第一優先に考えた設計思想。

解答群

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ア. DHCP | イ. ウォータフォールモデル | ウ. ターンアラウンドタイム |
| エ. ホワイトボックステスト | オ. ポート番号 | カ. デジタル署名 |
| キ. RAID | ク. フェールソフト | ケ. プロトタイピングモデル |
| コ. ブラックボックステスト | サ. フェールセーフ | シ. レスポンスタイム |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 安全性 2. 結合テスト 3. NAT
4. SMTP 5. シンクライアント

<B群>

- ア. インターネット上で電子メールをやり取りする際、電子メールを送信、転送するために用いるプロトコル。
- イ. ネットワークに直接接続して使用できる補助記憶装置で、ファイルサーバのようにファイルの共有やデータへのアクセスができる装置。
- ウ. ネットワークにおいて、端末のコンピュータには、最低限の機能のみを持たせ、処理はサーバが行うシステム構成。
- エ. ユーザーがWebサイトへアクセスした際の情報などをユーザ側の端末に保存するしくみ。再度、同じサイトにアクセスをした際に保存された情報が使用されることが多い。
- オ. 開発工程におけるテスト作業の一つで、分割して作成したモジュールを組み合わせ、モジュール間のインタフェースに着目して行うテスト。
- カ. RASISが示す指標の一つで、使用するデータなどに間違いや矛盾がないこと。
- キ. 開発工程におけるテスト作業の一つで、作成したモジュール単体が仕様どおりに動作するかどうか確認するテスト。
- ク. プライベートIPアドレスしか持たないLAN内のコンピュータが、インターネットにアクセスできるように、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを相互に変換する技術。
- ケ. インターネット上で電子メールをやり取りする際、電子メールを受信するために用いるプロトコル。
- コ. RASISが示す指標の一つで、部外者から情報を見られないようにするなど外部から不正にアクセスされにくいこと。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. システムの利用者がネットワークに接続やログインなどをした際、日時や接続元の機器、その応答内容を、時系列に記録したもの。

ア. アクセスログ

イ. システムログ

ウ. MIME

2. システム開発において、入出力画面や帳票のレイアウトなどを、システムの利用者の視点で、設計する開発工程。

ア. 要件定義

イ. 内部設計

ウ. 外部設計

3. IPアドレスのビット列のうち、そのネットワークに接続された個々のコンピュータやプリンタなどを識別するために割り振られたビット列。

ア. ホストアドレス

イ. ネットワークアドレス

ウ. ブロードキャストアドレス

4. 解像度 $3,000 \times 2,000$ ピクセル、1ピクセルあたり24ビットの色情報で、1秒間に30フレームの映像を1分間、記録した際の容量は何GBか。なお、圧縮はしないものとする。ただし、 $1\text{GB} = 10^9\text{B}$ とする。

ア. 0.54GB

イ. 32.4GB

ウ. 259.2GB

5. 500Mbpsの通信回線を使用して、2.7GBのデータを転送するのに必要な時間は何秒か。なお、伝送効率は60%とし、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、 $1\text{GB} = 10^9\text{B}$ とする。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の文章中の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

□とは度数分布を図にしたもの。例えば、テスト結果のばらつきや分布をグラフ化する際、「得点」を横軸（階級）、「人数」を縦軸（度数）として棒グラフで表現したものである。

ア. 散布図

イ. ヒストグラム

ウ. パレート図

問2. 次の文章、表を参考に文章中の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

製品XおよびYを生産するために2種類の原料A, Bが必要である。製品1個あたりの必要量と調達可能量は表に示すとおりである。

原料	製品Xの1個あたりの必要量	製品Yの1個あたりの必要量	調達可能量
A	2	1	100
B	1	2	80
1個あたりの販売利益	100	150	

表にある条件を式で表すと、次のとおりとなる。

原料Aは、 $2x + y \leq 100$ ，原料Bは、 $x + 2y \leq 80$ と表せる。

原料Aおよび原料Bの連立不等式を x と y について解くと、製品Xの生産量は40以下、製品Yは20以下となる。

製品Xと製品Yの1個あたりの販売利益が、それぞれ100円、150円であるとき、 $100 \times 40 + 150 \times 20 = 7000$ が最適な生産量を生産したときの販売利益となる。

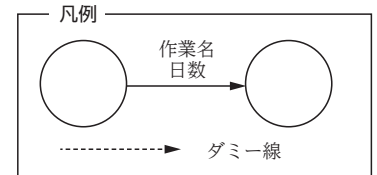
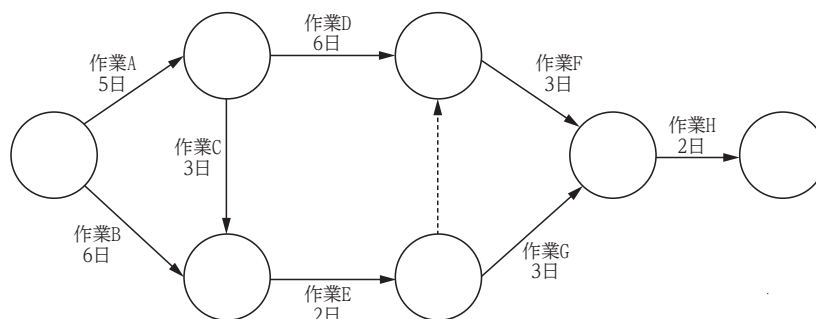
このように最適解を求める方法を□という。

ア. 線形計画法

イ. 回帰分析

ウ. PPM分析

問3. 次の図はあるプロジェクトのアローダイアグラムである。このプロジェクトにおけるクリティカルパスとして適切なものを選び、記号で答えなさい。



ア. 作業A → 作業D → 作業F → 作業H

イ. 作業A → 作業C → 作業E → 作業F → 作業H

ウ. 作業B → 作業E → 作業G → 作業H

問4. ある販売店では、会員向けの商品購入の際のポイント付与サービスについて、次の決定表を使用している。決定表の(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、商品の購入者に会員でないものはなく、会員は通常会員かシニア会員のどちらかである。また、次の条件の①は通常ポイント、②は5倍ポイント、③は10倍ポイント、④は15倍ポイントを示している。

条件

- (1) 通常会員、シニア会員共に、①が付与される。
- (2) 通常会員、シニア会員共に、毎週日曜日には②のみが付与される。
- (3) 通常会員、シニア会員共に、毎月10日、20日、30日には②のみが付与される。
- (4) 通常会員は、日曜日でかつ毎月10日、20日、30日には③のみが付与される。
- (5) シニア会員は、日曜日でかつ毎月10日、20日、30日には④のみが付与される。

条件部	通常会員	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N
	シニア会員	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y
	日曜日	N	N	Y	Y	N	N	Y	Y
	10日20日30日	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
動作部	通常ポイント	X	X	※	※	※	(a)		
	5倍ポイント	-	-	※	※	※			
	10倍ポイント	-	-	※	※	※			
	15倍ポイント	-	-	※	※	※			

(注) 条件部 Y：条件を満たす N：条件を満たさない
 動作部 X：行動 -：行動なし
 ※印は、表記を省略している。

ア.	-	X	X
	-	X	X
	X	X	-
	-	-	-
イ.	-	-	-
	X	-	-
	-	-	X
	-	X	-
ウ.	-	-	-
	X	-	-
	-	X	-
	-	-	X

問5. BPRを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 企業が自社のリソース（資金、資産、人材など）を使用して利益を最大化するための手法またはソフトウェア群。リソースを統合管理し、有効に利用することにより合理的、効率的な経営活動を行う。
- イ. 企業などで組織の構造や業務の流れ、情報システムなどのプロセスを、最適化する観点から抜本的に見直し再構築すること。作業の効率化や費用の削減などを目的に行う。
- ウ. 企業が顧客と良好な関係を築くため、顧客情報を一元管理してサービスの向上や販売促進に活用するシステムのこと。部門間で顧客情報を共有することで、顧客ごとに最適なアフターケアやサービスなどの提供が可能となる。

- 【5】 あるチョコレート専門店では、アプリ会員の商品の注文状況を次のようなリレーショナル型データベースを利用し、管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 新規の会員登録希望者は登録の手続きを行い、会員表にデータを入力する。
- ② 注文表は、一回の注文につき1レコードが作成され、注文番号は連番で入力される。
- ③ 注文明細表は、注文した商品の種類の数だけレコードが作成される。例えば、一回の注文で二種類の商品注文した場合、注文明細表には2レコードが作成される。

会員表

会員コード	会員名	生年月日	メールアドレス	電話番号
M0001	徳永 ○○	1959/01/21	toku.XXXXXXXX@XXX.jp	XXX-XXXX-XXXX
M0002	飯塚 ○○	1956/07/04	saedz.XXXXXX@XXXXX.jp	XXX-XXXX-XXXX
}	}	}	}	}
M0500	織田 ○○	2000/01/06	oda491@XXX.jp	XX-XXXX-XXXX
M0501	山城 ○○	2002/12/04	yamashiro.XXX@XXXXX.jp	XXXX-XX-XXXX
}	}	}	}	}
M1000	中井 ○○	1994/08/07	nakai.315@XXXX.jp	XXX-XXXX-XXXX
}	}	}	}	}

商品表

商品コード	商品名	単価
CA01	アソートA	1850
CA02	アソートB	3200
CH01	ミルク	500
CH02	ビター	500
CH03	ホワイト	500
CH04	シーソルト	550
CH05	キャラメル	550
CH06	抹茶	550
CH07	ヘーゼルナッツ	575
CH08	カカオ	575

注文明細表

注文番号	商品コード	数量
}	}	}
2041	CH07	4
2041	CH08	4
2041	CA02	1
2042	CH01	5
2042	CH02	3
2042	CH03	3
}	}	}
2270	CH01	6
2270	CH02	4
2271	CH03	3
2271	CH04	1
2271	CH05	3
2272	CH06	2
}	}	}
2480	CH07	3
2480	CH08	2
2481	CH05	1
2481	CH06	1
2482	CH07	4
2482	CH08	4
}	}	}

注文表

注文番号	会員コード	注文日	受取希望日
}	}	}	}
2041	M0200	2024/02/09	2024/02/13
2042	M0387	2024/02/09	2024/02/14
}	}	}	}
2175	M0002	2024/03/01	2024/03/09
2176	M0010	2024/03/01	2024/03/11
}	}	}	}
2270	M0949	2024/03/25	2024/03/28
2271	M0026	2024/03/26	2024/03/31
}	}	}	}
2481	M0382	2024/05/07	2024/05/10
2482	M0650	2024/05/07	2024/05/12
}	}	}	}

- 問1. 次の図は、四つの表のリレーションシップを表したE-R図である。空欄(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。



(注) ※印は、表記を省略している。

ア. 注文表

イ. 注文明細表

ウ. 商品表

問2. 新規の会員登録希望者を、会員表に追加することになった。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

[新規会員登録希望者]

新規会員登録票			
会員コード	M1024	生年月日	1982/06/01
会 員 名	三森 ○ 様	電話番号	XXX-XXXX-XXXX
		メールアドレス	mitsu.X@XXXXX.ne.jp

INSERT INTO 会員表 VALUES

- ア. ('M1024', '三森 ○', '1982/06/01', 'XXX-XXXX-XXXX', 'mitsu.X@XXXXX.ne.jp')
- イ. ('M1024', '三森 ○', '1982/06/01', 'mitsu.X@XXXXX.ne.jp', 'XXX-XXXX-XXXX')
- ウ. ('M1024', '三森 ○', 'XXX-XXXX-XXXX', 'mitsu.X@XXXXX.ne.jp', '1982/06/01')

問3. 2024年3月1日から2024年8月31日に注文のあった会員コードと会員名を重複なく抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

SELECT A.会員コード, 会員名
FROM 会員表 A, 注文表 B
WHERE A.会員コード = B.会員コード
AND 注文日 BETWEEN '2024/03/01' AND '2024/08/31'

会員コード	会員名
M0002	飯塚 ○○
M0010	西 ○○
}	}

問4. 2024年2月14日と3月31日と5月12日を受取希望日としている、受取希望日と商品名と数量を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

SELECT 受取希望日, 商品名, 数量
FROM 商品表 A, 注文表 B, 注文明細表 C
WHERE A.商品コード = C.商品コード
AND B.注文番号 = C.注文番号
AND

受取希望日	商品名	数量
2024/02/14	ミルク	5
2024/02/14	ビター	3
}	}	}
2024/03/31	キャラメル	3
}	}	}

- ア. 受取希望日 IN ('2024/02/14', '2024/03/31', '2024/05/12')
- イ. 受取希望日 NOT IN ('2024/02/14', '2024/03/31', '2024/05/12')
- ウ. 受取希望日 = '2024/02/14' AND 受取希望日 = '2024/03/31' AND 受取希望日 = '2024/05/12'

問5. 注文日が2024年5月1日の会員ごとの売上金額合計を抽出するため、次のSQL文を実行したが、正しく処理できなかった。正しく処理をするために行った修正について適切なものを選び、記号で答えなさい。

SELECT A.会員コード, 会員名, (ア)数量 * 単価 AS 売上金額合計
FROM 会員表 A, 商品表 B, 注文表 C, 注文明細表 D
WHERE A.会員コード = C.会員コード
AND B.商品コード = D.商品コード
AND C.注文番号 = D.注文番号
(イ)AND 注文日 = '2024/05/01'
(ウ)GROUP BY A.会員コード, 会員名, 数量 * 単価

会員コード	会員名	売上金額合計
M0495	関 ○○	575
M0495	関 ○○	3450
M0890	海老原 ○○	3200
M0890	海老原 ○○	1500
}	}	}



会員コード	会員名	売上金額合計
M0495	関 ○○	4025
M0890	海老原 ○○	4700
}	}	}

- ア. (ア) 修正なし (イ) 修正なし (ウ) HAVING 注文日='2024/05/01'を追加
- イ. (ア) (数量 * 単価) (イ) AND 注文日='2024/05/01'を削除 (ウ) 修正なし
- ウ. (ア) SUM(数量 * 単価) (イ) 修正なし (ウ) , 数量 * 単価を削除

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある工場のボウリング玉直径測定表である。E列には、「中央値」「平均値」を求める。E3に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (B4:B203)

	A	B	C	D	E
1					
2	ボウリング玉直径測定表				単位:cm
3	No.	測定値(cm)		中央値	21.699
4	1	21.664		平均値	21.708
5	2	21.600			
6	3	21.683			
7	4	21.631			
8	5	21.666			
9	}	}			
202	199	21.827			
203	200	21.699			

ア. MEDIAN

イ. MODE

ウ. FORECAST

問2. 次の表は、ある会社の社員一覧表である。桜支店と桜北支店が合併し さくら中央支店 となることになり、「所属」を「新所属」のように変換して新しく設定する。D4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD141までコピーする。なお、この会社の支店は、桜支店、桜東支店、桜西支店、桜南支店、桜北支店の五つある。

	A	B	C	D
1				
2	社員一覧表			
3	社員ID	氏名	所属	新所属
4	1010	三輪 ○○	桜北支店	さくら中央支店
5	1011	清水 ○○	桜東支店	桜東支店
6	1012	松本 ○○	桜南支店	桜南支店
7	}	}	}	}
140	1146	村松 ○○	桜支店	さくら中央支店
141	1147	村上 ○○	桜南支店	桜南支店

ア. =IF(C4="桜支店",SUBSTITUTE(C4,"桜支店","さくら中央"),

IF(C4="桜北支店",SUBSTITUTE(C4,"桜北支店","さくら中央"),C4))

イ. =IF(C4="桜支店",SUBSTITUTE(C4,"桜","さくら中央"),

IF(C4="桜北支店",SUBSTITUTE(C4,"桜北","中央"),C4))

ウ. =IF(OR(C4="桜支店",C4="桜北支店"),SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(C4,"桜","さくら"),"北","中央"),C4)

エ. =IF(OR(C4="桜支店",C4="桜北支店"),SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(C4,"桜","さくら中央"),"北",""),C4)

問3. 次の表は、あるショッピングモール内のキッズパーク利用表である。入場時に「入場時刻」を入力し、退場時に「退場時刻」を入力する。「利用時間」は、「退場時刻」を5分単位で切り捨てた値から、「入場時刻」を5分単位で切り上げた値を引いて求める。D4に設定する次の式の空欄をうめなさい。

	A	B	C	D
1				
2	キッズパーク利用表			
3	No.	入場時刻	退場時刻	利用時間
4	1	10:14	11:10	0:55
5	2	10:23	11:02	0:35
6	3	10:24	11:54	1:25
7	}	}	}	}
93	90	17:55	18:25	0:30
94	91	17:59	19:46	1:45
95				

= (C4,TIME(0,5,0))- (B4,TIME(0,5,0))

問4. 次の表は、あるパン販売店の売上一覧表と商品別週間売上表である。商品別週間売上表は、商品別の過去1週間分の売上数の合計を求め、翌日の製造数の参考にしている。F4に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をL12までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2	売上一覧表				商品別週間売上表								
3	日付	商品名	売上数		商品名	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	6日前	7日前	週平均
4	9月1日	ドーナッツ	4		焼きそばパン	29	22	10	18	16	25	27	21.0
5	9月1日	チーズフランス	2		ウィンナー	10	25	29	28	15	20	23	21.4
6	9月1日	ウィンナー	4		明太ポテト	18	15	25	16	19	27	23	20.4
7	9月1日	焼きそばパン	4		ハムマヨ	15	24	28	30	14	22	11	20.6
8	9月1日	焼きそばパン	3		チーズフランス	30	23	18	11	25	29	10	20.9
9	9月1日	チーズフランス	3		小倉あんぱん	15	15	13	18	27	25	29	20.3
10	9月1日	ハムマヨ	4		チョココロネ	12	11	12	22	24	30	27	19.7
11	9月1日	ドーナッツ	2		ドーナッツ	12	24	18	14	30	23	19	20.0
12	9月1日	あんドーナッツ	1		あんドーナッツ	24	29	18	23	19	19	28	22.9
13	9月1日	小倉あんぱん	2										
14													
1114	9月21日	ハムマヨ	2										
1115	9月21日	明太ポテト	3										
1116	9月21日	ハムマヨ	1										
1117													

=SUMIFS(\$C\$4:\$C\$2000,\$B\$4:\$B\$2000, (a), \$A\$4:\$A\$2000, TODAY()-VALUE(LEFT((b),1)))

- ア. \$E\$4
イ. \$F\$3
- ウ. \$E\$4
エ. \$F\$3

問5. 次のシート名「会員データ入力」の 会員表へ登録 ボタンをクリックすると、シート名「会員データ入力」に格納されたプログラムが実行され、D8の値をチェックした後、シート名「会員データ入力」の入力欄のデータが、シート名「会員表」の「会員番号」から「生年月日」に登録される。このような、手続きの自動化の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

シート名「会員データ入力」

A	B	C	D
1			
2	会員データ登録		
3		入力欄	確認欄
4	氏 名	鈴木 ○○	OK
5	住 所	東京都新宿区△△町1-2-3	OK
6	連 絡 先	XX-XXXX-XXXX	OK
7	生 年 月 日	1975/6/24	OK
8		チェック	OK
9			
10			
11			

会員表へ登録

シート名「会員表」

A	B	C	D	E
1				
2	会員表			
3	会員番号	氏名	住所	連絡先
4	1	後藤 ○○	福岡県福岡市中央区△△2-1-4	XXX-XXX-XXXX
5	2	武内 ○○	東京都中野区△△3-4-19-1-4	XXX-XXX-XXXX
6	3	菊池 ○○	宮城県仙台市宮城野区△△3-4-102	XXXX-XX-XXXX
7				
356	353	及川 ○○	東京都港区△△4-2-9	XXXX-XX-XXXX
357	354	大塚 ○○	神奈川県藤沢市△△3-2-4	XXX-XXX-XXXX
358				

- ア. ソルバー
イ. マクロ機能
- ウ. ピボットテーブル

【7】 次の表は、あるフォトスタジオの支払代金計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「支払代金計算書」

A	B	C	D	E	F	G	H
1	支払代金計算書						
2							
3							
4	1. お客様情報						
5	入力欄			確認欄			
6	会 員 番 号		10001	名	前	太田 ○○	
7				前 回 撮 影 日	2024/1/21		
8							
9	2. 撮影料金						
10	撮 影 日		2024/8/31	撮影料金割引	SNS割引	リピート割引	サマー割引
11					無	有	有
12							
13	3. 商品注文						
14	(1)アルバム注文						
15	商品コード		AL04	名称		代金	
16	カ ャ ッ ト 数		4	デラックス		5,800	
17	追 加 台 紙					24,000	
18	数 量		1			800	
19							
20	(2)単品注文						
21	商品コード		数量	名称		代金	
22	SS04		2	ハ切写真		8,800	
23	OP01		1	カレンダー		7,000	
24	OP03		2	画像データ		2,400	
25	OP05		4	ポストカード		3,200	
26							
27				商品コード		代金	
28				オプション割引		OP*	
29						2,400	
30	4. 代金計算						
31				撮 影 料 金		1,500	
32				アルバム代金		30,600	
33				単 品 代 金		19,000	
				支 払 代 金		51,100	

シート名「会員表」

A	B	C	D
1	会員表		
2	会員番号	名前	SNS
3	10001	太田 ○○	無
4	10002	高木 ○○	無
5	11451	横山 ○○	有
6	11452	長谷 ○○	有
7	11453	小野 ○○	有
8	16836	森田 ○○	有

シート名「撮影日表」

A	B	C	D
1	撮影日表		
2	会員番号	回数	連結番号
3	10001	1	1000101
4	10002	1	1000201
5	16832	1	1683201
6	10017	11	1001711
7	16833	1	1683301
8	12394	4	1239404
9	16834	1	1683401

シート名「商品表」

A	B	C	D	E	F
1	アルバム表				
2	No.	種類	商品コード	名称	代金
3	1	アルバム	AL01	オリジナル	4,400
4	2	アルバム	AL02	キャラクター	2,500
5	3	アルバム	AL03	フォーマル	3,800
6	4	アルバム	AL04	デラックス	5,800
7	単品表				
8	No.	種類	商品コード	名称	単価
9	1	写真	SS01	半切写真	9,500
10	2	写真	SS02	四切写真	5,900
11	3	写真	SS03	六切写真	4,900
12	4	写真	SS04	八切写真	4,400
13	5	オプション	OP01	カレンダー	7,000
14	6	オプション	OP02	卓上カレンダー	4,900
15	7	オプション	OP03	画像データ	1,200
16	8	オプション	OP04	キーホルダー	1,500
17	9	オプション	OP05	ポストカード	800
18	10	オプション	OP06	写真フレーム	5,500

シート名「撮影料金表」

	A	B
1		
2	撮影料金表	
3	割引	撮影料金
4	無し	3,700
5	1種類	2,700
6	2種類	1,500
7	3種類	0

作成条件

1. シート名「支払代金計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、支払代金を求めることができる。なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が 空欄 または NG の場合、それ以降の項目は、表示しない。
3. 撮影料金は、3,700円とする。ただし、条件によって3種類の撮影料割引があり、併用することができる。
4. 割引の種類は、SNSに登録している場合は SNS割引、「前回撮影日」が1年以内の場合は リピート割引、「撮影日」が 7月、または 8月 の場合は サマー割引 がある。
5. 商品注文は、アルバムのみ、単品のみ、またはアルバムと単品の組み合わせで注文できる。
6. アルバムには、台紙が1枚取り付けられている。台紙は、表と裏にそれぞれ1カットの写真を貼り付けることができる。写真が2カットを超える場合は、台紙を追加する。例えば、写真が3カットの場合、台紙を1枚追加する。なお、追加する台紙の1枚あたりの代金は 800円 とする。
7. 単品注文にはオプション割引がある。シート名「商品表」の「単品表」の「種類」が オプション である商品の注文が3件以上ある場合、求めた「代金」の中から最低の「代金」を割引く。同じ「代金」がある場合は、一つのみ割引く。
8. シート名「撮影日表」は撮影終了後にデータを登録する。なお、登録件数の上限は 99999 とする。
9. 「連結番号」は、「会員番号」と、その「会員番号」を集計した「回数」を求め、組み合わせている。

例 16855 7 → 1685507
 会員番号 回数 連結番号

作成手順

1. シート名「支払代金計算書」は、次のように作成されている。
 - (1) C6は、「会員番号」を入力する。また、F6は、C6をもとに、シート名「会員表」を参照して「名前」を表示する。
 - (2) F7は、作成条件9にしたがって「連結番号」を求め、これをもとに、「前回撮影日」を表示する。
 - (3) C10は、「撮影日」を入力する。
 - (4) F10は、C6をもとに、シート名「会員表」を参照して「SNS」を表示する。
 - (5) G10は、C10がF7から1年以内の場合、有 を表示し、それ以外は 無 を表示する。
 - (6) H10は、C10から抽出した月の値が 7、または 8 の場合、有 を表示し、それ以外は 無 を表示する。
 - (7) C14は、シート名「商品表」の「アルバム表」の「商品コード」を入力する。また、F14とG14は、C14をもとに、シート名「商品表」の「アルバム表」を参照して「名称」と「代金」を表示する。
 - (8) C15は、「カット数」を入力する。また、G15は、C14をもとに、シート名「商品表」の「アルバム表」を参照した「カット料金」に、C15を掛けて求め、表示する。
 - (9) G16は、作成条件6にしたがって求め、表示する。
 - (10) C17は、注文するアルバムの「数量」を入力する。
 - (11) B21～B25は、シート名「商品表」の「単品表」の「商品コード」を入力する。F21は、B21をもとに、シート名「商品表」の「単品表」を参照して「名称」を表示する。なお、F22～F25も同様に求める。
 - (12) C21～C25は、「数量」を入力する。また、G21は、B21をもとに、シート名「商品表」の「単品表」を参照した「単価」にC21を掛けて求め、表示する。なお、G22～G25も同様に求める。
 - (13) F27は、B21～B25にシート名「商品表」の「単品表」の「種類」が オプション の「商品コード」が三つ以上ある場合、OP* を表示し、それ以外は 無 を表示する。
 - (14) G27は、F27をもとに、作成条件7にしたがって求め、表示する。
 - (15) G30は、F10～H10をもとに、シート名「撮影料金表」を参照し、「撮影料金」を求め、表示する。
 - (16) G31は、G14～G16の計にC17を掛けて求め、表示する。
 - (17) G32は、G21～G25の計からG27を引いて求め、表示する。
 - (18) G33は、G30～G32の合計を求め、表示する。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしています。」

問1. シート名「支払代金計算書」のH10に設定する式の空欄をうめなさい。ただし、空欄には同じものが入る。

=IF(C10="", "", IFERROR(IF(OR(() (C10)=7, () (C10)=8), "有", "無"), "NG"))

問2. シート名「支払代金計算書」のG16に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(C15="", "", () *800)

ア. FLOOR(C15/2,2)

イ. INT(C15/2)-1

ウ. ROUNDUP(C15/2,0)-1

問3. シート名「支払代金計算書」のG27に設定する式の空欄をうめなさい。

=IF(F27="OP*", () (B20:G25,6,F26:F27), "")

問4. シート名「支払代金計算書」のG30に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =IFERROR(INDEX(撮影料金表!A4:B7,COUNTIFS(F10:H10,"有"),2),"NG")

イ. =IFERROR(INDEX(撮影料金表!A4:B7,COUNTIFS(F10:H10,"有")+1,2),"NG")

ウ. =IFERROR(VLOOKUP(COUNTIFS(F10:H10,"有")&"種類",撮影料金表!A4:B7,2,FALSE),"NG")

問5. シート名「支払代金計算書」が次のように表示されているとき、G33に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和6年9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第71回)情報処理検定試験ビジネス情報 第1級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					秒

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4		問5
				(a)	(b)	

【7】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和6年9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第71回)情報処理検定試験ビジネス情報 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ケ	キ	エ	ウ	サ

【2】	1	2	3	4	5
	コ	オ	ク	ア	ウ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	ウ	ア	イ	72 秒

各2点
15問

小計

30

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	ア	ア	ウ	イ

【5】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	イ	DISTINCT	ア	ウ

各3点
10問

小計

30

【6】	問1	問2	問3	問4		問5
				(a)	(b)	
	ア	エ	CEILING	ウ	オ	イ

【7】	問1	問2	問3	問4	問5
	MONTH	ウ	DMIN	イ	66,400

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。
 ※ 記述問題の大文字、小文字、コンマの有無は問わない。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2024年 9 月22日実施

令和 6 年度（第 71 回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング〉
第 1 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は10ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. システム開発の際、プログラムを構成する個々のモジュールが、正常に機能しているかを検証するテスト。
2. 情報資産などに対する脅威や脆弱性による被害の可能性を分析、評価して、適切な対策を図る取り組み。
3. 複数のネットワーク機器をLANケーブルで接続する際に使用され、小規模なネットワークを構成することができる経路選択機能がない集線装置。
4. システムを評価する指標の一つで、障害復旧やメンテナンスのしやすさなどを表したもの。
5. 除算などの計算処理の際、表現可能な桁数より小さな値を端数処理したことが原因で生じる誤差。

解答群

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| ア. ハブ | イ. 情報落ち | ウ. MTBF |
| エ. インシデント | オ. 丸め誤差 | カ. NAT |
| キ. 保守性 | ク. ルータ | ケ. リスクマネジメント |
| コ. 信頼性 | サ. 単体テスト | シ. システムテスト |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. プログラミング 2. スループット 3. 論理シフト
 4. ポート番号 5. 浮動小数点形式

<B群>

- ア. 2進数演算において、符号を考慮するシフト演算。
- イ. コンピュータが通信を行う際、通信データが使用するアプリケーションを識別するための番号。
- ウ. システム開発において、入出力データの詳細やアルゴリズムなど開発者側に必要な内容を設計する開発工程。
- エ. コンピュータシステムやネットワーク機器などが、一定時間内に処理できる仕事量。処理されたデータ量や命令の数で表される。
- オ. 利用者が誤った操作や危険な取り扱い方ができないように、システムを構築する設計思想。
- カ. 2進数演算において、符号を考慮しないシフト演算。
- キ. コンピュータが通信を行う際、ネットワークに接続された機器を識別するために任意に割り当てることができる番号。
- ク. コンピュータの数値表現において、符号部、指数部、仮数部で構成され、少ないビット数で広範囲な値を表現する形式。
- ケ. システム開発において、実際にプログラム言語を用いてプログラムを作成することで機能を実装する開発工程。
- コ. コンピュータの数値表現において、小数点以下の桁数に関わらず小数点の位置を固定して表現する形式。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. 16進数の 59 と2進数の 11001 の和を10進数で表したもの。

ア. 84

イ. 114

ウ. 178

2. システムの性能を評価するために行うテスト手法で、想定以上の同時接続やデータ処理などを行わせることでシステムの挙動を確認するテスト。

ア. 性能テスト

イ. 機能テスト

ウ. 負荷テスト

3. Webページの更新など、クライアントとサーバの間でファイルの転送を行う際に必要となる通信プロトコル。

ア. DHCP

イ. FTP

ウ. IMAP

4. Javaなどのプログラム言語において、処理や機能について書かれたソースコードのまとまりや操作する対象となるもの。

ア. オブジェクト

イ. スタブ

ウ. リスト

5. Aさん一人では30日間、Bさん一人では20日間かかる仕事がある。この仕事をAさんが一人で10日間行った後、AさんとBさんが共同で行った場合、この仕事の開始から終了までに要する日数は何日間か。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(2)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

引数で渡された配列に記憶されている数値を並べ替えてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Num にはデータが記憶されている。なお、データ件数は n に記憶されている。

配列

Num	(0)	(1)	～	(n - 1)	(n)
		-25	～	18	-31

2. 配列 Num の数値を降順に並べ替える。

3. 並べ替えが終わったら、配列 Num の内容を表示する。

<プログラム>

```

Sub Program1(Num() As Long, n As Long)
    Dim g As Long
    Dim i As Long
    Dim k As Long
    For (1)
        For i = 1 To g - 1
            If (2) Then
                Num(0) = Num(i)
                Num(i) = Num(i + 1)
                Num(i + 1) = Num(0)
            End If
        Next i
    Next g
    For k = 1 To n
        MsgBox (Num(k))
    Next k
End Sub

```

解答群

- ア. Num(i) < Num(i + 1)
 イ. g = 1 To n
 ウ. g = n To 2 Step -1
 エ. Num(i) > Num(i + 1)

問2. プログラムの説明を読んで、プログラムの(3)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

引数で渡された配列に記憶されている数値に順位をつけてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Atai にはデータが記憶されている。なお、データ件数は n に記憶されている。

配列

Atai	(0)	(1)	～	($n - 2$)	($n - 1$)
	7.9	5.1	～	6.2	8.3

2. 配列 Jun を利用し、配列 Atai の数値の昇順に順位をつける。なお、数値が同じ場合は同順位とする。

配列

Jun	(0)	(1)	～	($n - 2$)	($n - 1$)
			～		

3. 順位をつけ終わったら、配列 Atai と配列 Jun の内容を表示する。

<プログラム>

```
Sub Program2(Atai() As Double, Jun() As Long, n As Long)
```

```
    Dim r As Long
```

```
    Dim s As Long
```

```
    Dim t As Long
```

```
    For r = 0 To n - 1
```

```
        (3)
```

```
    Next r
```

```
    For s = 0 To n - 2
```

```
        For (4)
```

```
            If (5) Then
```

```
                Jun(s) = Jun(s) + 1
```

```
            ElseIf (5) Then
```

```
                Jun(t) = Jun(t) + 1
```

```
            End If
```

```
        Next t
```

```
    Next s
```

```
    For r = 0 To n - 1
```

```
        MsgBox (Atai(r) & " " & Jun(r) & "位")
```

```
    Next r
```

```
End Sub
```

解答群

ア. $t = s + 1$ To $n - 2$

イ. $\text{Atai}(s) < \text{Atai}(t)$

ウ. $\text{Jun}(r) = 0$

エ. $t = s + 1$ To $n - 1$

オ. $\text{Jun}(r) = 1$

カ. $\text{Atai}(s) > \text{Atai}(t)$

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

あるカートレース大会のデータを読み、カートレース大会成績一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

選手番号 (Ban)	周回 (Kai)	ラップタイム(秒) (Ltime)
××	××	××.×××

(第1図)

実行結果

(カートレース大会成績一覧表)		
(選手名)	(合計タイム)	(最速ラップタイム)
松本□□	8:08.416	28.181
田中△△	8:11.211	28.118
山田☆☆	8:17.149	28.147
}	}	}

(第2図)

処理条件

- 1. 第1図の選手番号は 1～20、周回は 1～16 である。なお、出場者は全員完走したものとする。
- 2. 配列 Mei に選手名を記憶する。なお、Mei の添字は選手番号と対応している。

配列

	Mei
(0)	
(1)	鈴木○○
(2)	田中△△
}	}
(20)	山田☆☆

- 3. 第1図のデータを読み、次の処理を行う。
 - ・ 配列 Kiroku の0列目に選手番号ごとにラップタイム(秒)を集計し、1列目に選手番号ごとに最速ラップタイムを求める。なお、最速ラップタイムは同じラップタイム(秒)があった場合、先に入力されたデータを優先する。また、Kiroku の行方向の添字は選手番号と対応している。

配列

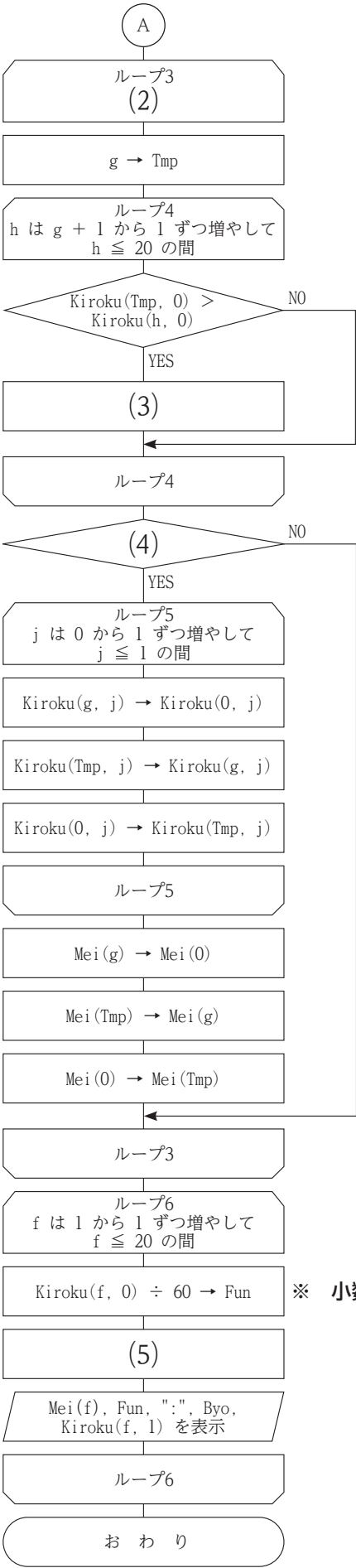
Kiroku	(0)	(1)
(0)		
(1)		
(2)		
}	}	}
(20)		
	(合計タイム)	(最速ラップタイム)

- 4. 入力データが終了したら次の処理を行う。
 - ・ 配列 Mei と配列 Kiroku を、合計タイムの昇順に並べ替える。なお、同じ合計タイムはないものとする。
 - ・ 選手名から最速ラップタイムまでを第2図のように表示する。
- 5. データにエラーはないものとする。

解答群

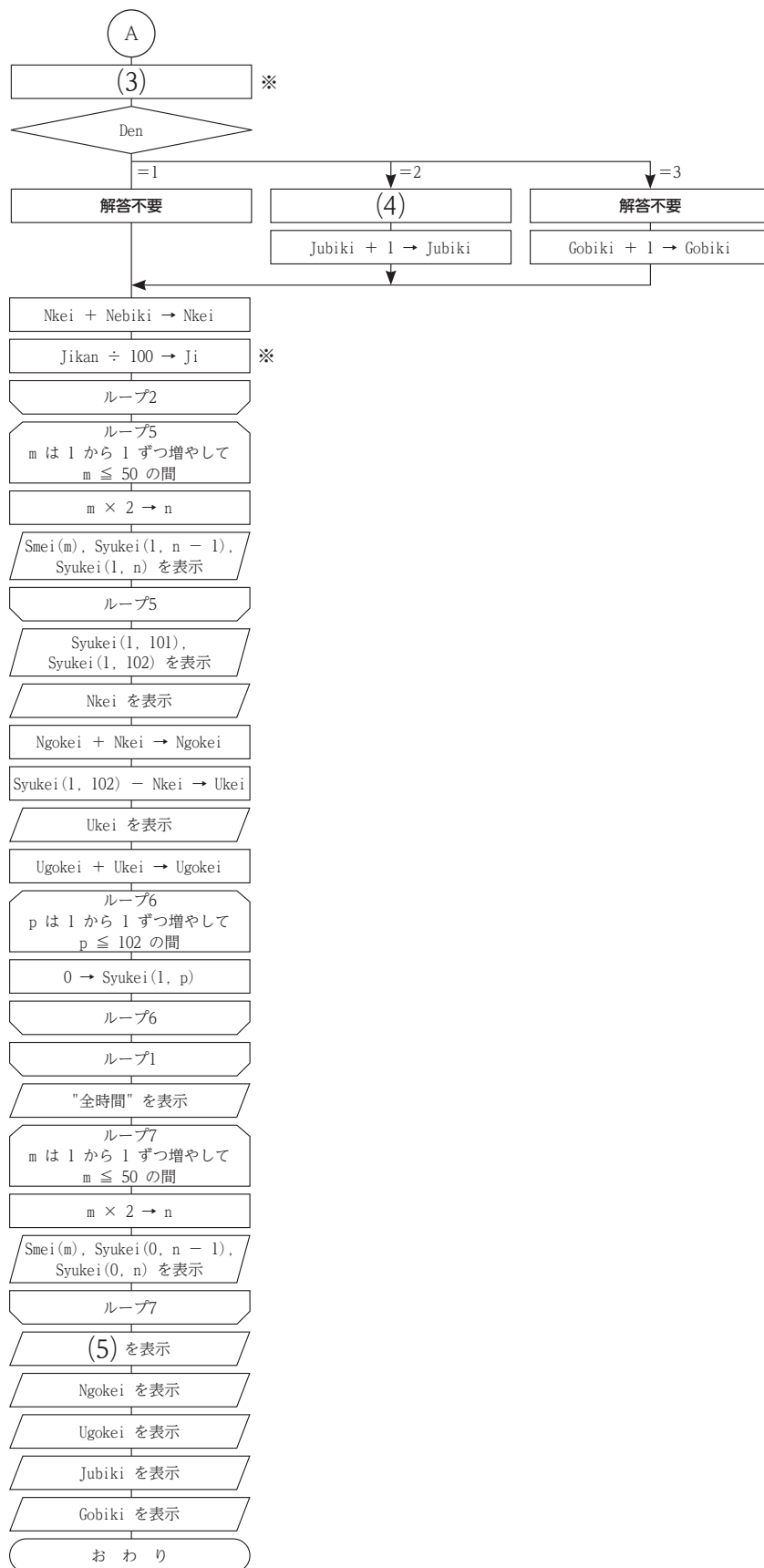
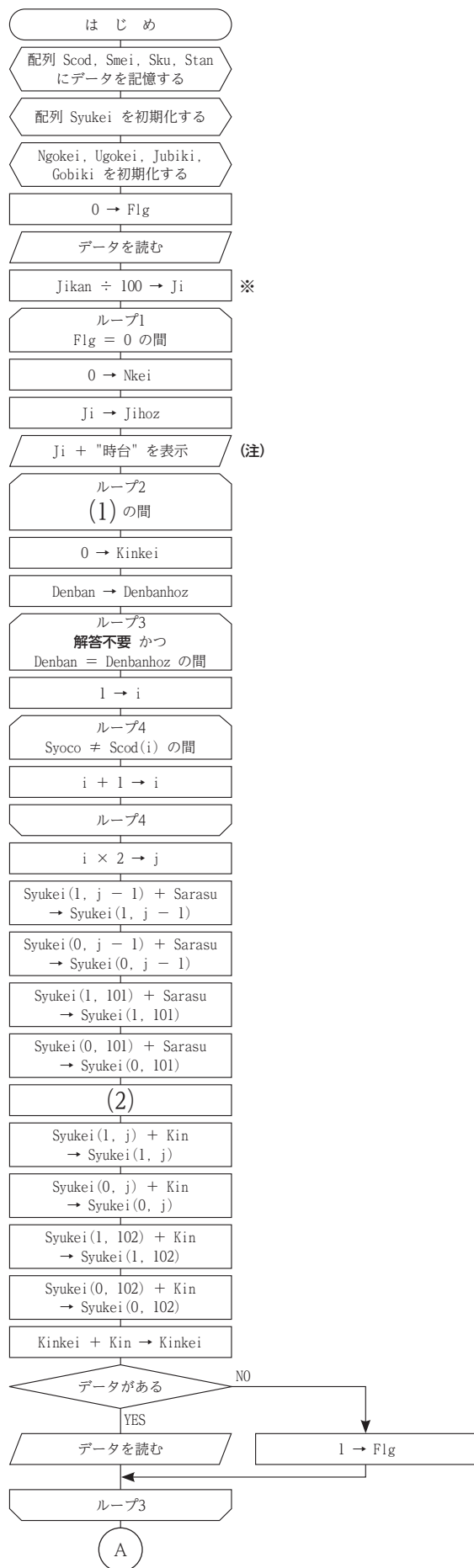
- ア. $Kiroku(Ban, 1) < Ltime$
- イ. $h \neq Tmp$
- ウ. $h \rightarrow Tmp$
- エ. $Kiroku(f, 0) - Fun \times 60 \rightarrow Byo$
- オ. $g \rightarrow Tmp$
- カ. $g \neq Tmp$
- キ. g は 1 から 1 ずつ増やして $g \leq 19$ の間
- ク. $Kiroku(f, 0) - Fun \rightarrow Byo$
- ケ. g は 1 から 1 ずつ増やして $g \leq 20$ の間
- コ. $Kiroku(Ban, 1) > Ltime$

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

(注) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

あるバスケットボール大会（リーグ戦）の個人データを読み、集計結果をディスプレイに表示する。

入力データ

選手データ

選手ID (Senid1) ×××	選手名 (Senmei) ×～×
-------------------------	------------------------

(第1図)

出場データ

月日 (Tukihi) ××××	選手ID (Senid2) ×××	ポイント数 (Pts) ××	リバウンド数 (Rebo) ××	アシスト数 (Ass) ××
------------------------	-------------------------	----------------------	------------------------	----------------------

(第2図)

実行結果

(集計結果)					
(分析区分(1~3)を入力) 1					
(分析方法(1~2)を入力) 2					
(選手名)	(チーム名)	(背番号)	(出場数)	(1試合平均)	
松島 ○○	京都△△	14	5	19.2	
}	}	}	}	}	
ムンボ ○○	秋田△△	11	7	14.9	
(分析区分(1~3)を入力) 2					
(分析方法(1~2)を入力) 1					
(選手名)	(チーム名)	(背番号)	(出場数)	(合計)	
ムンボ ○○	秋田△△	11	7	108	
}	}	}	}	}	
(分析区分(1~3)を入力) 0					

(第3図)

処理条件

1. 第1図の選手データは、選手IDの昇順に記録されており、選手IDは次の例のように構成されている。また、チーム番号は1～8、背番号は0～99であり、1チームに所属する選手は100名以内である。なお、大会途中で選手のエントリー変更や追加はないものとする。

例 114 → 1 14
選手ID チーム番号 背番号

2. 第2図の出場データは、ポイント数、リバウンド数、アシスト数の記録がない場合でも試合に出場すると作成される。
3. 配列 Tmei にチーム名を記憶する。なお、Tmei の添字はチーム番号と対応している。

配列

Tmei	(0)	(1)	(2)	～	(7)	(8)
		京都△△	愛知△△	～	新潟△△	秋田△△

4. 第1図の選手データを読み、配列 Pid に選手IDを、配列 Pmei に選手名を記憶する。なお、Pid と Pmei の添字は対応している。

配列

Pid	(0)	(1)	(2)	～	(171)	(172)	～	(800)
		104	105	～	317	318	～	
Pmei	(0)	(1)	(2)	～	(171)	(172)	～	(800)
		斉藤 ○○	丸島 ○○	～	峰田 ○○	小西 ○○	～	

5. 第2図の出場データを読み、選手IDをもとに配列 Pid を探索し、配列 Skei に集計する。なお、Skei の列方向の添字はPid の添字と対応している。

配列

Skei	(0)	(1)	(2)	～	(171)	(172)	～	(800)	
(0)				～			～		(出場数)
(1)				～			～		(ポイント数合計)
(2)				～			～		(リバウンド数合計)
(3)				～			～		(アシスト数合計)

6. 入力データが終了したら、次の処理を行う。
・ キーボードから分析区分(1:ポイント数合計, 2:リバウンド数合計, 3:アシスト数合計, 0:終了)を入力する。
・ 配列 Work1 に、選手データ分の番号(連番)を記憶する。

配列

Work1	(0)	(1)	(2)	～	(171)	(172)	～	(800)
		1	2	～	171	172	～	

・ キーボードから分析方法 (1:合計, 2:1試合平均) が入力されたら、次の①または②の処理を行い、第3図のように表示する。

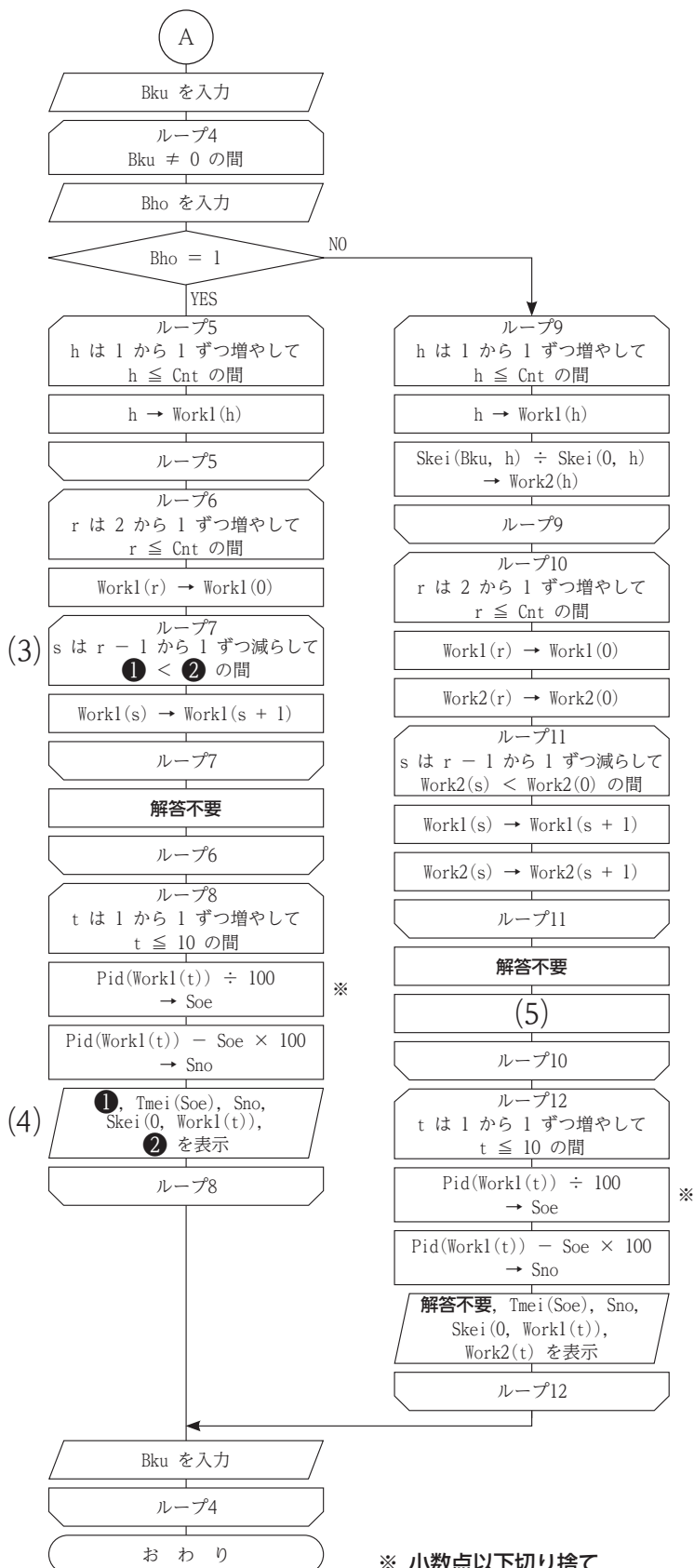
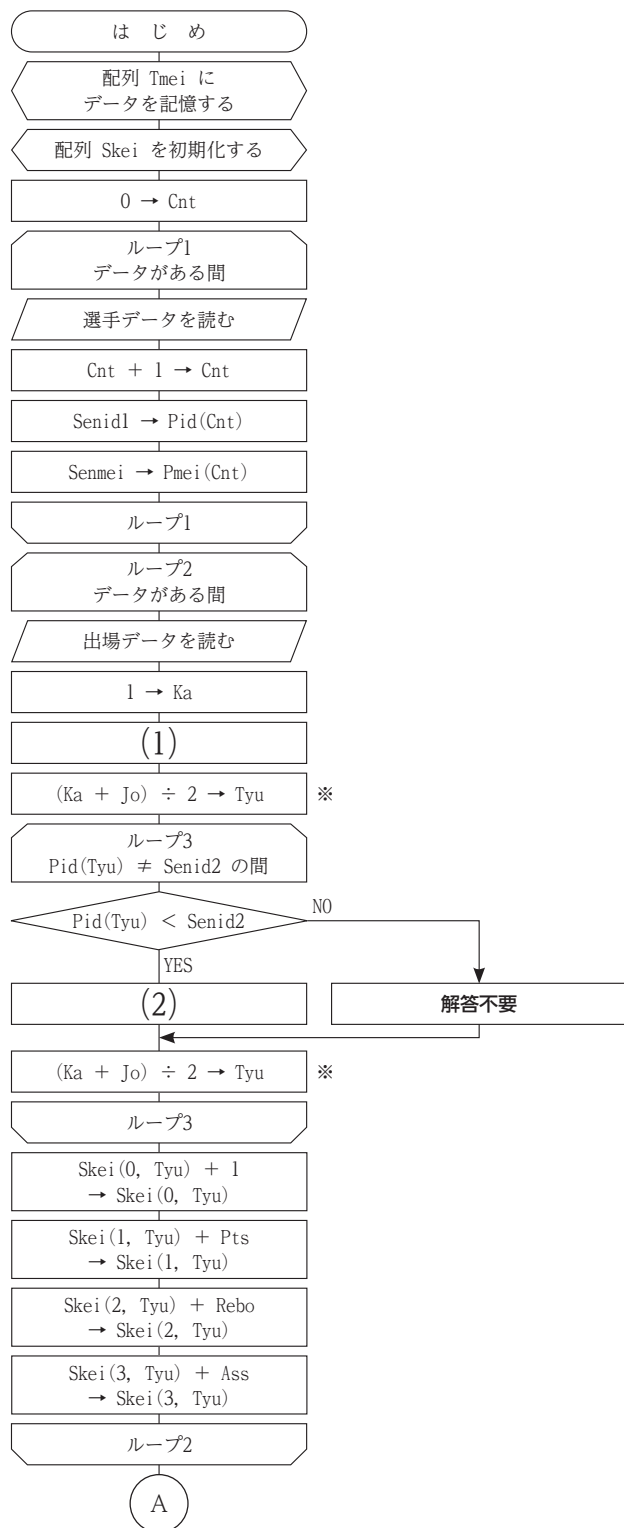
- ① 分析方法が 1 の場合
- 配列 Skei の値をもとに、配列 Work1 を入力された分析区分の降順に並べ替える。
 - 上位10名の選手名から合計までを表示する。なお、合計が同じ場合は、選手IDの昇順とする。
- ② 分析方法が 2 の場合
- 配列 Skei の値をもとに、入力された分析区分の1試合平均を次の計算式で求め、配列 Work2 に記憶する。
1試合平均 = 分析区分の値 ÷ 出場数

配列

Work2	(0)	(1)	(2)	～	(171)	(172)	～	(800)
				～			～	

・ 配列 Work1 と配列 Work2 を Work2 の降順に並べ替える。
・ 上位10名の選手名から1試合平均までを表示する。なお、1試合平均が同じ場合は、選手IDの昇順とする。
7. データにエラーはないものとする。

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

解答群

ア. $Tyu - 1 \rightarrow Jo$
 ウ. $Skei(Bku, Work1(0))$
 オ. $Cnt - 1 \rightarrow Jo$
 キ. $Work2(0) \rightarrow Work2(s + 1)$
 ケ. $Skei(Bho, Work1(0))$
 サ. $Tmei(Work1(t))$
 ス. $Skei(Bku, Work2(t))$
 ソ. $Cnt \rightarrow Jo$

イ. $Work1(r) \rightarrow Work1(r + 1)$
 エ. $Skei(Bku, Work1(s))$
 カ. $Pid(Work1(t))$
 ク. $Skei(Bho, Work1(s))$
 コ. $Tyu + 1 \rightarrow Ka$
 シ. $Skei(Bku, Work1(t))$
 セ. $Work2(0) \rightarrow Work2(r + 1)$
 タ. $Pmei(Work1(t))$

(令和6年9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度（第71回）情報処理検定試験プログラミング 第1級
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5
				日間

小計	
----	--

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】

(1)	(2)	(3)		(4)		(5)
		①	②	①	②	

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和 6 年 9 月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 6 年度（第 71 回）情報処理検定試験プログラミング 第 1 級
審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	サ	ケ	ア	キ	オ

【2】	1	2	3	4	5
	ケ	エ	カ	イ	ク

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ウ	イ	ア	18 日間

各 2 点 15 問	小計	30
---------------	----	----

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	ウ	ア	オ	エ	イ

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	コ	キ	ウ	カ	エ

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	オ	イ	キ	ケ	ア

各 3 点 15 問	小計	45
---------------	----	----

【7】	(1)	(2)	(3)		(4)		(5)
			①	②	①	②	
	ソ	コ	エ	ウ	タ	シ	キ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各 5 点 5 問	小計	25
--------------	----	----

得 点 合 計
100

2024年9月22日実施

令和6年度（第71回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報〉
第2級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は8ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 試用期間は無料で利用できるが、試用期間後も引き続き利用するには料金の支払いが必要となるソフトウェア。
2. 連続した波形を描く電気信号を流して接続を行う回線。通信速度が遅くなるが、接続が安定しており、障害に強い。
3. コンピュータやサーバに保存されているデータを使えない状態にした上で、復元する対価として金銭を要求する不正プログラム。
4. 本人の承諾なしに他人から写真や動画を撮影されることや、撮影された写真や動画をSNSなどに無断で公開されることを拒否する権利。
5. プログラムや画像など、文字コードによらないファイル。それぞれのファイル形式に対応したソフトウェア以外で読み込むことができない。

解答群

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| ア. ランサムウェア | イ. バイナリファイル | ウ. 著作権 |
| エ. フリーウェア | オ. デジタル回線 | カ. シェアウェア |
| キ. テキストファイル | ク. 肖像権 | ケ. キーロガー |
| コ. アナログ回線 | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. OMR 2. ファイアウォール 3. BMP
4. ピアツーピア 5. ASCIIコード

<B群>

- ア. 世界中の言語で使われている多くの文字を表現する文字コード。
イ. 複数のコンピュータ同士で対等にデータのやりとりを行う通信技術。
ウ. ソフトウェアなどのプログラムに存在する欠陥や脆弱性。そのまま放置すると、マルウェアに感染し、情報が抜き取られる危険性がある。
エ. 鉛筆などで記号や枠を塗りつぶした用紙を光学的に読み取り、コンピュータで利用できるデータに変換する機器。
オ. フルカラーに対応し、圧縮をしない画像形式のファイル。情報量が多いためファイルサイズが大きくなる傾向がある。
カ. 手書きの文字などを光学的に読み取り、コンピュータで利用できるデータに変換する機器。
キ. アルファベット、数字、記号などを7ビットで表現する米国規格協会が制定した文字コード。
ク. フルカラーに対応し、圧縮をする画像形式のファイル。非可逆圧縮で容量を小さくできるため、写真などの容量の大きいデータを保存する際に使われている。
ケ. 許可をされていない通信を遮断することで、外部の攻撃から組織内のネットワークなどを守るしくみ。
コ. データやサービスを提供するコンピュータと、それらを利用するコンピュータで役割を分担した通信技術。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 5 と2進数の 1110 との積を表す2進数。

ア. 1000110

イ. 1011010

ウ. 1111000

2. ファイル転送時間の短縮やディスクの空き容量を増やすことを目的に、容量を小さくしたデータを元の状態に戻すこと。

ア. 復号

イ. 圧縮

ウ. 解凍

3. 人件費やインク代など、企業の経営やシステムの運用、管理にかかるさまざまな費用。

ア. ランニングコスト

イ. TCO

ウ. イニシャルコスト

4. 磁気ディスク装置において、同心円状の部分の集合を円筒状にとらえた記憶領域。

ア. セクタ

イ. トラック

ウ. シリンダ

5. ある商店におけるA商品購入者表をもとに、B商品購入者表と差集合した仮想表を作成する。作成された仮想表のレコード件数。

A商品購入者表

顧客No	顧客名
2	西本 ○○
8	亀井 ○○
10	高島 ○○
14	岡村 ○○
15	安部 ○○
16	金井 ○○
21	金沢 ○○
22	佐伯 ○○
23	藤野 ○○
27	寺田 ○○

B商品購入者表

顧客No	顧客名
5	竹中 ○○
10	高島 ○○
13	稲葉 ○○
16	金井 ○○
18	白井 ○○
21	金沢 ○○
23	藤野 ○○
30	土井 ○○

ア. 4

イ. 6

ウ. 14

- 【4】 ある市の保護犬譲渡会では、見学状況を次のようなリレーショナル型データベースで管理している。次の各問いに答えなさい。

登録犬表

登録犬コード	犬種コード	性別	月齢
R0001	D01	オス	34
R0002	D04	メス	4
R0003	D05	メス	15
R0004	D06	オス	2
R0005	D03	メス	26
R0006	D02	オス	72
R0007	D07	オス	12
R0008	D03	オス	6
R0009	D02	メス	38
R0010	D07	メス	8
R0011	D06	メス	1
R0012	D04	メス	30
R0013	D01	オス	24
R0014	D03	メス	49
R0015	D07	オス	13

希望者表

希望者コード	希望者名	居住地	譲渡回数
F001	稲田 ○○	市内	1
F002	岩田 ○	市外	0
F003	中川 ○○	市内	2
F004	内野 ○○	市内	0
F005	熊沢 ○	市外	0
F006	安田 ○	市外	0
F007	柳田 ○○	市内	1
F008	川辺 ○○	市外	2
F009	河井 ○	市内	0
F010	福原 ○○	市内	1

犬種表

犬種コード	犬種	サイズ
D01	柴犬	中型犬
D02	トイプードル	小型犬
D03	ポメラニアン	小型犬
D04	キースホンド	中型犬
D05	サモエド	大型犬
D06	ミックス	小型犬
D07	ミックス	中型犬
D08	ミックス	大型犬

見学表

見学番号	希望者コード	登録犬コード	引取希望
1	F001	R0011	なし
2	F001	R0001	あり
3	F002	R0005	あり
4	F003	R0002	あり
5	F004	R0012	あり
6	F005	R0004	あり
7	F006	R0011	なし
8	F007	R0011	あり
9	F008	R0014	あり
10	F009	R0009	なし
11	F009	R0006	あり
12	F009	R0009	あり
13	F010	R0001	なし
14	F010	R0012	あり
15	F006	R0002	あり

- 問1. 次の表は、登録犬表をもとにして作成したものである。このようなリレーショナル型データベースの操作として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 結合
イ. 選択
ウ. 射影

登録犬コード	性別	月齢
R0001	オス	34
R0002	メス	4
R0003	メス	15
R0004	オス	2
R0005	メス	26
R0006	オス	72
R0007	オス	12
R0008	オス	6
R0009	メス	38
R0010	メス	8
R0011	メス	1
R0012	メス	30
R0013	オス	24
R0014	メス	49
R0015	オス	13

問2. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び，記号で答えなさい。

```
SELECT 希望者コード
FROM 希望者表
WHERE 譲渡回数 >= 1
```

ア.

希望者コード
F001
F003
F007
F008
F010

イ.

希望者コード
F003
F008

ウ.

希望者コード
F002
F004
F005
F006
F009

問3. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び，記号で答えなさい。

```
SELECT 登録犬コード, 犬種
FROM 登録犬表, 犬種表
WHERE 登録犬表.犬種コード = 犬種表.犬種コード
AND 性別 = 'メス'
AND サイズ = '小型犬'
```

ア.

登録犬コード	犬種
R0001	柴犬
R0007	ミックス
R0013	柴犬
R0015	ミックス

イ.

登録犬コード	犬種
R0004	ミックス
R0006	トイプードル
R0008	ポメラニアン

ウ.

登録犬コード	犬種
R0005	ポメラニアン
R0009	トイプードル
R0011	ミックス
R0014	ポメラニアン

問4. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び，記号で答えなさい。

```
SELECT 希望者名, 居住地
FROM 登録犬表, 犬種表, 希望者表, 見学表
WHERE 登録犬表.犬種コード = 犬種表.犬種コード
AND 登録犬表.登録犬コード = 見学表.登録犬コード
AND 希望者表.希望者コード = 見学表.希望者コード
AND 引取希望 = 'あり'
AND 犬種 = 'キースホンド'
```

ア.

希望者名	居住地
中川 ○○	市内
内野 ○○	市内
福原 ○○	市内
安田 ○	市外

イ.

希望者名	居住地
岩田 ○	市外
川辺 ○○	市外

ウ.

希望者名	居住地
熊沢 ○	市外
柳田 ○○	市内

問5. 次のSQL文を実行したとき，表示される適切な数値を答えなさい。

```
SELECT COUNT(*) AS 実行結果
FROM 登録犬表
WHERE 月齢 > 24
```

実行結果
※

(注) ※印は，値の表記を省略している。

【5】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 次の表は、ある生花店の定休日検索表である。「年」と「月」と「日」をもとに「備考」に 定休日 を表示する。C6に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この生花店の定休日は木曜日であり、この式をC36までコピーする。

=IF(WEEKDAY(() (\$A\$3,\$C\$3,A6),1)=5,"定休日","")

- ア. DATE
- イ. DAY
- ウ. MONTH

(注) WEEKDAY関数の第2引数が 1 の場合、戻り値として、
1 (日曜日) ~7 (土曜日) を返す。

	A	B	C	D
1				
2	定休日検索表			
3	2024	年		9月
4				
5	日	曜日	備考	
6	1	日		
7	2	月		
8	3	火		
9	4	水		
10	5	木	定休日	
11	6	金		
12	7	土		
13	8	日		
14	9	月		
15	10	火		
16	11	水		
17	12	木	定休日	
18	1	金		
19	2	土		
20	3	日		
21	4	月		
22	5	火		
23	6	水		
24	7	木		
25	8	金		
26	9	土		
27	10	日		
28	11	月		
29	12	火		
30	1	水		
31	2	木		
32	3	金		
33	4	土		
34	5	日		
35	6	月		
36	7	火		

問 2. 次の表は、あるかき氷専門店の売上分析表である。「猛暑日の平均売上数量」は、「最高気温」が 35.0 以上の日の「売上数量」を平均して求める。C37に設定する次の式の空欄(a)~(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (a) ((b) , (c) , ">=35.0")

	A	B	C
1			
2	売上分析表		
3	年月日	売上数量	最高気温
4	2024/8/1	206	33.2
5	2024/8/2	213	34.7
6	2024/8/3	224	35.0
7	2024/8/4	215	34.5
8	2024/8/5	221	35.0
9	2024/8/6	207	34.6
10	2024/8/7	201	34.1
11	2024/8/8	218	35.1
12	2024/8/9	225	35.2
13	2024/8/10	230	35.3
14	2024/8/11	235	35.4
15	2024/8/12	240	35.5
16	2024/8/13	245	35.6
17	2024/8/14	250	35.7
18	2024/8/15	255	35.8
19	2024/8/16	260	35.9
20	2024/8/17	265	36.0
21	2024/8/18	270	36.1
22	2024/8/19	275	36.2
23	2024/8/20	280	36.3
24	2024/8/21	285	36.4
25	2024/8/22	290	36.5
26	2024/8/23	295	36.6
27	2024/8/24	300	36.7
28	2024/8/25	305	36.8
29	2024/8/26	310	36.9
30	2024/8/27	315	37.0
31	2024/8/28	320	37.1
32	2024/8/29	325	37.2
33	2024/8/30	330	37.3
34	2024/8/31	335	37.4
35	2024/9/1	340	37.5
36	2024/9/2	345	37.6
37	2024/9/3	350	37.7

- ア. COUNTIFS
- イ. C4:C34
- ウ. B4:B34
- エ. AVERAGE
- オ. AVERAGEIFS
- カ. A4:A34

問 3. 次の表は、ある製菓店の販売金額計算書である。次の条件にしたがって「販売金額」を計算する。F4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、注文数のうち箱に入りきらなかった端数については箱を使わないものとする。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	販売金額計算書					
3	商品名	価格	注文数	箱単位	箱価格	販売金額
4	マドレーヌ	210	23	8	200	5,230
5	クッキー	150	20	10	150	3,300
6	チョコレート	130	15	12	100	2,050
7					合計金額	10,580

- 条件
- (1) 「価格」と「注文数」を掛けて代金を求める。
 - (2) 「注文数」を「箱単位」で割って箱数を求め、箱数に「箱価格」を掛けて代金を求める。
 - (3) (1)と(2)の合計を「販売金額」とする。

- ア. =B4*C4+ROUNDDOWN(C4/D4,0)*E4
- イ. =B4*C4+ROUNDUP(C4/D4,0)*E4
- ウ. =B4*C4+MOD(C4,D4)*E4

問4. 次の表は、ある動物園の利用料金早見表である。「大人料金」と「子供料金」にそれぞれ人数を掛けて利用料金を求め、「合計金額」を表示する。B8に次の式が設定されている際の表の空欄(a)にあてはまる値を選び、記号で答えなさい。ただし、割引条件として、「合計金額」がE3の金額以上の場合、「合計金額」にE4の「割引率」を掛けて割引料を求め、割引料を差し引いた金額を「合計金額」とする。なお、この式をG13までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	利用料金			割引条件			
3	大人料金	500		合計金額	2,000	円以上	
4	子供料金	300		割引率	10%	引き	
5							
6	利用料金早見表						
7	子供\大人	0	1	2	3	4	5
8	0	0	500	1,000	1,500	1,800	2,250
9	1	300	800	1,300	1,800	2,070	2,520
10	2	600	1,100	1,600	1,890	2,340	2,790
11	3	900	1,400	1,900	2,160	2,610	3,060
12	4	1,200	1,700	1,980	(a)	2,880	3,330
13	5	1,500	1,800	2,250	2,700	3,150	3,600

$$= (\$B\$3 * B\$7 + \$B\$4 * \$A8) * IF(\$B\$3 * B\$7 + \$B\$4 * \$A8 >= \$E\$3, 1 - \$E\$4, 1)$$

- ア. 2,410
イ. 2,420
ウ. 2,430

問5. 次の2学年における選択コース人数集計表は、選択コース希望一覧表をもとに行方向に「組」ごとの人数、列方向に「コース」ごとの人数を集計したものである。この集計機能として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	選択コース希望一覧表					選択コース人数集計表				
3	組	番	生徒名	コース		データの個数／人数				
4	1	1	淡路	〇〇	文系	組	文系	理系	特進	総計
5	1	2	飯村	〇〇	文系	1	22	10	8	40
6	1	3	伊場	〇〇	理系	2	15	15	10	40
7	1	4	植田	〇〇	理系	3	23	10	7	40
8	1	5	大場	〇〇	特進	4	14	20	6	40
9	1	6	小川	〇〇	理系	集計	74	55	31	160
10										
160	4	37	又吉	〇	理系					
161	4	38	宮地	〇〇〇	特進					
162	4	39	本山	〇〇	文系					
163	4	40	門前	〇〇	理系					

ア. ゴールシーク

イ. ピボットテーブル

ウ. フィルタ

【6】 次の表は、ある店舗における冷凍食品の売上数量一覧表である。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	冷凍食品売上数量一覧表									
3										
4	商品 コード	商品名	分類名	売上数量				売上数量計	順位	備考
5				第1週	第2週	第3週	第4週			
6	B02	エビピラフ	米飯	53	62	71	42	228	12	
7	S02	から揚げ	惣菜	78	76	87	62	303	5	
8	S03	餃子	惣菜	80	88	84	83	335	1	○
9	B03	五目炒飯	米飯	86	74	57	51	268	10	
10	K02	たい焼き	菓子	65	75	90	68	298	7	
11	S01	たこ焼き	惣菜	79	77	84	80	320	3	
12	M03	ナポリタン	麺	51	84	51	84	270	9	○
13	S04	ハンバーグ	惣菜	81	90	86	73	330	2	○
14	M01	冷やし中華	麺	89	61	56	88	294	8	○
15	M02	ミートソース	麺	72	63	58	56	249	11	
16	B01	焼きおにぎり	米飯	71	86	79	75	311	4	
17	K01	ワッフル	菓子	82	69	81	68	300	6	
18										
19	分類別売上数量分析表									
20	分類 コード	分類名	売上数量 合計	売上数量 平均	構成比率					
21	S	惣菜	1,288	322	36.7%					
22	M	麺	813	271	23.2%					
23	B	米飯	807	269	23.0%					
24	K	菓子	598	299	17.1%					

作成条件

- 「冷凍食品売上数量一覧表」は、次のように作成する。なお、売上数量計に同額はないものとする。
 - 「商品コード」は次のように構成されている。
 例 M01 → M 01
分類コード 分類内の連番
 - 「分類名」は、「商品コード」の左端から1文字目を抽出し、「分類別売上数量分析表」を参照して表示する。
 - 「売上数量計」は、「商品コード」ごとの「第1週」から「第4週」までの「売上数量」の合計を求める。
 - 「順位」は、「売上数量計」を基準として、降順に順位を求める。
 - 「備考」は、「売上数量」の「第4週」が「第3週」以上、または「売上数量計」が 330 以上の場合、○ を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。
- 「分類別売上数量分析表」は、次のように作成する。
 - 「売上数量合計」は、「冷凍食品売上数量一覧表」の「分類名」ごとに「売上数量計」の合計を求める。
 - 「売上数量平均」は、「冷凍食品売上数量一覧表」の「分類名」ごとに「売上数量計」の平均を求める。
ただし、整数部のみ表示する。
 - 「構成比率」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。
「売上数量合計 ÷ 売上数量合計の合計」

問1. C6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =HLOOKUP(LEFT(A6,1), \$A\$21:\$B\$24,2,FALSE)
- イ. =VLOOKUP(LEFT(A6,1), \$A\$21:\$B\$24,2,TRUE)
- ウ. =VLOOKUP(LEFT(A6,1), \$A\$21:\$B\$24,2,FALSE)

問2. I6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をI17までコピーする。

- ア. =RANK(H6,\$H\$6:\$H\$17,0)
- イ. =RANK(H6,\$H\$6:\$H\$17,1)
- ウ. =RANK(G6,\$G\$6:\$G\$17,1)

問3. J6に設定する次の式の空欄(a)~(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をJ17までコピーする。

=IF([a](G6>=[b]),[c]>=330),"○","")

- | | | |
|-------|--------|-------|
| ア. G6 | イ. OR | ウ. H6 |
| エ. I6 | オ. AND | カ. F6 |

問4. C21に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$17,\$H\$6:\$H\$17,B21)
- イ. =SUMIFS(\$H\$6:\$H\$17,\$C\$6:\$C\$17,B21)
- ウ. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$17,\$D\$6:\$D\$17,B21)

問5. E21に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をE24までコピーする。

- ア. =C21/SUM(\$C\$21:\$C\$24)
- イ. =D21/SUM(\$D\$21:\$D\$24)
- ウ. =SUM(\$C\$21:\$C\$24)/C21

(令和 6 年 9 月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 6 年度（第 71 回）情報処理検定試験ビジネス情報 第 2 級 筆記

解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

小計	
----	--

【5】

問 1	問 2			問 3	問 4	問 5
	(a)	(b)	(c)			

【6】

問 1	問 2	問 3			問 4	問 5
		(a)	(b)	(c)		

小計	
----	--

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(令和 6 年 9 月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 6 年度（第 71 回）情報処理検定試験ビジネス情報 第 2 級 筆記

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	コ	ア	ク	イ

【2】	1	2	3	4	5
	エ	ケ	オ	イ	キ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	ウ	ア	ウ	イ

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	ウ	ア	ウ	ア	6

各 3 点 20 問	小 計	60
---------------	--------	----

【5】	問 1	問 2			問 3	問 4	問 5
		(a)	(b)	(c)			
	ア	オ	ウ	イ	ア	ウ	イ

【6】	問 1	問 2	問 3			問 4	問 5
			(a)	(b)	(c)		
	ウ	ア	イ	カ	ウ	イ	ア

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各 4 点 10 問	小 計	40
---------------	--------	----

得 点 合 計
100

2024年9月22日実施

令和 6 年度（第 71 回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報〉
第 2 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって，シート名「報告書」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって，1 ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

次の表は、ある年のトマトの出荷報告書である。作成条件にしたがって、シート名「品目表」とシート名「出荷表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

(設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数)

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 全国出荷量表」は、次のように作成する。

- (1) 「品目名」は、「コード」をもとに、シート名「品目表」を参照して表示する。
- (2) 「作付面積 (ha)」は、シート名「出荷表」から「コード」ごとに「作付面積 (ha)」の合計を求める。
- (3) 「前年出荷量 (t)」は、「コード」をもとに、シート名「品目表」を参照して表示する。
- (4) 「出荷量 (t)」は、シート名「出荷表」から「コード」ごとに「出荷量 (t)」の合計を求める。
- (5) 「前年比」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

$$\text{「出荷量 (t)」} \div \text{「前年出荷量 (t)」}$$

- (6) 「産地数」は、シート名「出荷表」から「コード」ごとの件数を求める。
- (7) 「合計」は、各列の合計を求める。

5. 複合グラフは、「1. 全国出荷量表」から作成する。

- (1) 数値軸（縦軸）の目盛は、最小値 (0)，最大値 (500,000) および間隔 (100,000) を設定する。
- (2) 第2数値軸（縦軸）の目盛は、最小値 (0)，最大値 (300,000) および間隔 (60,000) を設定する。
- (3) 軸ラベルの方向を設定する。
- (4) 凡例の位置を設定する。
- (5) データラベルを設定する。

6. 「2. 中部地方出荷量表」は、次のように作成する。

- (1) 「収穫量 (t)」は、シート名「出荷表」から「生産地」ごとに「収穫量 (t)」の合計を求める。
- (2) 「出荷量 (t)」は、シート名「出荷表」から「生産地」ごとに「出荷量 (t)」の合計を求める。
- (3) 「順位」は、「出荷量 (t)」を基準として、降順に順位を求める。
- (4) 「出荷割合」は、次の式で求める。ただし、小数第3位未満を切り上げ、%で小数第1位まで表示する。

$$\text{「出荷量 (t)」} \div \text{「収穫量 (t)」}$$

- (5) 「備考」は、「順位」が4位以内、かつ「出荷割合」が90.0% 以上の場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

	A	B	C		A	B	C	D	E
1				1					
2	品目表			2	出荷表				
3	コード	品目名	前年出荷量 (t)	3	コード	生産地	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
4	S01	夏秋	207,600	4	W01	熊本	15,200	72,200	69,900
5	S02	夏秋ミニ	52,800	5	W02	熊本	9,590	36,400	35,200
6	S03	夏秋加工用	24,100	∧	∧	∧	∧	∧	∧
7	W01	冬春	277,300	208	S01	沖縄	2,400	24	18
8	W02	冬春ミニ	98,100	209	S03	石川	1,100	11	11

(品目表)

(出荷表)

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

トマトの出荷報告書

1. 全国出荷量表

コード	品目名	作付面積 (ha)	前年出荷量 (t)	出荷量 (t)	前年比	産地数
W01	冬春	422,980	277,300	270,134	97.4%	47
S01	※	※	※	※	※	※
W02	※	※	※	※	※	※
S02	※	※	※	※	※	※
S03	※	※	※	※	※	※
	合計	※	※	※		

トマトの作付面積と出荷量

2. 中部地方出荷量表

生産地	収穫量 (t)	出荷量 (t)	順位	出荷割合	備考
新潟	8,360	5,660	6	67.8%	
富山	※	※	※	※	※
石川	※	※	※	※	※
福井	※	※	※	※	※
山梨	※	※	※	※	※
長野	※	※	※	※	※
岐阜	※	※	※	※	※
静岡	※	※	※	※	※
愛知	※	※	※	※	※

(報告書)

(令和 6 年 9 月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 6 年度（第 71 回）情報処理検定試験ビジネス情報 第 2 級 実技

審 査 基 準

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

A

B

C

D

E

F

G

H

トマトの出荷報告書

1. 全国出荷量表

コード	品目名	作付面積 (ha)	前年出荷量 (t)	出荷量 (t)	前年比	産地数
W01	冬春	422,980	277,300	270,134	97.4%	47
S01	夏秋	174,990	207,600	203,907	98.2%	47
W02	冬春ミニ	319,470	98,100	96,103	98.0%	47
S02	夏秋ミニ	143,910	52,800	50,693	96.0%	47
S03	夏秋加工用	76,450	24,100	24,495	101.6%	18
	合計	1,137,800	659,900	645,332		

トマトの作付面積と出荷量

注 1

注 2

注 3

注 4

注 5

注 6

注 7

2. 中部地方出荷量表

生産地	収穫量 (t)	出荷量 (t)	順位	出荷割合	備考
新潟	8,360	5,660	6	67.8%	
富山	1,743	1,187	9	68.2%	
石川	3,080	2,510	7	81.5%	
福井	2,330	2,039	8	87.6%	
山梨	6,740	6,260	5	92.9%	
長野	16,070	13,670	3	85.1%	
岐阜	27,210	25,010	2	92.0%	○
静岡	13,440	12,420	4	92.5%	○
愛知	47,660	44,640	1	93.7%	○

配点

① 表の作成 () の箇所 …… 5点×13箇所=65点

注 7 長野が空白, 岐阜が ○ 。

② 罫線 …… 5点×1箇所=5点 (2つの表の罫線が正確にできている)

③ グラフの作成 () の箇所 … 5点×6箇所=30点

注 1 方向。

注 2 冬春の出荷量 (t) が折れ線グラフであること。データラベルとマーカーの有無は問わない。

注 3 冬春ミニの作付面積 (ha) が集合縦棒グラフであること。

注 4 数値 (50,693)。

注 5 最小値 (0), 最大値 (300,000) および間隔 (60,000)。

注 6 位置はグラフの下側にあること。左右の順序は問わない。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。

2024年 9 月22日実施

令和 6 年度（第 71 回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング〉
第 2 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. プログラム言語で記述された原始プログラムを、目的プログラムに一括で変換すること。
2. ソースコードが無償で公開され、ライセンスを順守すれば改良や複製ができるソフトウェア。
3. 磁気ディスク装置において、同心円状に分割した一周分の記憶領域。
4. コンピュータで日本語を表現するために、日本産業規格で定められている文字コード。
5. プリンタやディスプレイで出力される文字や画像などを表現する、色情報を持たない最小単位の点。

解答群

ア. JISコード	イ. トラック	ウ. RGB
エ. OSS	オ. Unicode	カ. デバッグ
キ. セクタ	ク. コンパイル	ケ. ドット
コ. ISO		

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. プラグアンドプレイ 2. MP3 3. グローバル変数
 4. ガンブラー 5. Wi-Fi

<B群>

- ア. 音楽CDと同程度の音質を保ちながら、データ容量を圧縮して記録することができる、音声データのファイル形式。
- イ. キーボードからの入力操作を監視して履歴を記録するハードウェアやソフトウェア。個人情報が盗まれるなど悪用されることがある。
- ウ. おもに建物内の限られた範囲で、LANケーブルを使用してネットワークに接続する方法。
- エ. 大域変数とも呼ばれ、プログラム内のどこからでも参照することができる変数。
- オ. コンピュータに周辺機器を接続した際、OSが自動的に認識しデバイスドライバのインストールや必要な設定を行う機能。
- カ. 既に存在するWebサイトを改ざんすることで、有害なWebサイトへ誘導し、閲覧者のコンピュータにマルウェアを感染させる攻撃方法。
- キ. 音程や音の長さ、音の大きさなどの演奏情報や制御情報を記録するファイル形式。
- ク. 無線LANの一種で、機器のメーカーや機種の違いを問わず、相互接続が保証された機器に与えられた名称。
- ケ. 複数のファイルを一つにまとめたり、まとめたファイルから元のファイルを取り出したりするために用いるソフトウェア。データの送受信の負担軽減や記憶容量の節約などの効果がある。
- コ. 局所変数とも呼ばれ、プログラム内の一定範囲でのみ参照することができる変数。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 46 と2進数の 10011 との差を表す2進数。

ア. 1001

イ. 11011

ウ. 100101

2. スケジュール管理やファイル共有、設備予約など、企業内における業務の効率化を促進するためのソフトウェア。

ア. ストリーミング

イ. グループウェア

ウ. テザリング

3. OSの開発などに利用され、汎用性に優れたプログラム言語。この言語から数多くのプログラム言語が派生している。

ア. C言語

イ. Java

ウ. アセンブリ言語

4. 特許権や商標権などの総称で、新しい技術やデザインなどを特許庁に出願し、審査後に登録されることで一定期間独占的に使用できる権利。

ア. 肖像権

イ. 著作権

ウ. 産業財産権

5. 入力されたデータに、数値以外のデータが含まれていないかを確認する検査。

ア. ニューメリックチェック

イ. トータルチェック

ウ. チェックディジットチェック

【4】 プログラムにしたがって処理するとき、(1)～(5)を答えなさい。なお、入力する a の値、 b の値は正の整数とする。

- (1) a の値が 6、 b の値が 3 のとき、㊦の処理を2回目に実行したあとの e の値を答えなさい。
- (2) a の値が 6、 b の値が 3 のとき、㊧で2回目に出力される c の値を答えなさい。
- (3) a の値が 9、 b の値が 7 のとき、㊦の処理を3回目に実行したあとの e の値を答えなさい。
- (4) a の値が 9、 b の値が 7 のとき、㊧の処理を何回実行するか答えなさい。
- (5) プログラムの処理について説明した文のうち、正しいものはどれか。**ア**、**イ**、**ウ**の中から選び、記号で答えなさい。
 - ア**. ㊧で出力される c の値は、必ず 2 の倍数である。
 - イ**. ㊧で出力される c の値は、必ず 3 の倍数である。
 - ウ**. ㊧で出力される c の値は、必ず奇数である。

<プログラム>

```
Sub Program1()
    Dim a As Long
    Dim b As Long
    Dim c As Long
    Dim e As Long
    Dim f As Long
    Dim g As Long
    a = Val(InputBox("aの値を入力してください"))
    b = Val(InputBox("bの値を入力してください"))
    c = b
    Do While a > 1
        [e = Int(c / 2)] ㊦
        f = e * 2
        If c = f Then
            [MsgBox (c)] ㊧
        End If
        g = b + c
        b = c
        c = g
        a = a - 1
    Loop
End Sub
```

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

ある製粉業者におけるそばの実の検査データを読み、検査結果一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

コード (Cod)	容積重 (Yju)	被害粒 (Hryu)
×～×	×××	××

(第1図)

実行結果

(検査結果一覧表)				
(コード)	(容積重)	(被害粒)	(評価点)	(判定)
KW2401	675	3	4	1等級
KW2402	580	4	3	2等級
KW2403	583	11	1	規格外
}	}	}	}	}
HA2403	636	3	3	2等級
HA2404	641	5	2	規格外
SN2401	687	4	4	1等級
(検査件数)	29			

(第2図)

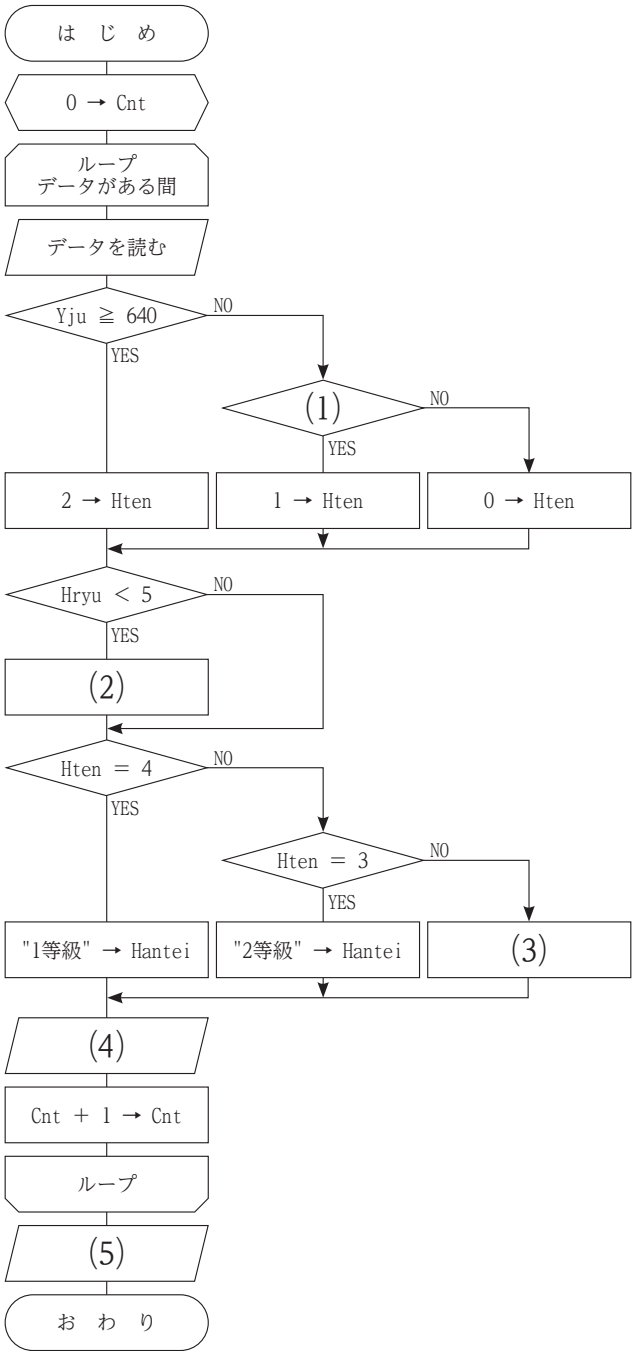
処理条件

- 第1図の入力データを読み、第2図のように表示する。
なお、容積重が 640 以上の場合は 2 を、580 以上 640 未満の場合は 1 を、580 未満の場合は 0 を評価点とする。また、被害粒が 5 未満の場合は 2 を評価点に加える。さらに、判定は、評価点が 4 の場合は 1等級を、3 の場合は 2等級 を、それ以外は 規格外 を表示する。
- 入力データが終了したら、検査件数を第2図のように表示する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. " " → Hantei
- イ. $Yju > 580$
- ウ. $Hten + 2 \rightarrow Hten$
- エ. "規格外" → Hantei
- オ. Cod, Yju, Hryu, Hten, Hantei を表示
- カ. $Hten + 1 \rightarrow Hten$
- キ. Cnt を表示
- ク. $Yju \geq 580$
- ケ. Cod, Yju, Hryu, Hten, Cnt を表示
- コ. Hten を表示

＜流れ図＞



【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

ある工場における1日の製造ライン稼働状況のデータを読み、稼働状況一覧と製造ライン別停止状況をディスプレイに表示する。

入力データ

製造ライン番号 (Srban)	稼働区分 (Kku)	時刻 (Jikoku)
×	×	××××

(第1図)

実行結果

(稼働状況一覧)			
(製造ライン番号)	(稼働状況)	(時刻)	
1	稼働	9:00	
2	稼働	9:00	
3	稼働	9:00	
4	稼働	9:00	
5	稼働	9:00	
6	稼働	9:00	
}	}	}	
1	停止	14:00	
1	稼働	15:05	
}	}	}	
1	停止	21:00	
2	停止	21:00	
3	停止	21:00	
4	停止	21:00	
5	停止	21:00	
6	停止	21:00	
(最大停止時間(分)) 65			
(製造ライン別停止状況)			
(製造ライン番号)	(停止時間合計(分))	(停止時間平均(分))	(停止時間の割合(%))
1	104	20.8	14.4
}	}	}	}

(第2図)

処理条件

1. 第1図の製造ライン番号は 1～6 の6種類、稼働区分は 0 (停止) か 1 (稼働) の2種類である。なお、時刻は次の例のように構成され、時は 9～21、分は 0～59 である。また、この工場の製造ラインは9時00分から21時00分まで稼働と停止を繰り返し、720分間連続して操業しており、入力データは時刻の昇順に記録されている。ただし、すべての製造ラインは9時00分に稼働し、21時00分直前まで稼働しているものとする。

例 1034 → 10 34
時 分

2. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
- 次の計算式で分に変換した時間を求める。
分に変換した時間 = 時 × 60 + 分
 - 稼働区分が 1 の場合で、時刻が 900 を超えている場合、製造ライン番号ごとに停止時間(分)を次の計算式で求め、最大停止時間(分)を求める。なお、同じ停止時間がある場合は、後に入力されたデータを優先する。また、配列 Tfun に停止時間合計(分)を求める。ただし、配列 Jikan と Tfun の添字は製造ライン番号と対応している。
停止時間(分) = 分に変換した時間 - 製造ライン番号ごとに記憶された停止した時間

配列

Jikan	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
Tfun	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

- 稼働区分が 0 の場合で、時刻が 2100 未満の場合、分に変換した時間を配列 Jikan に記憶し、停止回数を配列 Tkai に求める。なお、Tkai の添字は製造ライン番号と対応している。

配列

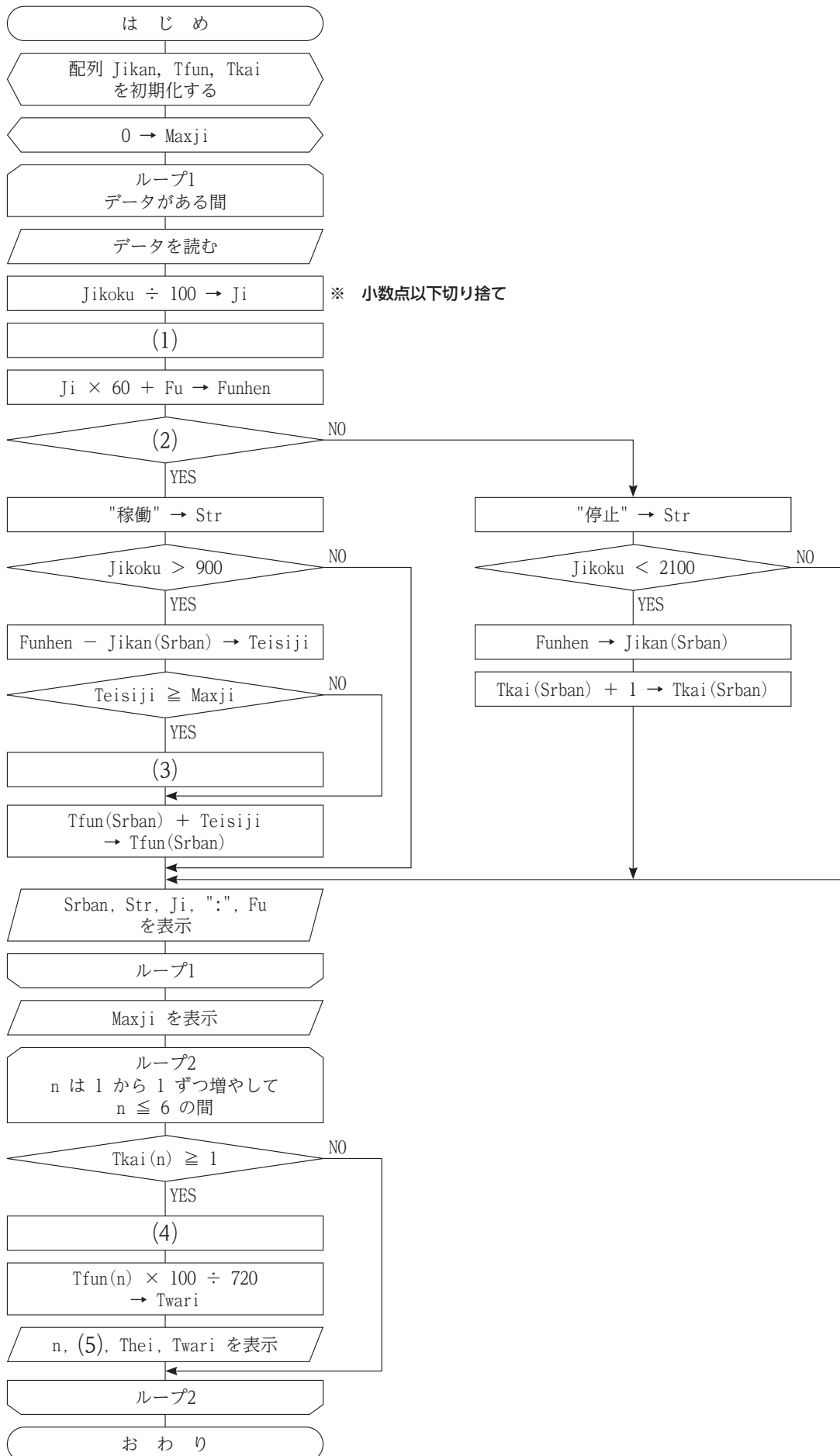
Tkai	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

- 製造ライン番号から時刻までを第2図のように表示する。
3. 入力データが終了したら、次の処理を行う。
- 最大停止時間(分)を第2図のように表示する。
 - 製造ライン番号ごとの停止時間平均(分)と停止時間の割合(%)を次の計算式で求め、製造ライン番号から停止時間の割合(%)までを第2図のように表示する。なお、停止回数が 1 以上でない場合は表示しない。
停止時間平均(分) = 停止時間合計(分) ÷ 停止回数
停止時間の割合(%) = 停止時間合計(分) × 100 ÷ 720
4. データにエラーはないものとする。

解答群

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| ア. Jikoku - Ji → Fu | イ. Teisiji → Maxji |
| ウ. Kku = 0 | エ. Tkai(n) ÷ Tfun(n) → Thei |
| オ. Tfun(n) | カ. Jikoku - Ji × 100 → Fu |
| キ. Kku = 1 | ク. Funhen → Maxji |
| ケ. Jikan(n) | コ. Tfun(n) ÷ Tkai(n) → Thei |

<流れ図>



【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

ある植物園が主催したダリアの展覧会評価データを読み、展覧会評価結果をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hi)	最も良かった作品コード (Ms)	次に良かった作品コード (Ts)
××××	×××	×××

(第1図)

実行結果

(展覧会評価結果)				
(出品者番号)	(出品者名)	(出品数)	(良かった件数の合計)	
1	田中 ○○	3	22	
}	}	}	}	
50	安藤 △△	2	5	
(分析したい出品者番号を入力) 2				
(出品者名) ☆☆園芸		(出品数) 5		
(作品コード) (最も良かった件数) (次に良かった件数)				
21	5	0		
22	2	2		
}	}	}		

(第2図)

処理条件

1. 第1図の最も良かった作品コードと次に良かった作品コードは次の例のように構成され、出品者番号は 1～50、出品者作品連番は 1～9 までの連番 (9作品まで出展可能) である。なお、次に良かった作品コードがない場合は 0 が記録されている。

例 472 → 47 2
出品者番号 出品者作品連番

2. 配列 Smei に出品者名を、配列 Ssu に出品数を記憶する。なお、Smei と Ssu の添字は出品者番号と対応している。

配列

Smei	(0)	(1)	(2)	～	(50)
		田中 ○○	☆☆園芸	～	安藤 △△
Ssu	(0)	(1)	(2)	～	(50)
		3	5	～	2

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

- 最も良かった作品コードを、配列 Skcod に記憶する。なお、作品コードをもとに Skcod を探索し、配列 Msken に最も良かった件数を求める。また、Skcod と Msken の添字は対応している。ただし、Skcod と Msken は、集計に十分な範囲が用意されている。

配列

Skcod	(0)	(1)	(2)	～
				～
Msken	(0)	(1)	(2)	～
				～

- 次に良かった作品コードが 0 の場合、配列 Msken に件数を1件追加する。なお、次に良かった作品コードが 0 でない場合、次に良かった作品コードを配列 Skcod に記憶する。さらに、作品コードをもとに Skcod を探索し、配列 Tsken に次に良かった件数を求める。また、Skcod と Tsken の添字は対応している。ただし、Tsken は、集計に十分な範囲が用意されている。

配列

Tsken	(0)	(1)	(2)	～
				～

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

- 出品者ごとに良かった件数の合計を次の計算式で求め、配列 Skei に記憶する。なお、Skei の添字は出品者番号と対応している。

良かった件数の合計 = 良かった件数の合計 + 最も良かった件数 + 次に良かった件数

配列

Skei	(0)	(1)	(2)	～	(50)
				～	

- 出品者番号から良かった件数の合計までを第2図のように表示する。
- 分析したい出品者番号を Bban に入力する。
- Bban をもとに、出品者名と出品数を第2図のように表示する。
- Bban をもとに、配列 Skcod を探索し、作品コードから次に良かった件数までを第2図のように表示する。
- Bban に 0 が入力されたら処理を終了する。

5. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. p は 1 から 1 ずつ増やして $p \leq 50$

ウ. $Bban \times 10 + rb$

オ. m は 1 から 1 ずつ増やして $m \leq j$

キ. Ts → Hoz

ケ. Skcod(k)

サ. Hoz

ス. $Skei(Sb) + Msken(m) + Tsken(m)$

ソ. $Bban \times 10 + j$
- イ. $Skei(Sb) + Msken(Sb) + Tsken(Sb)$

エ. j は 1 から 1 ずつ増やして $j \leq m$

カ. Skcod(p)

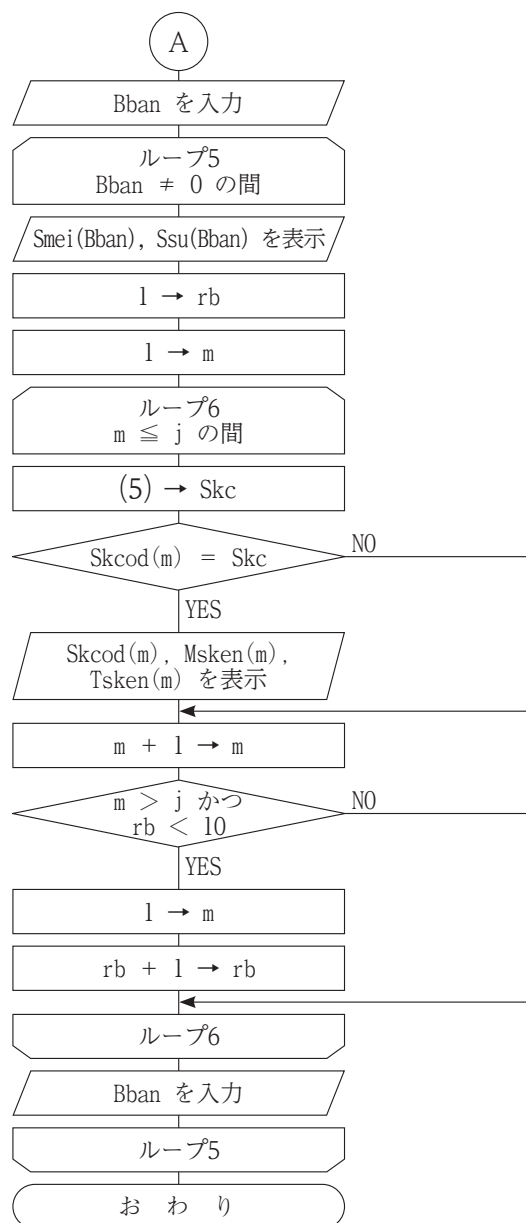
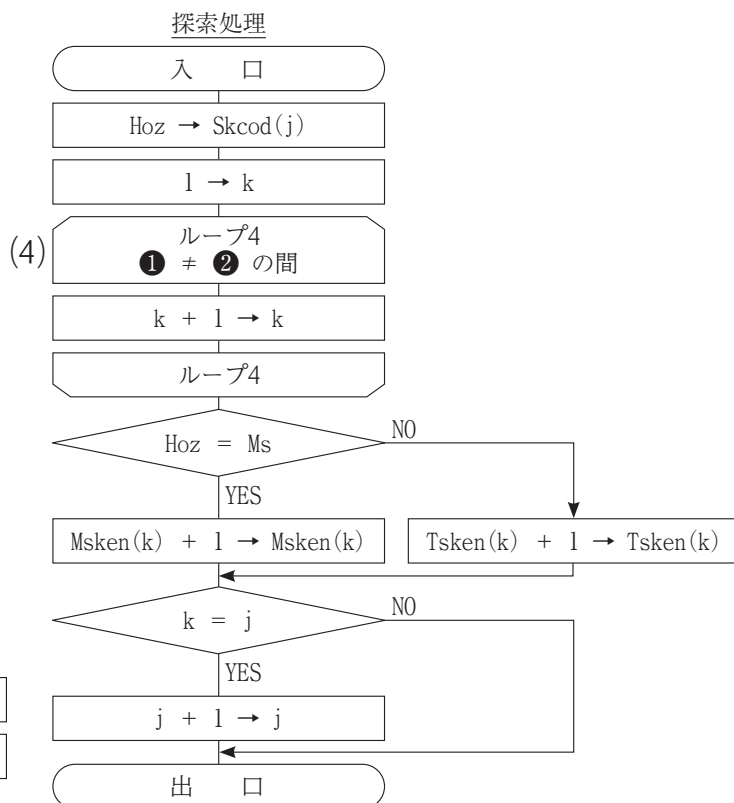
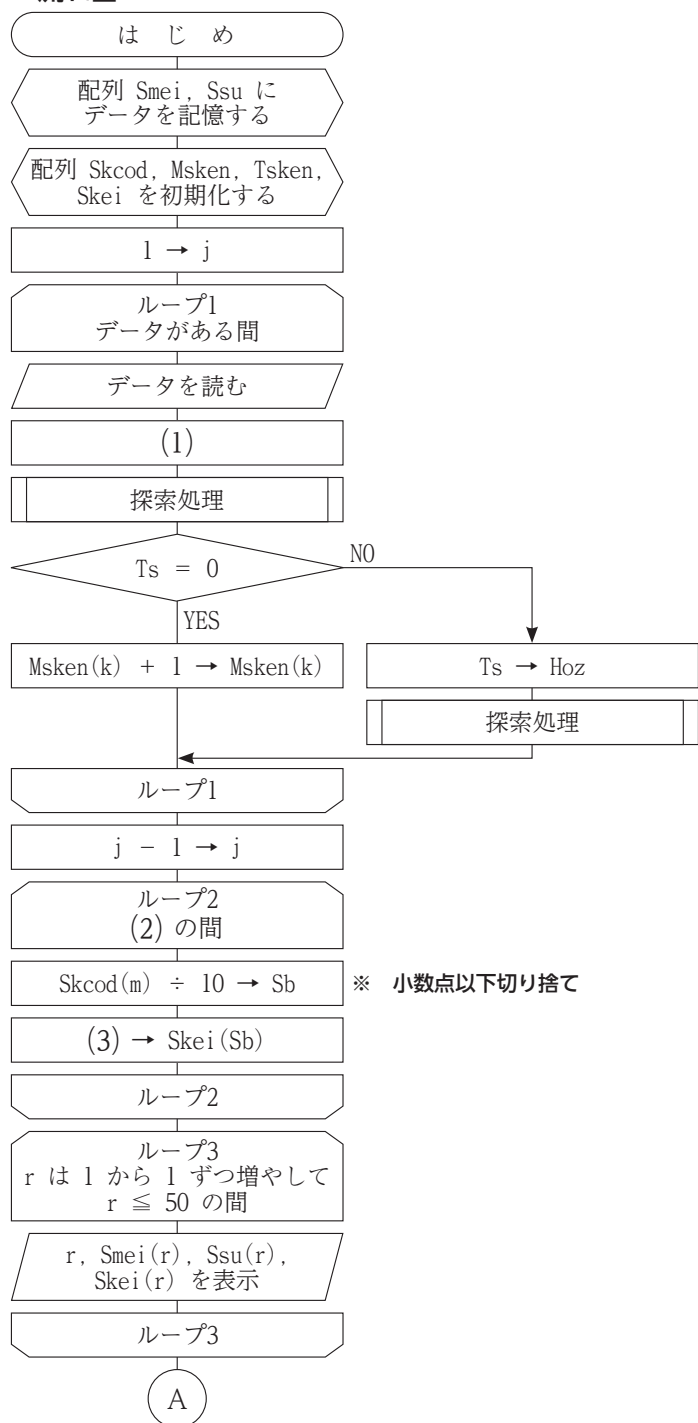
ク. k は 1 から 1 ずつ増やして $k \leq j$

コ. $Bban + rb \times 10$

シ. Skcod(r)

セ. Ms → Hoz

<流れ図>



(令和 6 年 9 月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 6 年度（第 71 回）情報処理検定試験プログラミング 第 2 級
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

小計	
----	--

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			回	

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】

(1)	(2)	(3)	(4)		(5)
			①	②	

小計	
----	--

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(令和 6 年 9 月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 6 年度（第 71 回）情報処理検定試験プログラミング 第 2 級
審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	ク	エ	イ	ア	ケ

【2】	1	2	3	4	5
	オ	ア	エ	カ	ク

【3】	1	2	3	4	5
	イ	イ	ア	ウ	ア

各 2 点 15 問	小 計	30
---------------	--------	----

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	3	24	10	3 回	ア

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	ク	ウ	エ	オ	キ

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	カ	キ	イ	コ	オ

各 3 点 15 問	小 計	45
---------------	--------	----

【7】	(1)	(2)	(3)	(4)		(5)
				①	②	
	セ	オ	ス	ケ	サ	ウ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。順不同。

各 5 点 5 問	小 計	25
--------------	--------	----

得 点 合 計
100

2024年9月22日実施

令和6年度（第71回）
情報処理検定試験
第3級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は6ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は20分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 20 を2進数で表したものの。

ア. 1010

イ. 10100

ウ. 10110

2. 1,000,000,000分の1秒を表す時間の単位。

ア. ms

イ. μ s

ウ. ns

3. コンピュータ画面などをスクリーンに投影する装置。プレゼンテーションを行う際に利用されることが多い。

ア. プロジェクタ

イ. プロバイダ

ウ. イメージスキャナ

4. 画面上に表示しきれない部分を見るために、表示範囲を上下、左右に移動して表示させる操作。

ア. フォーマット

イ. ブラウザ

ウ. スクロール

5. インターネットを安全に利用できるように、Webページへのアクセスやアプリケーションソフトウェアのダウンロードなどを制限すること。

ア. GUI

イ. フィルタリング

ウ. オンラインストレージ

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある高等学校の進学先一覧表である。表の7行目と8行目の間に1行分の空白行を挿入したい。これを実行するための指定方法として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	進学先一覧表			
3	学校名	学部	学科	人数
4	A大学	経済	経済	1
5	B大学	経営	経営	3
6	C大学	商	経済	2
7	D大学	社会	メディア	1
8	E専門学校		建築	1
9	F専門学校		税理士	2
10				

ア.

7	D大学
8	E専門学校

(7行目と8行目を選択)

イ.

7	D大学
8	E専門学校

(7行目を選択)

ウ.

7	D大学
8	E専門学校

(8行目を選択)

問2. 次の表は、ある文化祭の入場者数比較表である。「増減率」を小数第1位まで表示したい。小数点以下の表示桁数を増やすボタンとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	入場者数比較表			
3	単位：人			
4	区分	2023年	2024年	増減率
5	中学生	589	753	28%
6	高校生	623	592	-5%
7	一般	1,008	1,092	8%
8	合計	2,220	2,437	10%

ア.

.00
→.0

イ.

<.0
.00

ウ.

%

問3. 次の表は、あるアパレルショップが作成した注文書である。D1は、本日の日付を求める。D1に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、本日は2024年9月22日である。

	A	B	C	D
1	発行日 2024/9/22			
2	注文書			
3	品名	数量	単価	金額
4	パーカー	10	2,300	23,000
5	Tシャツ	15	1,500	22,500
6			合計	45,500

ア. =COUNT(B4:B5)
イ. =COUNTA(C1)
ウ. =TODAY()

問4. 次の表は、人気アーティスト一覧表である。表はある項目を基準として降順に並べ替えてある。基準とした項目名として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	人気アーティスト一覧表 単位：票			
3	アーティスト名	10代	20代	30代
4	グリーン〇〇	1,309	1,301	895
5	伊藤 〇〇	1,230	1,309	961
6	ゴールド〇〇	1,103	1,510	1,023
7	近藤 〇〇	705	809	694
8	〇〇だるま	603	850	1,501

ア. 10代
イ. 20代
ウ. 30代

問5. 次の表は、あるギフト専門店の新商品登録表である。「商品コード」の左端から2文字は、「分類別」を表している。「分類別」を抽出するために、C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	新商品登録表			
3	商品名	商品コード	分類別	分類名
4	急速充電器	DS33400	DS	電子機器
5	蛍光マーカー	HK10220	HK	筆記具
6	骨伝導イヤホン	DS32500	DS	電子機器
7	シャープペンシル	HK10180	HK	筆記具
8	12桁卓上電卓	JM21800	JM	事務用品
9	多機能ボールペン	HK11000	HK	筆記具
10	8桁手帳型電卓	JM20999	JM	事務用品

ア. =MID(B4,2,2)
イ. =LEFT(B4,2)
ウ. =RIGHT(B4,2)

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表のD1は、次の式が設定されている。D1に表示される値を答えなさい。

	A	B	C	D
1	10	5	3	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

=A1+B1*C1^2

問2. 次の表とグラフは、8月のある地域における水族館来場者数を集計したものである。次の(1)、(2)に答えなさい。

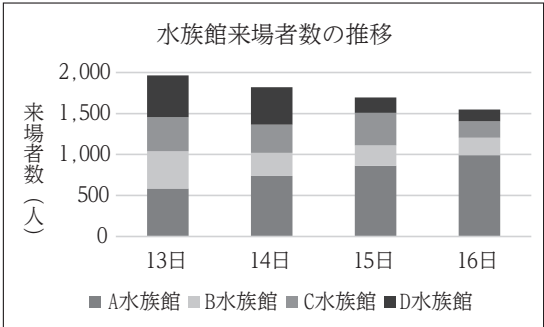
(1) 作成されたグラフのデータの範囲として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. A3:E7
- イ. A3:E8
- ウ. B3:E8

(2) グラフから読み取った内容として正しいものを選び、記号で答えなさい。

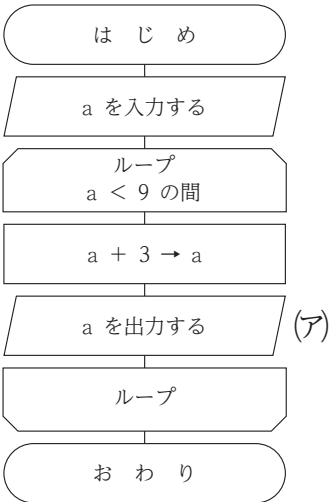
- ア. 14日の来場者数が、最も多いのは「B水族館」である。
- イ. 水族館全体の来場者数は毎日減少しているが、「A水族館」の来場者数は毎日増加している。
- ウ. 「C水族館」の来場者数は、15日より16日の方が多い。

	A	B	C	D	E
1	水族館来場者数 単位：人				
2	水族館名	13日	14日	15日	16日
3	A水族館	586	740	865	992
4	B水族館	452	281	247	211
5	C水族館	417	342	397	203
6	D水族館	510	457	188	142
7	合計	1,965	1,820	1,697	1,548



【6】 流れ図にしたがって処理するとき、次の各問いに答えなさい。

<流れ図>



- 問1. a の値が 1 のとき、(ア)で1回目に出力される a の値を答えなさい。
- 問2. a の値が 1 のとき、(ア)の処理を何回実行するか答えなさい。

【7】 次の表は、東北地方の農業産出額の資料にもとづき、作成条件にしたがって作成されたものである。各問いに答えなさい。

資料

畜産 農業産出額	
単位：億円	
県名	金額
青森	979
岩手	1,714
宮城	752
秋田	378
山形	411
福島	487

米 農業産出額	
単位：億円	
県名	金額
青森	405
岩手	468
宮城	630
秋田	852
山形	689
福島	589

野菜 農業産出額	
単位：億円	
県名	金額
青森	657
岩手	241
宮城	266
秋田	295
山形	426
福島	460

果実 農業産出額	
単位：億円	
県名	金額
青森	1,051
岩手	137
宮城	23
秋田	85
山形	766
福島	300

その他 農業産出額	
単位：億円	
県名	金額
青森	76
岩手	100
宮城	66
秋田	60
山形	102
福島	134

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	東北地方の農業産出額								
3	単位：億円								
4	県名	畜産	米	野菜	果実	その他	合計	米の割合	備考
5	青森	979	405	657	1,051	76	3,168	12.8%	C
6	①	1,714	468	241	137	100	2,660	17.6%	C
7	宮城	752	630	266	23	66	1,737	36.3%	B
8	秋田	378	852	②	85	60	1,670	51.0%	A
9	山形	411	689	426	766	③	2,394	28.8%	B
10	福島	487	589	460	300	134	1,970	29.9%	B
11	平均	787	606	391	394	90			
12	最大	1,714	④	657	1,051	134			
13	最小	378	405	241	⑤	60			

作成条件

1. 資料を参考にして、A5～F10にデータを入力する。
2. 「合計」は、「畜産」から「その他」の合計を求める。
3. 「米の割合」は、次の式で求める。ただし、小数第3位未満を四捨五入し、%で小数第1位まで表示する。

「米 ÷ 合計」

4. 「備考」は、「米の割合」が 50.0% 以上の場合、A を、25.0% 以上 50.0% 未満の場合、B を、それ以外の場合、C を表示する。
5. 「平均」は、各列の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
6. 「最大」は、各列の最大値を求める。
7. 「最小」は、各列の最小値を求める。

問1. 表の①～⑤に表示されるデータを答えなさい。

問2. G5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =SUM(B5:B10)

イ. =SUM(B5:E5)

ウ. =SUM(B5:F5)

問3. H5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =ROUND(C5/G5,3)

イ. =ROUND(C5/G5,1)

ウ. =ROUND(C5/G5,0)

問4. I5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =IF(H5<=50.0%,"A",IF(H5<=25.0%,"B","C"))

イ. =IF(H5>=50.0%,"A",IF(H5>=25.0%,"B","C"))

ウ. =IF(H5>=50.0%,"C",IF(H5>=25.0%,"B","A"))

問5. B11に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =AVERAGE(B5:B10)

イ. =MAX(B5:B10)

ウ. =MIN(B5:B10)

(令和 6 年 9 月 22 日 実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 6 年度（第 71 回）情報処理検定試験 第 3 級 筆記

解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

小計	
----	--

【5】

問 1	問 2	
	(1)	(2)

【6】

問 1	問 2
	回

【7】

問 1				
①	②	③	④	⑤

問 2	問 3	問 4	問 5

小計	
----	--

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(令和 6 年 9 月 22 日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和 6 年度 (第 71 回) 情報処理検定試験 第 3 級 筆記

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	コ	カ	イ	ケ	エ

【2】	1	2	3	4	5
	ウ	ク	キ	ア	オ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ウ	ア	ウ	イ

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	ウ	イ	ウ	ア	イ

各 3 点 20 問	小 計	60
---------------	--------	----

【5】	問 1	問 2	
		(1)	(2)
	55	ア	イ

【6】	問 1	問 2
	4	3 回

【7】	問 1				
	①	②	③	④	⑤
	岩手	295	102	852	23

問 2	問 3	問 4	問 5
ウ	ア	イ	ア

※ 【7】 問 1 は①～⑤のすべてができて正答とする。

各 4 点 10 問	小 計	40
---------------	--------	----

得 点 合 計
100

2024年9月22日実施

令和6年度（第71回） 情報処理検定試験 第3級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって，シート名「シート1」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は2ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって，1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

次の資料は、ある国の新幹線における車内販売の分類別売上数量と飲料の商品別売上高である。資料と作成条件にしたがってシート名「シート1」を作成しなさい。

資料

分類別売上数量				単位：個
分類	5月	6月	7月	8月
アイス	1,364	1,837	2,509	4,192
飲料	17,352	14,971	16,528	18,924
弁当・パン	5,473	4,429	5,486	5,391
菓子	5,135	4,072	5,284	6,816
新幹線グッズ	3,521	2,780	2,923	3,315
お土産	3,146	2,665	2,310	3,927

飲料の商品別売上高				単位：千円
商品	5月	6月	7月	8月
炭酸飲料	351	458	505	795
果汁飲料	465	251	273	344
緑茶	812	700	773	687
コーヒー	1,306	1,158	1,279	1,374
その他	145	97	110	158

作成条件

- ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。
- 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

(設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，％，小数の表示桁数)
 - 表の※印の部分は、式や関数を利用して求める。また、※※印の部分は、資料より必要な値を入力する。
 - グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。
 - 「1. 分類別売上数量」は、次のように作成する。
 - 「平均」は、「5月」から「8月」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
 - 「最大」は、「5月」から「8月」の最大値を求める。
 - 「順位」は、「8月」を基準として、降順に順位を求める。
 - 円グラフは、「1. 分類別売上数量」から作成する。
 - データラベルを設定し、割合を％で小数第1位まで表示する。
 - 「飲料」を切り離す。
 - 「2. 飲料の商品別売上高」は、次のように作成する。
 - 「合計」は、各列の合計を求める。
 - 「構成比」は、次の式で求める。ただし、％で小数第1位まで表示する。

8月 ÷ 8月の合計
 - 「備考」は、「8月」が「5月」より大きい場合、○ を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。
 - 折れ線グラフは、「2. 飲料の商品別売上高」から作成する。
 - 数値軸の目盛は、最小値（200）、最大値（1,400）、および間隔（400）を設定する。
 - 軸ラベルの方向を設定する。
 - 凡例の位置を設定する。

A	B	C	D	E	F	G	H	I
---	---	---	---	---	---	---	---	---

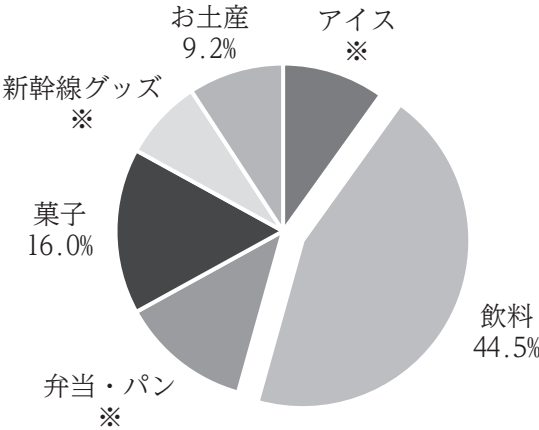
車内販売一覧表

1. 分類別売上数量

単位：個

分類	5月	6月	7月	8月	平均	最大	順位
アイス	1,364	1,837	2,509	4,192	2,476	4,192	4
飲料	17,352	14,971	16,528	18,924	※	※	※
弁当・パン	5,473	4,429	5,486	5,391	※	※	※
菓子	5,135	4,072	5,284	6,816	※	※	※
新幹線グッズ	3,521	※※	※※	3,315	※	※	※
お土産	3,146	※※	※※	3,927	※	※	※

8月の売上数量割合

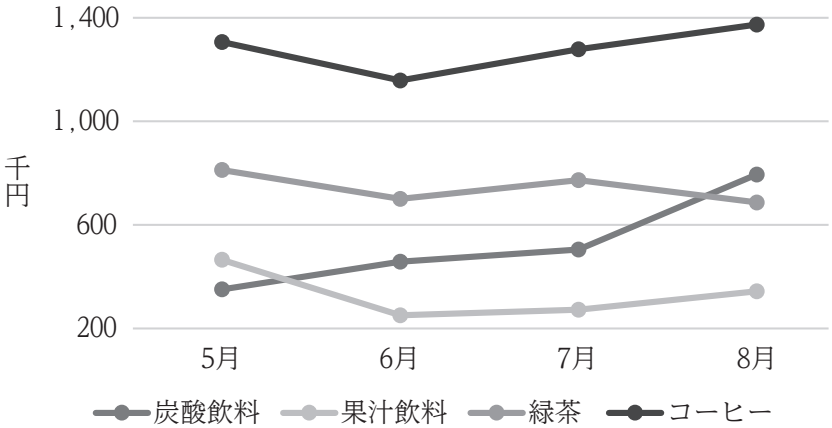


2. 飲料の商品別売上高

単位：千円

商品	5月	6月	7月	8月	構成比	備考
炭酸飲料	351	458	505	795	23.7%	○
果汁飲料	465	251	273	344	※	※
緑茶	812	700	773	687	※	※
コーヒー	1,306	※※	※※	1,374	※	※
その他	145	※※	※※	158	※	※
合計	※	※	※	3,358		

飲料の商品別売上高の推移



(シート1)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度（第71回）情報処理検定試験 第3級 実技

審査基準

A	B	C	D	E	F	G	H	I
車内販売一覧表								
1. 分類別売上数量								
単位：個								
分類	5月	6月	7月	8月	平均	最大	順位	
アイス	1,364	1,837	2,509	4,192	2,476	4,192	4	
飲料	17,352	14,971	16,528	18,924	16,944	18,924	1	
弁当・パン	5,473	4,429	5,486	5,391	5,195	5,486	3	
菓子	5,135	4,072	5,284	6,816	5,327	6,816	2	
新幹線グッズ	3,521	2,780	2,923	3,315	3,135	3,521	6	
お土産	3,146	2,665	2,310	3,927	3,012	3,927	5	

8月の売上数量割合

注2: 新幹線グッズ (7.8%)

注3: 飲料 (44.5%)

2. 飲料の商品別売上高							
単位：千円							
商品	5月	6月	7月	8月	構成比	備考	
炭酸飲料	351	458	505	795	23.7%	○	
果汁飲料	465	251	273	344	10.2%		
緑茶	812	700	773	687	20.5%		
コーヒー	1,306	1,158	1,279	1,374	40.9%	○	
その他	145	97	110	158	4.7%	○	
合計	3,079	2,664	2,940	3,358			

飲料の商品別売上高の推移

注4: 千円

注5: 最小値 (200), 最大値 (1,400), および間隔 (400)。

注6: 「8月」が折れ線グラフであること。マーカーの有無は問わない。

注7: 位置はグラフの下側であること。順序は問わない。「その他」がないこと。

配点

- ① コンマ 5点×1箇所=5点
(「1. 分類別売上数量」のコンマがすべて設定されている)
- ② 表の作成()の箇所 5点×11箇所=55点
注1 緑茶が空白, コーヒーが ○ 。
- ③ 罫線 5点×1箇所=5点
(「2. 飲料の商品別売上高」の罫線が正確にできている)
- ④ グラフの作成()の箇所 ... 5点×7箇所=35点
注2 数値 (7.8%)。
注3 分類名が飲料であり, 飲料のみが切り離されている。
注4 方向。
注5 最小値 (200), 最大値 (1,400), および間隔 (400)。
注6 「8月」が折れ線グラフであること。マーカーの有無は問わない。
注7 位置はグラフの下側であること。順序は問わない。「その他」がないこと。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。

2025年 1 月19日実施

令和 6 年度（第 72 回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報〉
第 1 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 同一のネットワークに接続されているすべての機器に対して、データを一齐に送信するときに使われるアドレス。
2. ハードウェアの故障などによりデータベースに障害が発生した際、バックアップ時の状態に復旧させた後、ジャーナルファイルを用いて、障害発生直前の状態に戻すこと。
3. コンピュータシステムを評価する指標の一つで、プログラムやデータの改ざんや消失がないなど、整合性が保たれていることを表したものの。
4. システム開発の初期段階において、利用者が求める仕様を実現するために、必要な機能をどのように設計するか検討する工程。
5. コンピュータ間の通信を行う際に必要とされる機能を整理して、七つの階層に分類したもの。国際標準化機構によって策定された。

解答群

ア. 保守性	イ. ロールフォワード	ウ. グローバルIPアドレス
エ. 完全性	オ. OSI参照モデル	カ. TCP/IP
キ. 内部設計	ク. ロールバック	ケ. 可用性
コ. ブロードキャストアドレス	サ. プロトコル	シ. 要件定義

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 運用・保守 2. VPN 3. リスクアセスメント
4. コミット 5. MTTR

<B群>

- ア. 潜在的なリスクを洗い出して特定し、その発生可能性や影響の度合いを分析した結果をもとに、リスク対応の必要性などを判断して評価するプロセス。
- イ. システムの運用時間のうち、障害を修復してから、次の障害が発生するまでの平均時間。
- ウ. システム開発において、開発したシステムを正常に稼働させることや、システムが稼働する中で見つかった問題点を修正する工程。
- エ. LAN内のコンピュータがインターネットを利用できるようにするために、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを相互に変換する技術。
- オ. システム開発において、要件や設計した機能がすべて備わっているかを確認する開発者側の最終テスト。
- カ. 事業活動等に伴って想定されるリスクへの備えや対処を、業務として組織的に取り組み損失を回避、または不利益を最小限に抑えようとする活動。
- キ. データベースにおいて、トランザクションが反映され、正常に終了したときに処理を確定すること。
- ク. インターネットを経由し、認証および暗号化と復号の技術によって構築された仮想的な専用回線。
- ケ. システムの運用時間のうち、故障が発生してから、再び正常に動作するまでの平均時間。
- コ. データベースにおいて、メモリ上のデータを外部記憶装置に書き込む処理が行われた時点のこと。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. データベース設計の初期段階で、業務内容を分析して必要なデータを抽出し、その関連性を整理してデータ構造の全体像を明確にする設計工程。

ア. 物理設計

イ. 概念設計

ウ. 論理設計

2. インターネット上で、電子メールを保管したメールサーバにアクセスし、自分宛てのメールを受信するためのプロトコル。

ア. MIME

イ. SMTP

ウ. POP

3. コンピュータネットワークに直接接続され、複数のコンピュータから同時にアクセスでき、データの保存や共有が可能な記憶装置。

ア. DMZ

イ. NAS

ウ. RAID

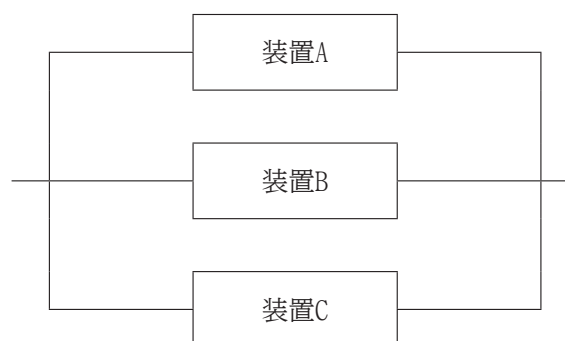
4. あるスキャナを使用して、横7.5cm、縦12.5cmのカラー写真を24ビットカラーで取り込み、80%に圧縮したサイズは3.24MBであった。このスキャナの解像度を答えなさい。ただし、1インチ=2.5cm、1MB=10⁶Bとする。

ア. 300dpi

イ. 600dpi

ウ. 900dpi

5. 装置A、装置B、装置Cが、次の図のように配置されているシステム全体の稼働率を小数第3位まで求めなさい。なお、それぞれの稼働率は、装置Aが0.8、装置Bが0.7、装置Cが0.6とし、1台以上の装置が稼働していれば正常稼働とする。



【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の図は、KJ法の手順を示している。空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

情報収集 → 解答不要 → → 解答不要 → 文章化

ア. グループ化

イ. カード化

ウ. 図解化

問2. 次の表はDFDの記号と名称を表したものである。空欄(a)～(c)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

記 号	名 称
	(a)
	(b)
 	(c)

ア. (a) プロセス

(b) データの源泉と吸収

(c) データストア

イ. (a) データストア

(b) データの源泉と吸収

(c) プロセス

ウ. (a) データの源泉と吸収

(b) データストア

(c) プロセス

エ. (a) データの源泉と吸収

(b) プロセス

(c) データストア

問3. 次の表は、ある企業の本社のIPアドレス一覧表であり、300台の機器がある。すべての機器を同じネットワークグループにするためのサブネットマスクとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

No.	IPアドレス	機器	導入時期
1	172.16.0.1	サーバ	2021/12/01
2	172.16.0.2	サーバ	2021/12/01
3	172.16.0.3	ルータ	2021/12/01
⋮	⋮	⋮	⋮
299	※	パソコン	2024/07/29
300	※	プリンタ	2024/07/29

(注) ※印は、表記を省略している。

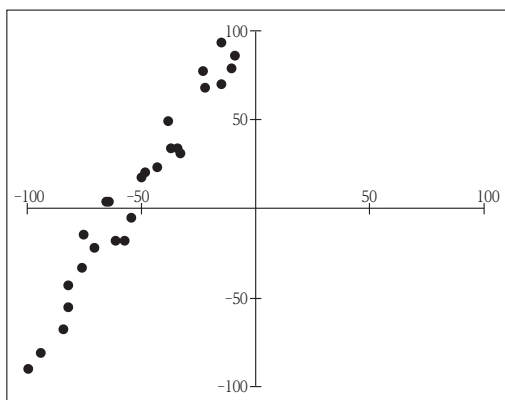
ア. 255.255.0.0

イ. 255.255.255.0

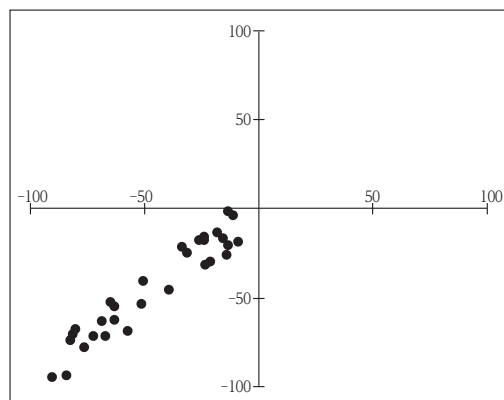
ウ. 255.255.255.128

問4. 次の散布図から、負の相関を示しているものを選び、記号で答えなさい。

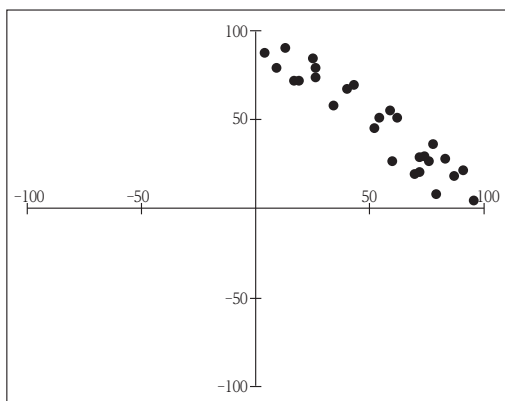
ア.



イ.



ウ.



問5. IaaSを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. サービス提供者がインターネットを経由して、アプリケーションソフトウェアを稼働させるために必要なOSなどの環境を提供する形態のこと。利用者は自ら環境を構築することなく、インターネット経由で開発に必要なツールやリソースにアクセスし、アプリケーションの開発やテスト、運用ができる。

イ. サービス提供者がインターネットを経由して、仮想サーバや記憶装置などのデジタル基盤を提供する形態のこと。利用者は自らハードウェアを購入・管理することなく、必要なリソースの拡張や縮小が柔軟にできる。また、オペレーティングシステムやアプリケーションを自由に選び設定できる。

ウ. 耐震設計、自家発電、ハードウェアを冷却するための空調設備が備わったデータセンターなどの専用施設内に、利用者が物理的に所有するサーバを設置し、インターネット環境や電源などを提供してもらいながら運用するサービス。

- 【5】 ある自治体では、公共施設の予約を次のようなリレーショナル型データベースを利用し、管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 新規の会員希望者は登録の手続きを行い、会員表にデータを入力する。
- ② 施設予約表は、一回の予約につき1レコードが作成され、予約番号は連番で入力される。
- ③ 備品予約表は、予約した備品の種類の数だけレコードが作成される。例えば、一回の予約で二種類の備品を予約した場合、備品予約表には2レコードが作成される。

会員表

会員コード	会員名	連絡先	活動内容
K01	親子学習サークル○▽□	AAAA-AA-AAAA	百人一首等
K02	F.D.Cリダンスサークル	BBBB-BB-BBBB	フォークダンス
K03	歌声◇◇○○	CCCC-CC-CCCC	カラオケ歌唱
K04	○○楽器愛好会	DDDD-DD-DDDD	ギター等の演奏
}	}	}	}
K08	◎◎おはなし倶楽部	EEEE-EE-EEEE	おはなしボランティア
K09	ボランティアの会	FFFF-FF-FFFF	ボランティア
}	}	}	}
K32	卓球クラブ横縦奥行	GGGG-GG-GGGG	卓球
K33	Eをかこうよ	HHHH-HH-HHHH	絵画

施設表

施設コード	施設名	定員	利用料金
R01	プレイルーム	34	10
R02	研修室1	20	100
R03	研修室2	20	100
R04	研修室3	20	100
R05	多目的ホール1	60	350
R06	多目的ホール2	60	350
R07	多目的ホール3	60	350
R08	調理室	24	300
R09	陶芸室	8	300
R10	会議室1	50	250
R11	会議室2	50	250
R12	会議室3	30	200
R13	音楽室	20	150

備品表

備品コード	備品	備品料金
B01	椅子	50
B02	テーブル	50
B03	ホワイトボード	80
B04	収納式舞台	200
B05	音響設備	250
}	}	}
B19	マイクロホンスタンド	50
B20	延長コード	50
B21	スポットライト	100
B22	液晶モニター	200

施設予約表

予約番号	会員コード	施設コード	予約日	開始時	終了時
}	}	}	}	}	}
110036	K26	R02	2025/01/29	9	12
110037	K24	R09	2025/01/29	10	20
110038	K17	R07	2025/01/30	9	20
}	}	}	}	}	}
110066	K10	R11	2025/02/04	9	15
110067	K18	R09	2025/02/04	13	22
110068	K03	R11	2025/02/04	15	21
110069	K10	R03	2025/02/04	10	12
110070	K30	R07	2025/02/05	11	14
}	}	}	}	}	}

備品予約表

予約番号	備品コード	数量
}	}	}
110036	B01	6
110036	B02	3
110037	B10	1
110037	B11	4
110038	B12	1
}	}	}
110068	B06	1
110068	B12	1
110069	B01	10
110069	B02	5
110070	B04	1
110070	B05	1
}	}	}

問1. 公共施設の予約データベースに関して、次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 施設予約表の会員コードは、備品表において外部キーになっている。
- イ. 施設表の施設コード R11 のレコードを削除することは、参照整合性に反しない。
- ウ. 備品予約表の主キーは、予約番号と備品コードの複合キーである。

問2. 会員コード K08 の連絡先を更新する。次のSQL文の空欄にあてはまる組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

(a) 会員表 (b) 連絡先 = 'YYYY-YY-YYYY' WHERE 会員コード = 'K08'

- ア. (a) UPDATE (b) SET
- イ. (a) INSERT (b) INTO
- ウ. (a) DELETE (b) FROM

問3. 2025年2月1日から2月28日において会議室1, 会議室2, 会議室3の予約数をカウントし、抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

```
SELECT COUNT(*) AS 会議室予約数
FROM 施設表 A, 施設予約表 B
WHERE A.施設コード = B.施設コード
      AND 予約日 BETWEEN '2025/02/01' AND '2025/02/28'
      AND 施設名  '会議室%'
```

会議室予約数
4

問4. 予約番号 110066 の備品料金計を集計する。備品料金計は、備品料金に数量を掛けて求める。次のSQL文の空欄をうめなさい。

```
SELECT 会員コード, SUM(備品料金 * 数量) AS 備品料金計
FROM 施設予約表 A, 備品表 B, 備品予約表 C
WHERE A.予約番号 = C.予約番号
      AND B.備品コード = C.備品コード
      AND C.予約番号 = 110066
       A.会員コード, C.予約番号
```

会員コード	備品料金計
K10	400

問5. 次のSQL文を実行した内容として適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 会員名, 連絡先
FROM 会員表
WHERE 会員コード IN (SELECT 会員コード
                      FROM 施設予約表
                      WHERE 施設コード = 'R13'
                      AND 予約日 BETWEEN '2025/02/01' AND '2025/02/14')
```

- ア. 2025年2月1日から2月14日以外で、音楽室を予約した会員名と連絡先を抽出する。
- イ. 2025年2月1日から2月14日に、音楽室を予約した会員名と連絡先を抽出する。
- ウ. 2025年2月1日から2月14日に、音楽室以外を予約した会員名と連絡先を抽出する。

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、あるうどん店のアンケート結果一覧表である。B310は、「最頻値」を求める。B310に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (B4:B308)

ア. MOD

イ. MODE

ウ. MEDIAN

問2. 次の表は、ある会員サービス会社の入会日一覧表である。「長期サービス」は、サービスを提供するため、入会日から50か月以上の会員に対し 対象者 を表示する。C4に設定する次の式の空欄(a)~(c)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

ただし、入会日が月の途中でも1か月とカウントする。また、C2は、本日の日付を設定している。

	A	B	C
1	入会日一覧表		
2	2025/1/19		
3	名前	入会日	長期サービス
4	相賀 ○○	2020/4/1	対象者
5	相澤 ○○	2021/9/1	
6	会沢 ○○	2022/1/10	
7	会田 ○○	2023/4/1	
8	}	}	}
15	甲斐田 ○	2023/9/1	
16	垣田 ○○	2020/10/15	対象者
17	}	}	}
215	和久 ○○	2020/10/12	対象者

=IF(((a))(\$C\$2)- (a) (B4)) (b) 12+ (c) (\$C\$2)- (c) (B4)+1>=50,"対象者", "")

ア. (a) MONTH

(b) *

(c) YEAR

イ. (a) YEAR

(b) /

(c) MONTH

ウ. (a) YEAR

(b) *

(c) MONTH


問3. 次の表は、ある懸賞の当選者を決定するための表である。B2は、乱数で求めた数値をもとに、応募者一覧表を参照し、「懸賞当選者」を表示する。B2に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、応募者は120名である。

=VLOOKUP((1,120),A6:B125,2,FALSE)

	A	B
1	懸賞当選者	
2	下川 ○○	
3		
4	応募者一覧表	
5	番号	応募者
6	1	矢野 ○○
7	2	半澤 ○○
8	3	有馬 ○○
9	4	鈴木 ○
10	5	永澤 ○○
11	6	下川 ○○
12	7	小村 ○
13	8	浅野 ○○
14	9	関 ○○○
15	10	柳井 ○○
16	}	}
125	120	田中 ○

問4. 次の表は、あるパーソナルコンピュータ製造メーカーの製品一覧表である。「製品コード」は右の表のように表示する。なお、数値は 13001 から連番で付けるものとする。C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC9までコピーする。

	A	B	C
1			
2	製品一覧表		
3	No.	製品名	製品コード
4	1	〇〇13インチモデルIP3	RPC-13001-IP3
5	2	〇〇13インチモデルIP5	
6	3	〇〇13インチモデルIP7	
7	4	〇〇13インチモデルIP9	
8	5	〇〇13インチモデルRI5	
9	6	〇〇13インチモデルRI7	



	A	B	C
1			
2	製品一覧表		
3	No.	製品名	製品コード
4	1	〇〇13インチモデルIP3	RPC-13001-IP3
5	2	〇〇13インチモデルIP5	RPC-13002-IP5
6	3	〇〇13インチモデルIP7	RPC-13003-IP7
7	4	〇〇13インチモデルIP9	RPC-13004-IP9
8	5	〇〇13インチモデルRI5	RPC-13005-RI5
9	6	〇〇13インチモデルRI7	RPC-13006-RI7

- ア. ="RPC-"&13000&ROW()-3&"-"&SUBSTITUTE(B4,"IP*","RI*",3)
 イ. ="RPC-"&13000+ROW()-3&"-"&RIGHT(B4,3)
 ウ. ="RPC-"&13000+COLUMN()-3&"-"&MID(B4,11,3)
 エ. ="RPC-"&13000&COLUMN()-3&"-"&SUBSTITUTE(B4,"IP*","RI*",3)

問5. 次の表は、ある寝具メーカーのベッド販売データ一覧表である。「販売数合計」は、2024/12/1から2024/12/31までに「販売店舗」が A店 で、かつ販売した「サイズ」が ダブル の合計を求めるため、次の式が設定されている。ワークシートの(a)と次の式の空欄(b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	ベッド販売データ一覧表						条件			
3	番号	販売店舗	日付	サイズ	販売数		(a)			
4	1	A店	2024/6/1	ダブル	3					
5	2	B店	2024/6/1	シングル	4					
6	3	C店	2024/6/1	セミダブル	2					
7	4	B店	2024/6/1	シングル	2					
8	5	D店	2024/6/1	クイーン	2					
9	6	A店	2024/6/1	シングル	2					
10	7	A店	2024/6/1	ダブル	5					
11										
1053	1050	A店	2024/12/31	ダブル	8		販売数合計 22			
1054	1051	B店	2024/12/31	シングル	5					
1055	1052	B店	2024/12/31	シングル	6					

=DSUM(A3:E1055,5,(b))

- ア. (a)

~	G	H	I	J
3	販売店舗	日付	日付	サイズ
4	A店	>=2024/12/1	<=2024/12/31	ダブル
5				

 (b) G3:J4

- イ. (a)

~	G	H	I	J
3	販売店舗	日付	日付	サイズ
4	A店	>=2024/12/1		ダブル
5			<=2024/12/31	ダブル

 (b) G3:J5

- ウ. (a)

~	G	H	I	J
3	販売店舗	日付	サイズ	サイズ
4	A店	>=2024/12/1	ダブル	
5		<=2024/12/31		ダブル

 (b) G3:J5

【7】 次の表は、ある高級中華料理店の2025年の食事会の料金計算表である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「料金計算表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1	料金計算表								
2									
3									
4	1. 利用情報								
5	入力欄								
6	催 事 名	鈴木〇〇会長就任パーティー				確認欄			
7	代 表 者 名	崎田 〇〇				OK			
8	利 用 日	2025/1/13				OK			
9	開 始 時 刻	12:00				OK			
10	終 了 時 刻	13:30				OK			
11					OK			祝日	
12	利 用 人 数	大人	20		OK			昼	
13		子ども	5		OK			利用時間	
14	コ ー ス コ ー ド	1		OK					
15	プ ラ ン コ ー ド	1		北京					
16					Sプラン				
17	オ プ シ ョ ン コ ー ド	1		料理2品追加					
18		4		ドリンクバー					
19		5		マイク・音響使用					
20		6		プロジェクト使用					
21									
22	2. 料金計算								
23	大 人 料 金	200,000							
24	子 ど も 料 金	40,000							
25	割 引 額	24,000							
26	オ プ シ ョ ン 料 金	69,500							
27	料 金 合 計	285,500							

シート名「祝日表」

A
1
2 祝日表
3 日付
4 2025/1/1
5 2025/1/13
6 2025/2/11
7 2025/2/23
8 2025/2/24
9 2025/3/20
10 2025/4/29
11 2025/5/3
12 2025/5/4
13 2025/5/5
14 2025/5/6
15 2025/7/21
16 2025/8/11
17 2025/9/15
18 2025/9/23
19 2025/10/13
20 2025/11/3
21 2025/11/23
22 2025/11/24

シート名「プラン表」

A	B	C	D	E	F	G	H	I
1								
2	北京	料理コース			上海	料理コース		
3	プランコード	プラン名	大人	子ども	プランコード	プラン名	大人	子ども
4	1	Sプラン	10,000	8,000	1	Sプラン	9,000	7,500
5	2	Aプラン	7,000	6,000	2	Aプラン	8,000	6,500
6	3	Bプラン	6,000	5,000	3	Bプラン	7,000	6,000
7	4	Cプラン	5,000	4,000	4	Cプラン	6,000	5,000
8	四川	料理コース			広東	料理コース		
9	プランコード	プラン名	大人	子ども	プランコード	プラン名	大人	子ども
10	1	Sプラン	9,500	8,000	1	Sプラン	8,000	6,500
11	2	Aプラン	8,000	6,500	2	Aプラン	7,000	6,000
12	3	Bプラン	7,500	6,000	3	Bプラン	5,000	4,000

シート名「オプション表」

A	B	C	D	E	F	G	H
1							
2	オプション表						
3	オプションコード	オプション	単位	料金	料理コース		
4					北京	上海	四川
5	1	料理2品追加	人	1,800	○	○	
6	2	料理グレードアップ	人	800			○
7	3	デザート1品追加	人	400	○		○
8	4	ドリンクバー	人	800	○	○	○
9	5	マイク・音響使用	時間	1,000	○	○	○
10	6	プロジェクト使用	時間	2,000	○	○	○

作成条件

1. シート名「料金計算表」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、料金合計を求めることができる。
なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が 空欄 または NG の場合、それ以降の項目は、表示しない。
3. 営業は、年中無休で、営業時間は 10:00 から 22:00 までとする。
4. 最低利用時間は1時間30分とし、それ未満の場合は利用できない。
5. シート名「祝日表」は、2025年の祝日である。
6. シート名「プラン表」の料金は、土曜日・日曜日・祝日の夜の料金である。
7. 「利用人数」は、「大人」と「子ども」を合わせて10～100名までとする。また、子どもだけでの利用はできない。
8. 「コースコード」は、1 の場合 北京、2 の場合 上海、3 の場合 四川、4 の場合 広東 の料理コースである。
9. シート名「プラン表」には、それぞれの料理コースのプランが用意されており、大人と子どもで料金が異なる。
10. シート名「オプション表」にある、同一の「オプション」を複数追加することはできない。また、それぞれの「オプションコード」の「料理コース」が空欄の場合、「オプション」を追加することはできず、○の場合、「オプション」を追加することができる。
11. 「割引額」は、「利用日」が平日（祝日ではない月曜日～金曜日）の場合10%、昼（「開始時刻」が 16:30 以前、または、「終了時刻」が 18:00 以前）の場合10%割引くものとし、累積した割引率を求め、次の計算式で求める。

割引率の例 平日 10% + 昼 10% → 割引率 20%
式 「(大人料金 + 子ども料金) × 割引率」
12. 「オプション料金」は、シート名「オプション表」の「単位」が 人 の場合、シート名「オプション表」の「料金」に「利用人数」の「大人」と「子ども」の合計を掛けて求め、シート名「オプション表」の「単位」が 時間 の場合、シート名「オプション表」の「料金」に「利用時間」を掛けて求める。

作成手順

1. シート名「料金計算表」は、次のように作成されている。
 - (1) C6は、「催事名」を入力する。
 - (2) C7は、「代表者名」を入力する。
 - (3) C8は、「利用日」を入力する。また、F8は、C8が 2025/1/1 から 2025/12/31 までの場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (4) G8は、C8がシート名「祝日表」にある場合、祝日 を表示する。また、C8が土曜日か日曜日の場合、週末 を表示し、それ以外の場合、平日 を表示する。
 - (5) C9は、「開始時刻」を、C10は、「終了時刻」を入力する。また、F10は、「開始時刻」が 10:00 以降、かつ、「終了時刻」が 22:00 以前で、「終了時刻」から「開始時刻」を引いた「利用時間」が、1:30 以上の場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (6) G10は、「開始時刻」が 16:30 以前、または、「終了時刻」が 18:00 以前の場合、昼 を表示し、それ以外の場合、夜 を表示する。また、G11は、「終了時刻」から「開始時刻」を引いた「利用時間」を表示する。
 - (7) D12は、「大人」の利用人数を、D13は、「子ども」の利用人数を入力する。また、F13は、作成条件7を満たしている場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (8) C14は、「コースコード」を入力する。また、F14は、作成条件8にしたがって表示する。
 - (9) C15は、「プランコード」を入力する。また、F15は、作成条件9にしたがってC15をもとに、シート名「プラン表」を参照し、「プラン名」を表示する。
 - (10) C17～C21は、「オプションコード」を入力する。また、F17は、C17をもとに、シート名「オプション表」を参照し、「オプション名」を表示する。F18～F21も同様に表示し、作成条件10を満たさない場合、NG を表示する。
 - (11) G17は、C17をもとに、シート名「オプション表」を参照し、「料金」を表示する。また、G18～G21も同様に表示する。
 - (12) C23の「大人料金」は、C14とC15をもとに、シート名「プラン表」を参照した値に、D12を掛けて求める。また、C24も同様に「子ども料金」を求める。
 - (13) C25は、C23とC24の合計に、作成条件11にしたがって求めた割引率を掛けて求める。
 - (14) C26は、作成条件12にしたがって、「オプション料金」を求める。
 - (15) C27は、C23とC24の合計からC25を引いた値にC26を足して求める。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしています。」

問1. シート名「料金計算表」のG8に設定する式の空欄をうめなさい。

=IF(F8<>"OK", "", IF(COUNTIFS(祝日表!A4:A22, C8)=, "祝日", IF(WEEKDAY(C8, 2)>=6, "週末", "平日")))

(注) WEEKDAY関数の第2引数が2の場合、戻り値として、1(月曜日)～7(日曜日)を返す。

問2. シート名「料金計算表」のF15に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(F14="", F14="NG", C15=""), "", IFERROR(INDEX(プラン表!B4:B7, プラン表!G4:G7, プラン表!B10:B12, プラン表!G10:G12), (a), 1, (b)), "NG"))

ア. (a) C15 (b) C14

イ. (a) C14 (b) C15

ウ. (a) 1 (b) 1

問3. シート名「料金計算表」のF17には次の式が設定されている。その式と同等の結果を表示する式の空欄をうめなさい。

=IF(OR(\$F\$15="", \$F\$15="NG", C17=""), "", IF(COUNTIFS(\$C\$17:C17, C17)>=2, "NG", IFERROR(IF(INDEX(オプション表!\$E\$5:\$H\$10, C17, \$C\$14)="○", VLOOKUP(C17, オプション表!\$A\$5:\$B\$10, 2, FALSE), "NG"), "NG")))

同等の結果を表示する式。

=IF(OR(\$F\$15="", \$F\$15="NG", C17=""), "", IF(COUNTIFS(\$C\$17:C17, C17)>=2, "NG", IFERROR(IF((オプション表!\$E\$5, C17-1, \$C\$14-1)="○", VLOOKUP(C17, オプション表!\$A\$5:\$B\$10, 2, FALSE), "NG"), "NG")))

問4. シート名「料金計算表」のC26に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、空欄には同じものが入る。

=IF(C23="", "", SUMIFS(G17:G21, , "<5")*SUM(D12:D13)+SUMIFS(G17:G21, , ">=5")*G11*24)

ア. C15

イ. F17:F21

ウ. C17:C21

問5. シート名「料金計算表」が次のように表示されているとき、C27に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								

料金計算表

1. 利用情報

入力欄		確認欄	
催事名	〇〇市経済同友会 新年会	OK	
代表者名	佐藤 〇〇	OK	
利用日	2025/1/15	OK	平日
開始時刻	17:00		
終了時刻	19:30	OK	※
			利用時間 ※
利用人数	大人 30 子ども 10	※	
コースコード	4	※	料理コース
プランコード	2	※	
オプションコード	2	※	※ 円
	3	※	※ 円
	4	※	※ 円
	5	※	※ 円
	6	※	※ 円

2. 料金計算

大人料金	※
子ども料金	※
割引額	※
オプション料金	※
料金合計	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験ビジネス情報 第1級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

【7】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験ビジネス情報 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	コ	イ	エ	シ	オ

【2】	1	2	3	4	5
	ウ	ク	ア	キ	ケ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ウ	イ	ア	0.976

各2点
15問小
計

30

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ア	エ	ア	ウ	イ

【5】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	ア	LIKE	GROUP BY	イ

各3点
10問小
計

30

【6】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	ウ	RANDBETWEEN	イ	ア

【7】	問1	問2	問3	問4	問5
	1	ア	OFFSET	ウ	330,500

※ 記述問題の大文字, 小文字, コンマの有無は問わない。

各4点
10問小
計

40

得点合計

100

2025年1月19日実施

令和6年度（第72回）
情報処理検定試験
〈プログラミング〉
第1級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は10ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. ある8ビットの2進数 x を右に2ビット算術シフトした値が 11110010 である場合、2進数 x を10進数で表したもの。なお、シフトにより、はみ出した値は 00 とし、負の数は2の補数表現によるものとする。

ア. -52

イ. -56

ウ. -72

2. RASISの示す指標の一つで、故障や障害などによるシステムの停止がなく、安定した稼働が継続できること。MTBFの値が大きいほど評価が高い。

ア. 信頼性

イ. 完全性

ウ. 安全性

3. プロトコルが異なるネットワーク同士を接続する際、プロトコルやデータ形式などを相互に変換して、通信を行う中継機器。

ア. ハブ

イ. ルータ

ウ. ゲートウェイ

4. インターネットにおける通信の暗号化方式として広く用いられ、通信相手の認証やデータの改ざん検知などを行うプロトコル。

ア. TCP/IP

イ. TLS

ウ. HTTP

5. 多くのディスプレイは、赤、緑、青のそれぞれを256段階で扱い、この3色を組み合わせることさまざまな色を表現する。一方、赤、緑、青のそれぞれを64段階で表現するディスプレイもある。前者が表現できる色の種類数は、後者が表現できる色の種類数の何倍か。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(2)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

引数で渡された配列に記憶されている文字列を探索してメッセージをディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Seiza にはデータが昇順に記憶されている。なお、データ件数は n に記憶されており、同じ文字列はないものとする。

配列

Seiza	(0)	(1)	～	($n - 1$)	(n)
		Andromeda	～	Volans	Vulpecula

2. キーボードから入力した文字列をもとに配列 Seiza を探索し、見つかった場合は 該当データあり を、見つからなかった場合は 該当データなし を表示する。

<プログラム>

```

Sub Program1(Seiza() As String, n As Long)
    Dim Moji As String
    Dim Ka As Long
    Dim Jo As Long
    Dim m As Long
    Moji = InputBox("文字列を入力してください")
    Ka = 1
    (1)
    m = Int((Ka + Jo) / 2)
    Do While Ka <= Jo And Seiza(m) <> Moji
        If Seiza(m) > Moji Then
            (2)
        Else
            (2)
        End If
        m = Int((Ka + Jo) / 2)
    Loop
    If Ka <= Jo Then
        MsgBox ("該当データあり")
    Else
        MsgBox ("該当データなし")
    End If
End Sub

```

解答群

- ア. $Jo = n$
 イ. $Jo = m - 1$
 ウ. $Jo = n - 1$
 エ. $Ka = m + 1$

問2. プログラムの説明を読んで、プログラムの(3)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

引数で渡された配列に記憶されている数値を並べ替えてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Ban にはデータが記憶されている。なお、データ件数は n に記憶されている。

配列

Ban	(0)	(1)	～	(n - 2)	(n - 1)
	45981	89891	～	57796	28298

2. 配列 Ban の数値を昇順に並べ替える。
3. 並べ替えが終わったら、配列 Ban の内容を表示する。

<プログラム>

```
Sub Program2(Ban() As Long, n As Long)
```

```
    Dim k As Long
```

```
    Dim Min As Long
```

```
    Dim r As Long
```

```
    Dim Temp As Long
```

```
    Dim s As Long
```

```
    For (3)
```

```
        Min = k
```

```
        For r = k + 1 To n - 1
```

```
            If Ban(r) < Ban(Min) Then
```

```
                (4)
```

```
            End If
```

```
        Next r
```

```
        If (5) Then
```

```
            Temp = Ban(k)
```

```
            Ban(k) = Ban(Min)
```

```
            Ban(Min) = Temp
```

```
        End If
```

```
    Next k
```

```
    For s = 0 To n - 1
```

```
        MsgBox (Ban(s))
```

```
    Next s
```

```
End Sub
```

解答群

ア. k <> Min

イ. Min = Ban(r)

ウ. Min = r

エ. k = 1 To n - 2

オ. k = Min

カ. k = 0 To n - 2

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

好きな歴史上の人物の回答結果を読み、結果一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

年齢 (Nen)	回答番号 (Kai)
×××	×××

(第1図)

実行結果

(結果一覧表)		
(年代)	(人物名)	(得票数)
10代		
	マザー・テレサ	22
	ベートーヴェン	20
	}	}
	}	}
全年代		
	レオナルド・ダ・ヴィンチ	73
	トーマス・エジソン	71
	}	}

(第2図)

処理条件

- 第1図の年齢は 10 以上、回答番号は 1～200 である。
- 次の各配列にデータを記憶する。
 - 配列 Jmei に人物名を昇順に記憶する。なお、Jmei の添字は回答番号と対応している。

配列

Jmei	(0)	(1)	～	(200)
		アイザック・ニュートン	～	レオナルド・ダ・ヴィンチ

- 配列 Ndai に年代を記憶する。なお、Ndai(8) には 全年代 を記憶する。

配列

Ndai
(0)
(1) 10代
}
(7) 70代以上
(8) 全年代

- 第1図のデータを読み、次の処理を行う。
 - 年齢から配列 Thyo の行方向の添字を求める。なお、年齢が 70 以上の場合は、7 とする。
 - 配列 Thyo に得票数を集計する。なお、Thyo の8行目には全年代の得票数を集計する。また、列方向の添字は回答番号と対応している。

配列

Thyo	(0)	(1)	～	(200)
(0)			～	
(1)			～	
}	}	}	}	}
(7)			～	
(8)			～	

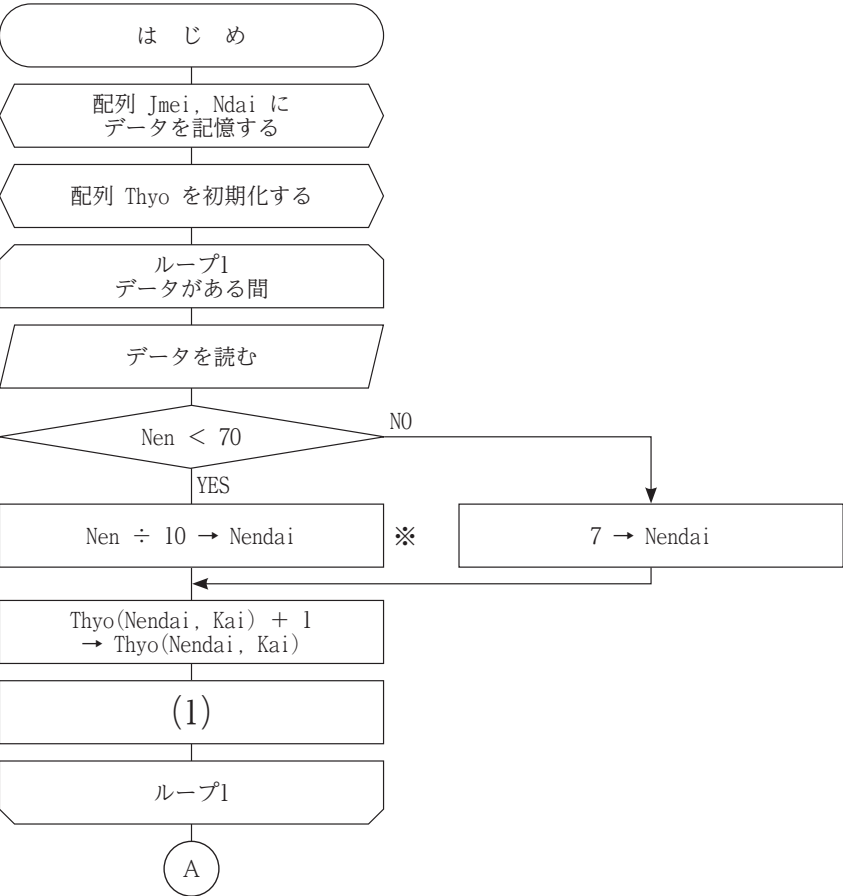
- 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 配列 Temp に人物名を昇順に記憶する。
- 配列
- | Temp | (0) | (1) | ～ | (200) |
|------|-----|-----|---|-------|
| | | | ～ | |
- 配列 Thyo と配列 Temp を利用して、年代ごとの得票数の降順に並べ替える。なお、得票数が同じ場合は、人物名の降順とする。
 - 年代を第2図のように表示する。
 - 人物名と得票数を表示する。なお、得票数が 0 の場合は表示しない。

- データにエラーはないものとする。

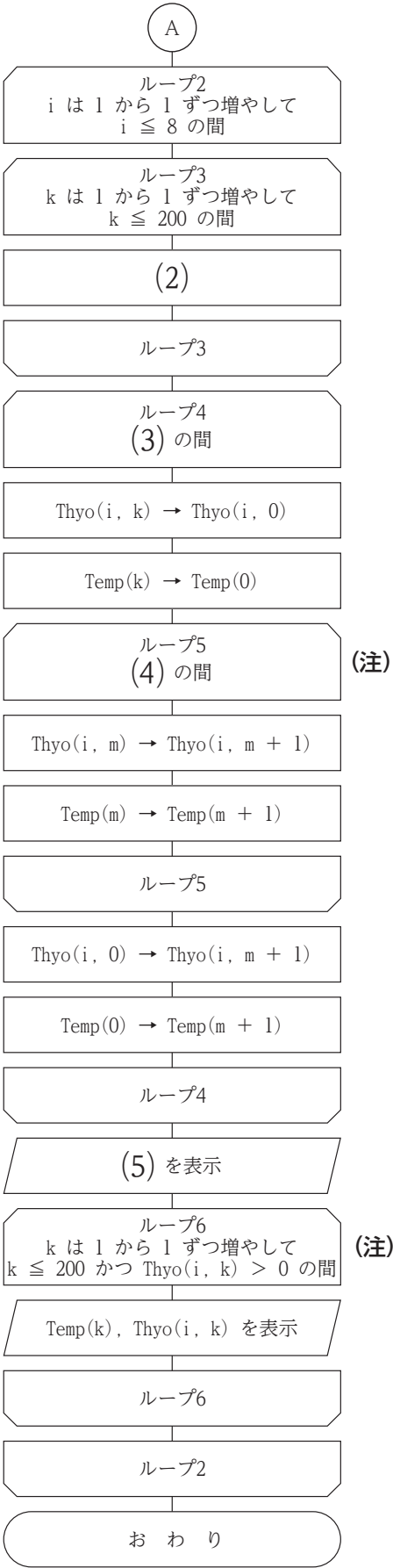
解答群

- ア. m は $k - 1$ から 1 ずつ減らして $m \geq 1$ かつ $\text{Thyo}(i, m) \geq \text{Thyo}(i, 0)$
- イ. $\text{Jmei}(k) \rightarrow \text{Temp}(k)$
- ウ. $\text{Thyo}(\text{Ndai}, 0) + 1 \rightarrow \text{Thyo}(\text{Ndai}, 0)$
- エ. $\text{Ndai}(m)$
- オ. m は $k - 1$ から 1 ずつ減らして $m \geq 1$ かつ $\text{Thyo}(i, m) \leq \text{Thyo}(i, 0)$
- カ. k は 200 から 1 ずつ減らして $k \geq 1$
- キ. $\text{Thyo}(8, \text{Kai}) + 1 \rightarrow \text{Thyo}(8, \text{Kai})$
- ク. $k \rightarrow \text{Temp}(k)$
- ケ. k は 2 から 1 ずつ増やして $k \leq 200$
- コ. $\text{Ndai}(i)$

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て
(注) 条件式が「かつ」で複合されている場合、先に記述された条件式が偽になった時点で、判定を終了する。



【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるタピオカ店の1週間分の売上データを読み、集計結果をディスプレイに表示する。

入力データ

売上コード (Ucd)	ドリンクコード (Dcd)	トッピング数 (Tp)	割引区分 (Wku)
×～×	×××	×	×

(第1図)

実行結果

(ドリンク別売上一覧表)		
(ドリンク名)(割引前売上金額計(内:トッピング金額計))		
黒糖	63,910円	(内:13,510円)
ブラック	34,620円	(内:7,420円)
ジャスミン	34,620円	(内:6,930円)
}	}	}
バナナ	2,580円	(内:630円)
(種類別売上一覧表)		
(種類名)(割引前売上金額計)(割引金額計)		
ティー	133,930円	7,400円
}	}	}
期間限定	45,010円	1,950円
(合計)	473,550円	23,300円
(割引後売上高)450,250円		

(第2図)

処理条件

1. 第1図のドリンクコードは次のように構成されており、種類番号は 1 (ティー) ～6 (期間限定)、連番は種類番号ごとの 1 からの連番である。なお、トッピング数は 0～3 であり、割引区分は 0～2 である。

例 102 → 1 02
 ドリンクコード 種類番号 連番

2. 次の各配列にデータを記憶する。

- 配列 Smei に種類名を記憶する。なお、Smei の添字は種類番号と対応している。

配列

Smei	(0)	(1)	～	(6)
		ティー	～	期間限定

- 配列 Dcod にドリンクコードを、配列 Dmei にドリンク名を、配列 Dtan に単価をドリンクコードの昇順に記憶する。なお、ドリンク数は25種類であり、Dcod, Dmei, Dtan の添字は対応している。

配列

Dcod	(0)	(1)	(2)	～	(25)
		101	102	～	603
Dmei	(0)	(1)	(2)	～	(25)
		ウーロン	ジャスミン	～	生チョコ
Dtan	(0)	(1)	(2)	～	(25)
		350	390	～	490

3. 第1図のデータを読み、次の処理を行う。

- ドリンクコードをもとに配列 Dcod を探索し、トッピング金額と割引前売上金額を次の計算式で求め、配列 Ukei の0行目には割引前売上金額を、1行目にはトッピング金額を集計する。なお、Ukei の列方向の添字は Dcod の添字と対応している。また、トッピングは一つにつき70円とする。

$$\begin{aligned}\text{トッピング金額} &= \text{トッピング数} \times 70 \\ \text{割引前売上金額} &= \text{単価} + \text{トッピング金額}\end{aligned}$$

配列

Ukei	(0)	(1)	(2)	～	(25)	
(0)				～		(割引前売上金額計)
(1)				～		(トッピング金額計)

- 種類番号ごとに配列 Skei の0行目には割引前売上金額を、1行目には割引金額を集計する。なお、Skei の0列目には合計を求める。また、Skei の列方向の添字は種類番号と対応している。ただし、割引金額は割引区分が 0 の場合、割引なし、1 の場合、50円、2 の場合、200円とする。

配列

Skei	(0)	(1)	～	(6)	
(0)			～		(割引前売上金額計)
(1)			～		(割引金額計)
(合計)					

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

- 配列 Work を利用して、ドリンクごとに割引前売上金額計の降順に並べ替える。なお、割引前売上金額計が同じ場合、トッピング金額計の降順に並べ替え、トッピング金額計も同じ場合は、ドリンクコードの昇順とする。

配列

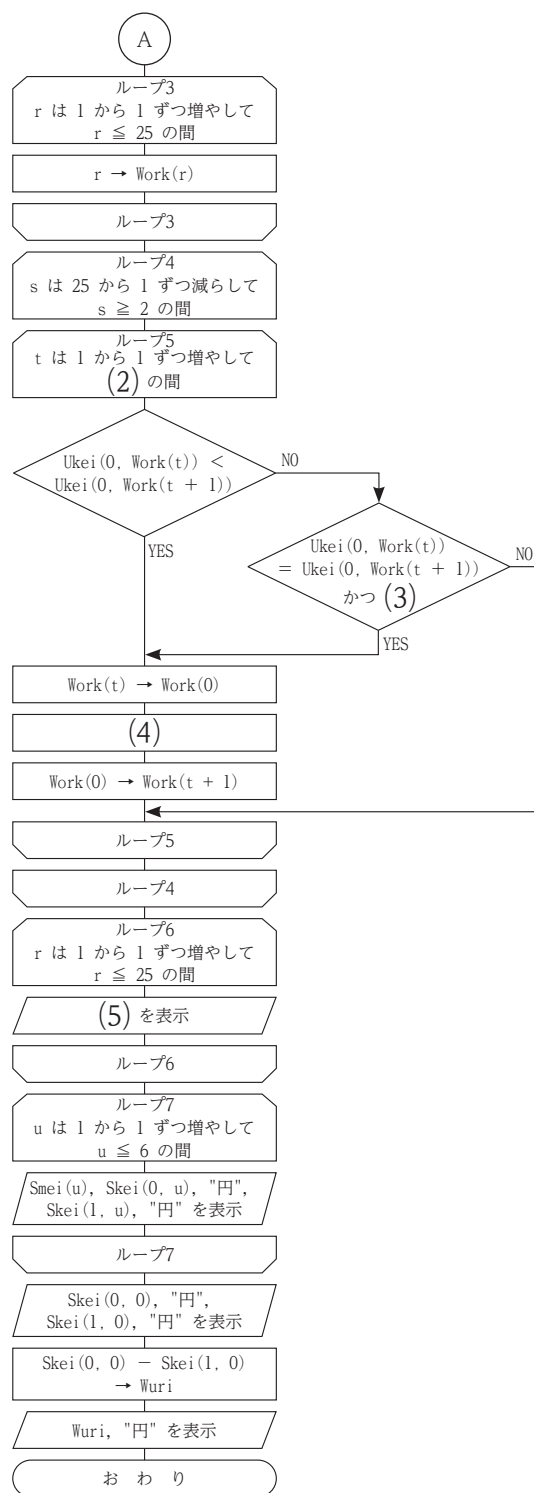
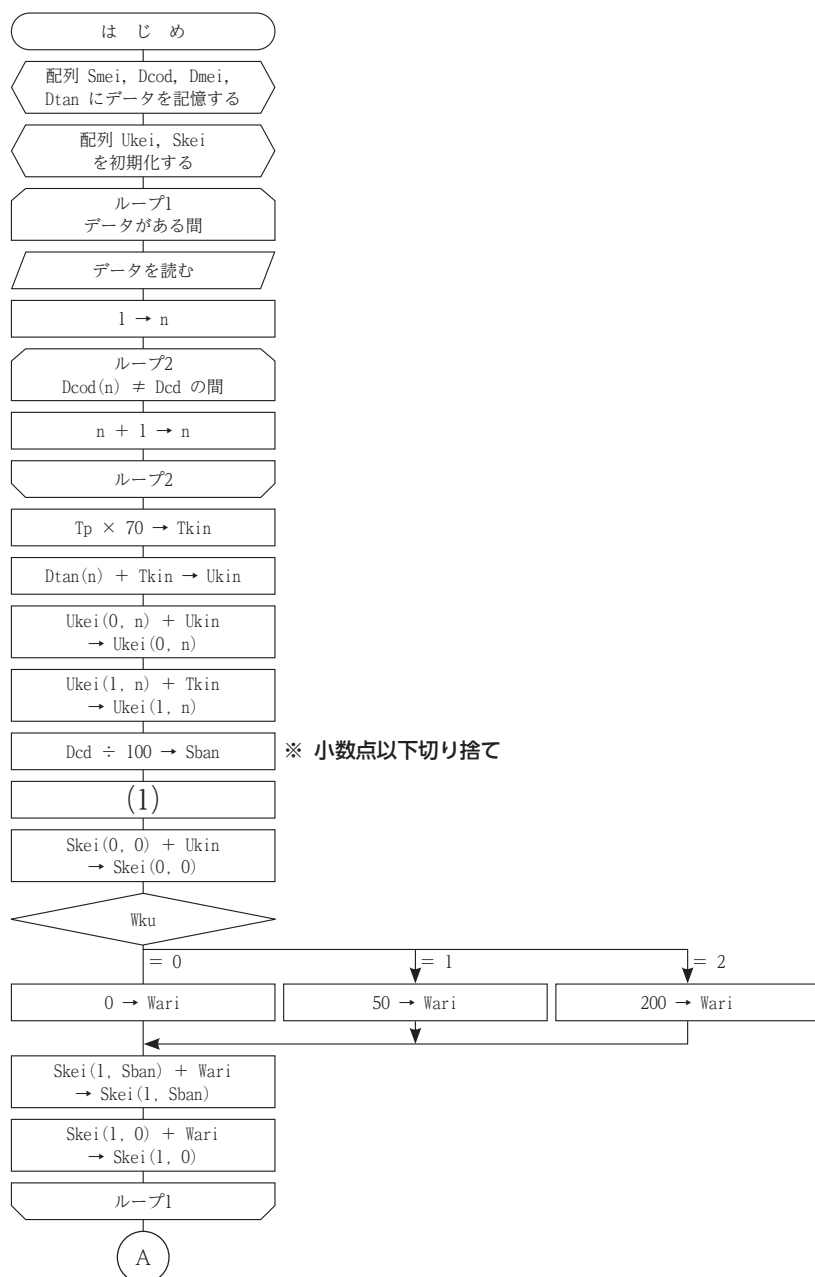
Work	(0)	(1)	(2)	～	(25)
				～	

- ドリンク名と割引前売上金額計 (内:トッピング金額計) を第2図のように表示する。
- 種類名から割引金額計までを表示する。
- 合計を表示する。
- 割引後売上高を次の式で求め、表示する。

$$\text{割引後売上高} = \text{割引前売上金額計の合計} - \text{割引金額計の合計}$$

5. データにエラーはないものとする。

<流れ図>



解答群

- ア. $Ukei(1, Work(t)) < Ukei(1, Work(t + 1))$
 イ. $Dmei(Work(r)), Ukei(0, Work(r)), "円(内:", Ukei(1, Work(r)), "円)"$
 ウ. $Work(0) \rightarrow Work(t)$
 エ. $Skei(0, Sban) + Ukin \rightarrow Skei(0, Sban)$
 オ. $Dmei(Work(r)), Ukei(Work(r), 0), "円(内:", Ukei(Work(r), 0), "円)"$
 カ. $Work(t + 1) \rightarrow Work(t)$
 キ. $Ukei(1, Work(s)) < Ukei(1, Work(s + 1))$
 ク. $t \leq s - 1$
 ケ. $Skei(0, Sban) + Tkin \rightarrow Skei(0, Sban)$
 コ. $t \leq s$

【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるベーカリー店の1週間分の売上データを読み、売上集計結果をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hiduke)	パンコード (Pcode)	個数 (Ksu)
××××	×××	×××

(第1図)

実行結果

(売上集計結果)									
1月10日									
(区分名)	(個数合計)	(上位5位の順位:パン名 個数計)							
ブレッド系	261個	1位:シナモン	39個	～	5位:クルミ	22個	5位:レーズン	22個	
ハード系	285個	1位:バゲット	32個	～	5位:パンオフィグ	26個			
}	}	}	}		}	}			
1月11日									
ブレッド系	267個	1位:甘栗ロール	36個	～	4位:食パン	26個	4位:大納言ロール	26個	～
}	}	}	}		}	}	}	}	
(1週間の分析したい区分番号を入力)3									
(区分名)	(個数合計)	(順位:パン名 個数計)							
菓子パン系	2,261個	1位:クリームチーズパイ	241個	2位:ピーナッツコッペ	194個	～			
(1週間の分析したい区分番号を入力)0									

(第2図)

処理条件

1. 第1図は日付、パンコードの昇順に記録されている。なお、日付とパンコードは次の例のように構成されており、区分番号は1(ブレッド系)～5(ラスク系)、区分内番号は1からの連番で20種類以内である。また、すべての商品について1件以上の売上データがある。

例 0110 → 1 10 213 → 2 13
日付 月 日 パンコード 区分番号 区分内番号

2. 配列 Pmei にパン名を記憶する。なお、Pmei の0列目には区分名を記憶する。また、Pmei の行方向の添字は区分番号と、列方向の添字は区分内番号と対応している。

配列

Pmei	(0)	(1)	(2)	～	(20)
(0)				～	
(1)	ブレッド系	食パン	ホテルブレッド	～	
(2)	ハード系	バゲット	メープルバゲット	～	
}	}	}	}	}	}
(5)	ラスク系	シュガーラスク	ガーリックラスク	～	

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

- 日付が変わるごとに、日付を第2図のように表示する。
- 配列 Kkei の0行目には日付ごとに各区分内番号の個数を集計する。なお、Kkei の列方向の添字は区分内番号と対応している。
- 配列 Kkei に、区分番号と区分内番号ごとの個数を集計する。なお、0列目には区分番号ごとの合計を求める。また、Kkei の行方向の添字は区分番号と対応している。

配列

Kkei	(0)	(1)	(2)	～	(20)
(0)				～	
(1)				～	
(2)				～	
}	}	}	}	}	}
(5)				～	

(合計)

- 配列 Jun を利用し、日付ごとの個数計の降順に順位をつける。なお、同じ個数計の場合は、同順位とする。

配列

Jun	(0)	(1)	(2)	～	(20)
				～	

- 区分番号が変わるごとに、区分名から上位5位の個数計までを第2図のように表示する。

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

- 1週間の分析したい区分番号を入力する。なお、0が入力された場合は、処理を終了する。
- 配列 Jun を利用し、入力された区分番号の個数計の降順に順位をつける。なお、同じ個数計の場合は、同順位とする。
- 区分名から個数計までを表示する。

5. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Jun(j) = k

ウ. Hi → Hhoz

オ. Hiduke → Hhoz

キ. Pmei(g, 0)

ケ. 0 → Kkei(0, m)

サ. Kkei(0, g)

ス. j = k

ソ. Pmei(Bban, 0)
- イ. Kkei(g, 0)

エ. Kkei(0, h)

カ. 0 → Kkei(Khoz, 0)

ク. Kkei(Bban, 0)

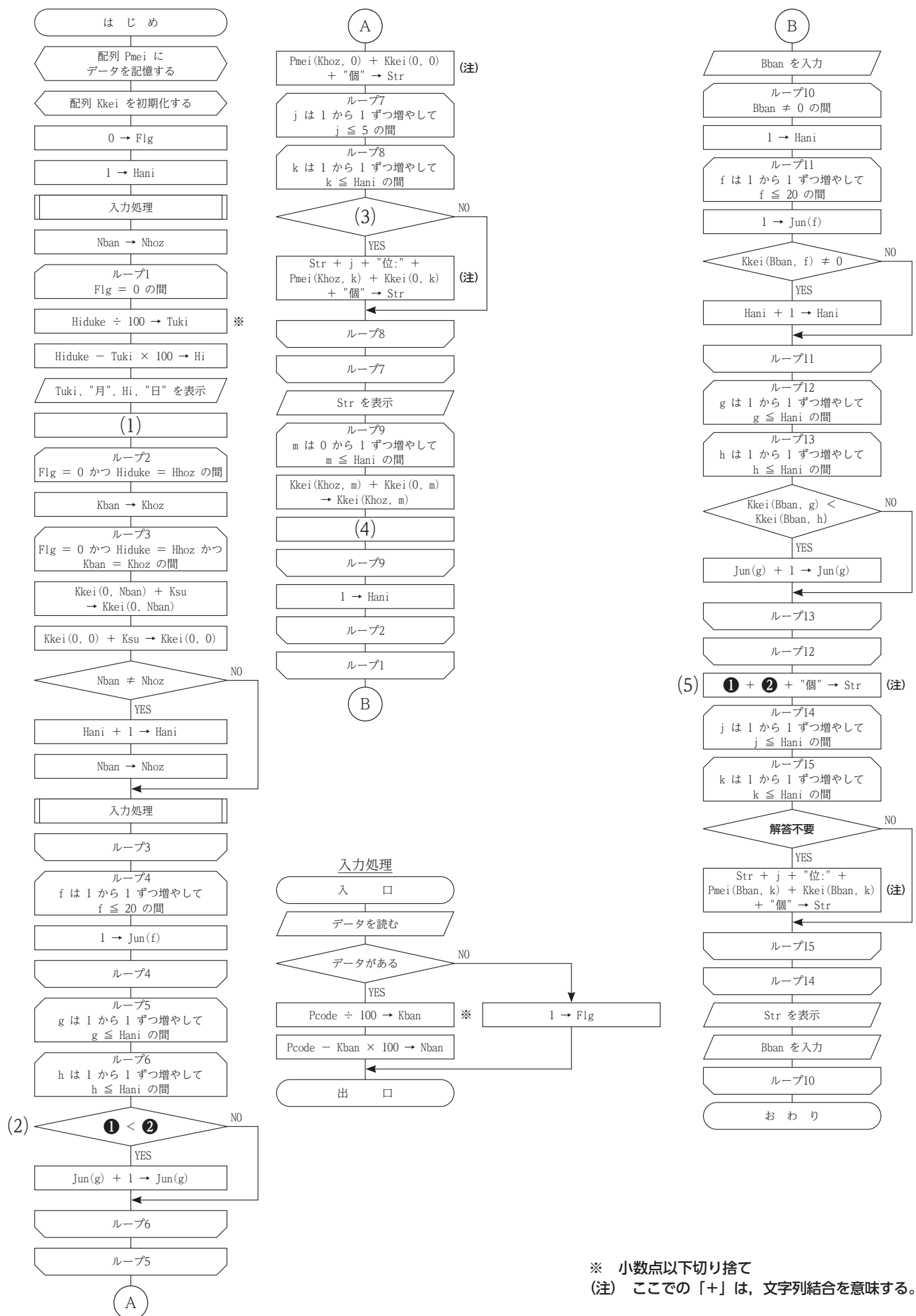
コ. Kkei(0, Bban)

シ. Kkei(h, 0)

セ. Jun(k) = j

タ. Pmei(0, Bban)

<流れ図>



(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験プログラミング 第1級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					倍

小計	
----	--

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】	(1)	(2)		(3)	(4)	(5)	
		①	②			①	②

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度（第72回）情報処理検定試験プログラミング 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ク	シ	エ	コ	ウ

【2】	1	2	3	4	5
	ウ	コ	キ	ア	オ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ア	ウ	イ	64 倍

各2点
15問

小計

30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	ア	エ	カ	ウ	ア

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	キ	イ	ケ	オ	コ

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	エ	ク	ア	カ	イ

各3点
15問

小計

45

【7】	(1)	(2)		(3)	(4)	(5)	
		①	②			①	②
	オ	サ	エ	セ	ケ	ソ	ク

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各5点
5問

小計

25

得点合計

100

2025年1月19日実施

令和6年度（第72回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報〉
第2級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は8ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 停電や電源トラブルが発生した際、電力を一定の時間、供給する装置。
2. 日本産業規格が定めている、漢字やひらがななどを表現するための文字コード。
3. ファイルを階層型で管理するシステムにおいて、あるディレクトリの下位に位置するディレクトリ。
4. 個人情報を取り扱う事業者などが守るべき義務を定めた法律。個人情報を適切に管理し、個人の権利や利益を保護することを目的とする。
5. 利用するコンピュータの機種や環境に依存せず、作成したとおりに文書の表示、印刷が可能なファイル形式。

解答群

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| ア. サブディレクトリ | イ. PDF | ウ. ASCIIコード |
| エ. バックアップ | オ. 著作権法 | カ. UPS |
| キ. ZIP | ク. 個人情報保護法 | ケ. ルートディレクトリ |
| コ. JISコード | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 磁気ヘッド 2. シングルサインオン 3. MIDI
 4. テザリング 5. アーカイバ

<B群>

- ア. 磁気ディスク装置において、データの読み書きを行う最小記憶単位。
- イ. スマートフォンなどのデータ通信を介して、コンピュータやゲーム機などの通信機器をインターネットに接続する方法。
- ウ. 認証時に、一度のみ使用できる使い捨てパスワード。第三者になりすましをされるリスクを低減できる。
- エ. 磁気ディスク装置において、ディスクのデータを直接読み書きする部分。
- オ. 電子楽器の演奏や、コンピュータで作成した音程や音の長さなどの情報を、デジタルデータで記録したファイル形式。
- カ. 無線LANを利用する際、アクセスポイントを特定するために設定する識別子。
- キ. 複数のファイルを一つにまとめたり、元のファイルに戻したりするためのソフトウェア。
- ク. データの内容を一定の計算や手順によって加工し、記憶容量を小さくすること。
- ケ. 一度のユーザ認証で、複数の情報システムを利用できるしくみ。利便性が高いが、不正アクセスによる被害を受けた場合は、被害範囲が広がりやすい。
- コ. 動画や音声データを圧縮して保存したファイル形式。品質やデータ量の違いにより、いくつかの規格がある。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の 1011110 と2進数の 100011 との差を表す10進数。

ア. 24

イ. 59

ウ. 129

2. プリンタなどで利用される色の表現方法。色の三原色だけでは完全な黒色が表現できないため、黒色を適切に補うことで、さまざまな色を表現する。

ア. CMYK

イ. CSV

ウ. RGB

3. アメリカに本部を置く、電気や電子工学分野の学会および専門家組織。これらの分野における、技術の標準規格を定めている。

ア. OSS

イ. IEEE

ウ. ISO

4. サービスを提供するコンピュータと、サービスを要求するコンピュータが役割を分けて運用するしくみ。

ア. クライアントサーバシステム

イ. サイトライセンス

ウ. ピアツーピア

5. 次の午前講習希望者表と、午後講習希望者表の和集合をとった場合、結果表として適切なもの。

午前講習希望者表

生徒番号	名前
1101	飯島 ○○
1104	栗原 ○○
1105	後藤 ○○
1112	高橋 ○○
1116	富岡 ○○
1118	早田 ○○
1122	森永 ○○

午後講習希望者表

生徒番号	名前
1103	春日 ○○
1104	栗原 ○○
1112	高橋 ○○
1116	富岡 ○○
1118	早田 ○○
1119	古川 ○○
1122	森永 ○○
1124	吉田 ○○

ア. 結果表

生徒番号	名前
1101	飯島 ○○
1105	後藤 ○○

イ. 結果表

生徒番号	名前
1104	栗原 ○○
1112	高橋 ○○
1116	富岡 ○○
1118	早田 ○○
1122	森永 ○○

ウ. 結果表

生徒番号	名前
1101	飯島 ○○
1103	春日 ○○
1104	栗原 ○○
1105	後藤 ○○
1112	高橋 ○○
1116	富岡 ○○
1118	早田 ○○
1119	古川 ○○
1122	森永 ○○
1124	吉田 ○○

- 【4】 あるヘアサロンでは、受付業務を次のようなリレーショナル型データベースで管理している。次の各問いに答えなさい。なお、学生料金は料金の0.9倍であり、カットとスピードカットのみに適用される。

施術表

施術コード	施術名	料金	施術時間
S01	カット	4000	60
S02	スピードカット	3500	30
S03	カラー	5000	90
S04	パーマ	7000	150
S05	縮毛矯正	7000	150
S06	ヘッドスパ	1500	30
S07	顔そり	1000	20

受付表

来店日	会員コード	施術コード	店員コード
2025/01/13	K0001	S02	T003
2025/01/13	K0001	S07	T005
2025/01/13	K0007	S05	T004
2025/01/15	K0002	S01	T001
2025/01/15	K0002	S03	T001
2025/01/15	K0008	S01	T002
2025/01/16	K0003	S02	T005
2025/01/16	K0009	S04	T001
2025/01/17	K0005	S03	T001
2025/01/17	K0005	S04	T001
2025/01/17	K0011	S02	T003
2025/01/18	K0006	S01	T002
2025/01/18	K0006	S04	T002
2025/01/18	K0006	S06	T002
2025/01/18	K0010	S01	T001
2025/01/18	K0010	S03	T004
2025/01/19	K0001	S06	T002
2025/01/19	K0009	S06	T005
2025/01/19	K0004	S02	T003
2025/01/19	K0004	S04	T003
2025/01/19	K0004	S07	T003

店員表

店員コード	店員名	勤続年数	性別
T001	福島 ○○	9	女
T002	小野 ○	5	男
T003	石田 ○○	4	男
T004	金田 ○○	3	女
T005	星野 ○	2	女

会員表

会員コード	会員名	住所	生年月日	電話番号	性別	区分
K0001	金井 ○	前橋市○○町1-9	1991/08/21	XXX-XXX-5780	男	1
K0002	中井 ○○	前橋市○○町2-15-3	1998/05/12	XXX-XXXX-9164	女	1
K0003	川野 ○○	伊勢崎市○○町3410	2006/08/01	XXX-XXXX-3882	男	2
K0004	北山 ○	高崎市○○町123	2003/04/10	XXX-XXXX-4179	男	1
K0005	佐々木 ○○	伊勢崎市○○町1157	1988/12/15	XXX-XXXX-3714	女	1
K0006	平野 ○	高崎市○○町1744	1979/04/23	XXX-XXX-2106	女	1
K0007	阿部 ○○	高崎市○○町972	2007/09/29	XXX-XXXX-1003	女	2
K0008	今井 ○	前橋市○○町2065	2010/03/07	XXX-XXXX-6591	女	2
K0009	高木 ○	前橋市○○町433-9	2000/02/05	XXX-XXXX-7335	女	1
K0010	林 ○○	伊勢崎市○○町48	1996/12/28	XXXX-XX-0727	女	1
K0011	久保 ○○	高崎市○○町25-2	1990/01/19	XXX-XXX-8458	男	1

(注) 「区分」は、1 が一般、2 が学生である。

問1. 次の表は、会員表をもとにして作成したものである。このようなリレーショナル型データベースの操作として適切なものを選び、記号で答えなさい。

会員コード	会員名	住所	生年月日	電話番号	性別	区分
K0001	金井 ○	前橋市○○町1-9	1991/08/21	XXX-XXX-5780	男	1
K0003	川野 ○○	伊勢崎市○○町3410	2006/08/01	XXX-XXXX-3882	男	2
K0004	北山 ○	高崎市○○町123	2003/04/10	XXX-XXXX-4179	男	1
K0011	久保 ○○	高崎市○○町25-2	1990/01/19	XXX-XXX-8458	男	1

ア. 結合

イ. 射影

ウ. 選択

問2. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT  施術名
FROM    施術表
WHERE   施術時間 >= 90
```

ア.

施術名
パーマ
縮毛矯正

イ.

施術名
カラー
パーマ
縮毛矯正

ウ.

施術名
カット
スピードカット
ヘッドスパ
顔そり

問3. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT  施術名, 店員名
FROM    施術表, 店員表, 受付表
WHERE   施術表.施術コード = 受付表.施術コード
        AND 店員表.店員コード = 受付表.店員コード
        AND 来店日 = '2025/01/19'
```

ア.

施術名	店員名
ヘッドスパ	小野 ○
ヘッドスパ	星野 ○
スピードカット	石田 ○○
パーマ	石田 ○○
顔そり	石田 ○○

イ.

施術名	店員名
カット	小野 ○
パーマ	小野 ○
ヘッドスパ	小野 ○
カット	福島 ○○
カラー	金田 ○○

ウ.

施術名	店員名
カット	福島 ○○
カラー	福島 ○○
カット	小野 ○
スピードカット	星野 ○
パーマ	福島 ○○

問4. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT  会員名, 料金 * 0.9 AS 学生料金
FROM    施術表, 会員表, 受付表
WHERE   施術表.施術コード = 受付表.施術コード
        AND 会員表.会員コード = 受付表.会員コード
        AND 区分 = 2
        AND (受付表.施術コード = 'S01' OR 受付表.施術コード = 'S02')
```

ア.

会員名	学生料金
今井 ○	3600

イ.

会員名	学生料金
金井 ○	3150
中井 ○○	3600
久保 ○○	3150
平野 ○	3600
林 ○○	3600
北山 ○	3150

ウ.

会員名	学生料金
今井 ○	3600
川野 ○○	3150

問5. 次のSQL文を実行したとき、表示される適切な数値を答えなさい。

```
SELECT  AVG(勤続年数) AS 実行結果
FROM    店員表
WHERE   勤続年数 < 5
```

実行結果
※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【5】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 次の表は、ある水族館のペンギン給餌量記録表である。「平均給餌量」は、F2の「名前」をもとに、ペンギン給餌量記録表の「魚（匹）」の平均を求め、小数第1位まで表示する。F4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	ペンギン給餌量記録表			名前		みつ
3	年月日	名前	魚(匹)		平均給餌量	
4	2024/12/22	そら	5			3.7
5	2024/12/22	うた	5			
6	2024/12/22	ぱく	2			
7	}	}	}			
36	2024/12/28	ぱく	2			
37	2024/12/28	てん	3			
38	2024/12/28	みつ	3			

- ア. =AVERAGEIFS(C4:C38,B4:B38,F2)
イ. =SUMIFS(C4:C38,B4:B38,F2)
ウ. =SUM(C4:C38)/COUNTIFS(B4:B38,F2)

問 2. 次の表は、ある眼鏡専門店の特注眼鏡受取日計算表である。この眼鏡専門店では、午前中に注文すると7日後、正午を過ぎると8日後に受け取ることができる。E4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E
1					
2	特注眼鏡受取日計算表				
3	注文日		最短受取日		
4		2025/1/8			2025/1/16
5	注文時間				
6		13:14			

- ア. =IF(B6<=12,7,8)+B4
イ. =IF(B6<=TIME(12,0,0),7,8)+B4
ウ. =IF(B6<=DATE(12,0,0),7,8)+B4

問 3. 次の表は、あるこいぬ競走のタイム表である。順位表の「名前」は、タイム表の「タイム」が速いこいぬの1～3位の「名前」を表示する。F4に設定する次の式の空欄(a)，(b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をF6までコピーする。なお、「タイム」には同タイムはないものとする。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	タイム表			順位表		
3	競技番号	名前	タイム	順位	名前	
4	1	ムギ	7.20	1	モカ	
5	2	ココ	6.65	2	ココ	
6	3	クウ	7.53	3	レオ	
7	4	モカ	6.13			
8	5	ソラ	7.30			
9	6	マロン	6.93			
10	7	マル	7.39			
11	8	レオ	6.80			
12	9	モモ	7.25			
13	10	ノア	6.86			
14	11	ハナ	6.90			
15	12	チョコ	7.46			

= (a) (\$B\$4:\$B\$15,MATCH((b) (\$C\$4:\$C\$15,E4), \$C\$4:\$C\$15,0),1)

- ア. VALUE イ. LARGE ウ. INDEX
エ. MIN オ. MAX カ. SMALL

問4. 次の表は、干支確認表である。B3に「年」を入力すると、その値をもとにB5に「干支」を表示する。B5に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2	干支確認表											
3	年	2028										
4												
5	干支	申										
6												
7	干支表											
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
9	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥

=HLOOKUP(MOD(B3,12)-IF(MOD(B3,12)<4, ,3),A8:L9,2,FALSE)

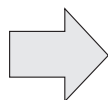
ア. -9

イ. 9

ウ. 12

問5. 次の表は、目標貯蓄額計算表である。次の条件から、「目標貯蓄額」を 60000 として、次のようなパラメータ設定を行い、表計算ソフトウェアのデータ分析機能を実行し、「お手伝い」の「回数」を求める。実行したデータ分析機能の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	目標貯蓄額計算表			
3	項目	金額	回数	年額
4	お年玉	30,000	1	30,000
5	お小遣い	10,000	12	120,000
6	お手伝い	500	0	0
7	支出	9,000	12	108,000
8		目標貯蓄額		42,000



実行結果

	A	B	C	D
1				
2	目標貯蓄額計算表			
3	項目	金額	回数	年額
4	お年玉	30,000	1	30,000
5	お小遣い	10,000	12	120,000
6	お手伝い	500	36	18,000
7	支出	9,000	12	108,000
8		目標貯蓄額		60,000

条件

- ・ B4は 30000 , C4は 1 を入力する。
- ・ B5は 10000 , C5は 12 を入力する。
- ・ B6は 500 を入力する。
- ・ B7は 9000 , C7は 12 を入力する。
- ・ D4は次の式を入力し、D7までコピーする。
=B4*C4
- ・ D8は次の式を入力する。
=SUM(D4:D6)-D7

パラメータ設定

数値入力セル：	\$D\$8
目標値：	60000
変化させるセル：	\$C\$6
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

ア. フィルタ

イ. ピボットテーブル

ウ. ゴールシーク

- 【6】 次の表は、あるしゃぶしゃぶ専門店における食べ放題注文数表である。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2	しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表										
3											
4	注文 コード	コース名	豚		牛		鶏		注文数計	順位	備考
5			バラ	ロース	ロース	タン	つくね	もも			
6	SUM	梅コース	933	721	-	-	155	-	1,809	1	※
7	STA	竹コース	821	355	-	-	203	206	1,585	2	※
8	PUM	梅コース	773	507	-	-	135	-	1,415	7	※
9	PMA	松コース	762	226	245	-	147	159	1,539	4	※
10	PTA	竹コース	751	321	-	-	213	213	1,498	5	※
11	PKI	期間限定コース	516	283	213	231	118	213	1,574	3	※
12	SMA	松コース	483	187	485	-	119	154	1,428	6	※
13	SKI	期間限定コース	446	135	283	281	137	101	1,383	8	※
14	注文できるコース数		8	8	4	2	8	6			
15											
16	コース表										
17	コース コード	コース名	豚	牛	鶏	注文数 合計	割合				
18	UM	梅コース	2,934	0	290	3,224	26.4%				
19	TA	竹コース	2,248	0	835	3,083	25.2%				
20	MA	松コース	1,658	730	579	2,967	24.3%				
21	KI	期間限定コース	1,380	1,008	569	2,957	24.2%				

(注) 「豚」、「牛」、「鶏」の数値は注文数を、-は注文できないことを示す。また、※印は、値の表記を省略している。

作成条件

- 「しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表」は、次のように作成する。なお、注文数計には同数はないものとする。
 - 「注文コード」は次のように構成されている。なお、グレードは S がスタンダードで、P がプレミアムである。
 例 SUM → S UM
 グレード コースコード
 - 「コース名」は、「注文コード」の右端から2文字を抽出し、「コース表」を参照して表示する。
 - 「注文数計」は、「豚」から「鶏」までの注文数の合計を求める。
 - 「順位」は、「注文数計」を基準として、降順に順位を求める。
 - 「備考」は、K6に次の式を設定し、K13までコピーする。

$$=IF(AND(C6 \geq 750, I6 \leq 1500), "O", "")$$
 - 「注文できるコース数」は、各列の - 以外の値の件数を求める。
- 「コース表」は、次のように作成する。
 - 「豚」は、「しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表」の「コース名」ごとに「豚」の「バラ」と「ロース」の合計を求める。
 - 「牛」は、「しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表」の「コース名」ごとに「牛」の「ロース」と「タン」の合計を求める。
 - 「鶏」は、「しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表」の「コース名」ごとに「鶏」の「つくね」と「もも」の合計を求める。
 - 「注文数合計」は、「豚」から「鶏」までの注文数の合計を求める。
 - 「割合」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

$$\text{「注文数合計」} \div \text{「注文数合計の合計」}$$

問1. B6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をB13までコピーする。

- ア. =VLOOKUP(RIGHT(A6,2), \$A\$18:\$B\$21,2,TRUE)
- イ. =VLOOKUP(RIGHT(A6,1), \$A\$18:\$B\$21,2,TRUE)
- ウ. =VLOOKUP(RIGHT(A6,2), \$A\$18:\$B\$21,2,FALSE)

問2. J6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をJ13までコピーする。

- ア. =RANK(I6,\$I\$6:\$I\$13,1)
- イ. =RANK(I6,\$I\$6:\$I\$13,0)
- ウ. =RANK(\$I\$6:\$I\$13,I6,1)

問3. K6~K13に表示される ○ の数を答えなさい。

問4. C14に設定する式として適切でないものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をH14までコピーする。

- ア. =COUNTA(C6:C13)
- イ. =COUNT(C6:C13)
- ウ. =COUNTA(C6:C13)-COUNTIFS(C6:C13,"-")

問5. C18に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC21までコピーする。

- ア. =SUMIFS(\$C\$6:\$D\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)
- イ. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)-SUMIFS(\$D\$6:\$D\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)
- ウ. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)+SUMIFS(\$D\$6:\$D\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【5】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	コ	ア	ク	イ

【2】	1	2	3	4	5
	エ	ケ	オ	イ	キ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ア	イ	ア	ウ

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	イ	ア	ウ	3

各3点
20問

小計

60

【5】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		
	ア	イ	ウ	カ	ア	ウ

【6】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	イ	2	ア	ウ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2025年1月19日実施

令和 6 年度（第 72 回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報〉
第 2 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって，シート名「報告書」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって，1 ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

次の表は、ある貸し会議室における売上分析表である。作成条件にしたがって、シート名「会議室名表」とシート名「売上表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

(設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数)

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 会議室別分析表」は、次のように作成する。

- (1) 「会議室名」は、「コード」をもとに、シート名「会議室名表」を参照して表示する。
- (2) 「レンタル回数」は、シート名「売上表」から「コード」ごとの件数を求める。
- (3) 「時間計」は、シート名「売上表」から「コード」ごとに「時間」の合計を求める。
- (4) 「売上金額計」は、シート名「売上表」から「コード」ごとに「売上金額」の合計を求める。
- (5) 「備考」は、「時間計」が 30 以上、または「売上金額計」が 50000 以上の場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。
- (6) 「合計」は、各列の合計を求める。

5. 「2. エリア別分析表」は、次のように作成する。

- (1) 「人数合計」は、シート名「売上表」から「エリア名」ごとに「人数」の合計を求める。
- (2) 「売上金額合計」は、シート名「売上表」から「エリア名」ごとに「売上金額」の合計を求める。
- (3) 「売上金額平均」は、シート名「売上表」から「エリア名」ごとに「売上金額」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
- (4) 「割合」は、次の式で求める。ただし、小数第3位未満を切り捨て、%で小数第1位まで表示する。

「売上金額合計 ÷ 売上金額合計の合計」

6. 100%積み上げ横棒グラフは、「2. エリア別分析表」から作成する。

- (1) 数値軸（横軸）の目盛は、最小値（0%）、最大値（100%）および間隔（25%）を設定する。
- (2) 凡例の位置を設定する。
- (3) データラベルを設定する。

	A	B
1		
2	会議室名表	
3	コード	会議室名
4	R01	スカイ
5	R02	マイルーム
6	}	}
12	R09	カラメル
13	R10	グリーン

(会議室名表)

	A	B	C	D	E
1					
2	売上表				
3	コード	エリア名	人数	時間	売上金額
4	R01	Aエリア	3	3	9,900
5	R03	Eエリア	5	3	4,500
6	}	}	}	}	}
119	R04	Dエリア	2	1	1,200
120	R06	Aエリア	7	3	7,500

(売上表)

	A	B	C	D	E	F	G
--	---	---	---	---	---	---	---

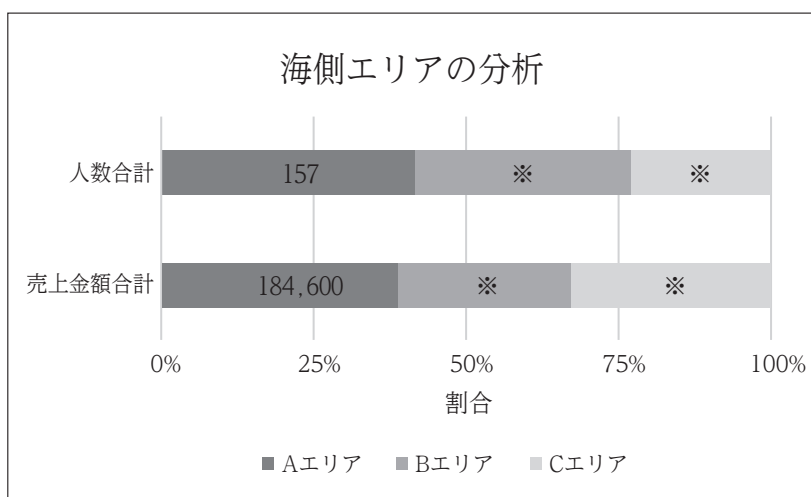
貸し会議室の売上分析表

1. 会議室別分析表

コード	会議室名	レンタル回数	時間計	売上金額計	備考
R01	スカイ	16	37	122,100	○
R09	※	※	※	※	※
R03	※	※	※	※	※
R07	※	※	※	※	※
R04	※	※	※	※	※
R10	※	※	※	※	※
R08	※	※	※	※	※
R02	※	※	※	※	※
R05	※	※	※	※	※
R06	※	※	※	※	※
	合計	※	※	※	

2. エリア別分析表

エリア名	場所	人数合計	売上金額合計	売上金額平均	割合
Aエリア	海側	157	184,600	7,100	26.8%
Bエリア	海側	※	※	※	※
Cエリア	海側	※	※	※	※
Dエリア	山側	※	※	※	※
Eエリア	山側	※	※	※	※



(報告書)

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度（第72回）情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 実技

審査基準

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

貸し会議室の売上分析表

1. 会議室別分析表

コード	会議室名	レンタル回数	時間計	売上金額計	備考
R01	スカイ	16	37	122,100	○
R09	カaramel	13	33	92,400	○
R03	リラックス	12	30	45,000	○
R07	キャンバス	12	29	37,700	
R04	エレガンス	12	28	33,600	
R10	グリーン	11	29	89,900	○
R08	サロン	11	23	39,100	
R02	マイルーム	10	27	97,200	○
R05	スクエア	10	25	67,500	○
R06	シーサイド	10	25	62,500	○
	合計	117	286	687,000	

2. エリア別分析表

エリア名	場所	人数合計	売上金額合計	売上金額平均	割合
Aエリア	海側	157	184,600	7,100	26.8%
Bエリア	海側	133	134,900	6,132	19.6%
Cエリア	海側	86	157,400	7,495	22.9%
Dエリア	山側	126	126,000	5,040	18.3%
Eエリア	山側	172	84,100	3,657	12.2%

海側エリアの分析

注2

人数合計

注3

売上金額合計

注4

割合

注5

Aエリア Bエリア Cエリア

配点

- ① 表の作成 () の箇所 …… 5点×13箇所=65点
- 注1 R10が ○ , R08が空白。
- ② 罫線 …… 5点×1箇所=5点 (2つの表の罫線が正確にできている)
- ③ グラフの作成 () の箇所 … 5点×6箇所=30点
- 注2 数値 (133)。
- 注3 100%積み上げ横棒グラフで、位置は「人数合計」の下であること。左右の積み重ね順およびデータラベルの有無は問わない。
- 注4 最小値 (0%), 最大値 (100%) および間隔 (25%)。
- 注5 位置はグラフの下側にあること。左右の順序は問わない。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。

2025年1月19日実施

令和6年度（第72回）
情報処理検定試験
〈プログラミング〉
第2級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は8ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. プログラムを翻訳したときにコンパイラから指摘される、プログラムの構文規則に反する記述。
2. どのような文字や数字などが書いてあるかを読み取り、テキストデータに変換するソフトウェアやハードウェア。
3. 第三者が判読できないように、平文をアルゴリズムに沿って、理解不能な文に変換すること。
4. 小説・音楽・美術などを創作した者が持つ、その創作物を保護することを目的とした権利。作品を創作したときに自動的に権利が発生する。
5. 動画や音声などのデータやファイルを、ダウンロードしながら再生を行う方法。

解答群

- | | | |
|------------|----------|------------|
| ア. 復号 | イ. OMR | ウ. 文法エラー |
| エ. 産業財産権 | オ. 暗号化 | カ. グループウェア |
| キ. OCR | ク. 論理エラー | ケ. 著作権 |
| コ. ストリーミング | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. キーロガー 2. 不正アクセス禁止法 3. RGB
 4. ローカル変数 5. フリーウェア

<B群>

- ア. キーボードなどから入力されたデータを記録するソフトウェアやハードウェア。機密情報や個人情報を盗むことなどに悪用されることもある。
- イ. コンピュータを利用不能な状態にさせて、もとに戻すことと引き換えに、身代金の支払いを要求する不正プログラム。
- ウ. ライセンスにしたがい、ソースコードの改変や再配布がある程度自由に認められている形態のソフトウェア。
- エ. プリンタに採用されている色の表現方法。色の三原色のシアン、マゼンタ、イエローと、キーとなるブラックを使いさまざまな色を表現できる。
- オ. ある特定の範囲内で宣言された変数で、その限定された範囲内でのみ利用できる変数。
- カ. 他人のユーザIDやパスワードを利用しアクセスすることなどを禁止する法律。
- キ. 個人が特定できる情報を取り扱う事業者や団体に対して、個人情報の有用性に配慮しつつ適正な取り扱いや遵守すべき義務などを定めた法律。
- ク. 無料で利用できるが、ソースコードの改変などができないソフトウェア。
- ケ. プログラムのどこからでもアクセスすることが可能な変数で、規模が大きいとプログラム上のミスが出やすい変数。
- コ. ディスプレイ装置などで採用されている色の表現方法。光の三原色の赤、緑、青を組み合わせでさまざまな色を表現できる。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の 1001 と10進数の 3 との積を表す2進数。

ア. 1100

イ. 1111

ウ. 11011

2. 標準は非可逆圧縮の画像フォーマットであり、写真のファイルサイズを小さくできるなどの理由で、利用されることの多いファイル形式。一般的には、ピクセルごとに透明度を指定することができない。

ア. JPEG

イ. PNG

ウ. GIF

3. 世界中の国々で利用されているさまざまな文字を、一つのコード体系で表現するために標準化された文字コード。

ア. ASCIIコード

イ. Unicode

ウ. JISコード

4. 新しく作成したプログラムや修正したプログラムが正しく作動し、適正な結果が出力されるか試すこと。

ア. テストラン

イ. 多要素認証

ウ. 翻訳

5. あらかじめ並べ替えされたデータが、指定された並び順になっているかどうかをチェックすること。

ア. トータルチェック

イ. シーケンスチェック

ウ. ニューメリックチェック

【4】 プログラムにしたがって処理するとき、(1)～(5)を答えなさい。なお、入力する a の値は 5 以下の正の整数であり、b の値は正の整数とする。

- (1) a の値が 2, b の値が 36 のとき、㊦の処理を1回目に実行したあとの h の値を答えなさい。
- (2) a の値が 2, b の値が 36 のとき、㊥で3回目に出力される c の値を答えなさい。
- (3) a の値が 3, b の値が 155 のとき、㊥で3回目に出力される b の値を答えなさい。
- (4) a の値が 3, b の値が 155 のとき、㊦の処理を何回実行するか答えなさい。
- (5) プログラムの処理について説明した文のうち、正しいものはどれか。**ア**、**イ**、**ウ**の中から選び、記号で答えなさい。
 - ア**. 処理を終了したとき、i の値は必ず 3 の倍数である。
 - イ**. 処理を終了したとき、i の値は必ず 5 の倍数である。
 - ウ**. 処理を終了したとき、i の値は必ず 10 の倍数である。

<プログラム>

```
Sub Program1()
    Dim a As Long
    Dim b As Long
    Dim c As Long
    Dim e As Long
    Dim f As Long
    Dim g As Long
    Dim h As Long
    Dim i As Long
    a = Val(InputBox("aの値を入力してください"))
    b = Val(InputBox("bの値を入力してください"))
    c = 0
    e = 5
    f = a * a
    g = f * 2
    Do While b > 0
        c = c + a
        f = c * c
        [h = f * 10] ㊦
        i = h / g
        b = b - i
        [MsgBox (c & ", " & b)] ㊥
        If c >= e Then
            [e = e + 5] ㊦
        End If
    Loop
End Sub
```

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

あるクイズ大会のデータを読み、クイズ大会結果をディスプレイに表示する。

入力データ

名前 (Na) ×～×	年齢 (Nen) ×××	点数 (Ten) ×××
×～×	×××	×××

(第1図)

実行結果

(クイズ大会結果)			
(名前)	(年齢)	(点数)	(受賞)
鈴木 ☆○	64	225	優秀賞
}	}	}	}
藤原 ◎☆	101	75	
}	}	}	}
尾田 ◎◎	48	130	
(大会参加者数) 125			
(80歳以上の名前) 藤原 ◎☆ ～ 山下 □☆			
(最高齢の年齢) 101			

(第2図)

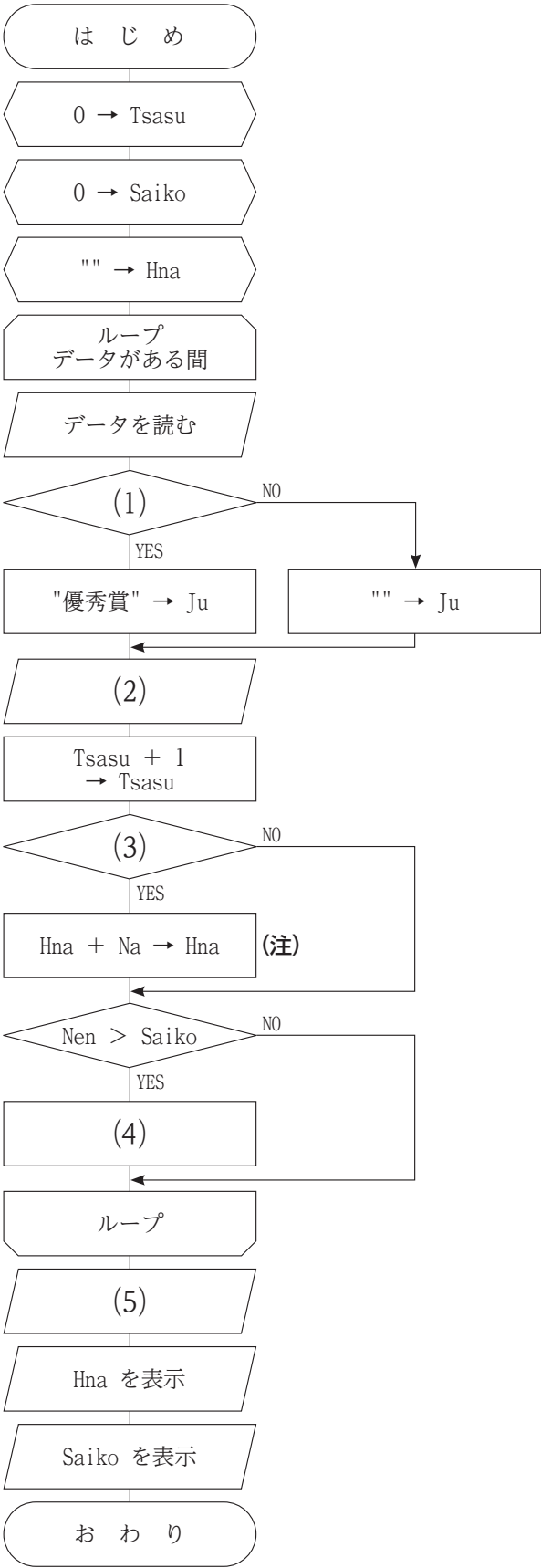
処理条件

- 第1図の入力データを読み、第2図のように表示する。
なお、受賞は点数が 200 以上の場合は 優秀賞 を表示する。
- 入力データが終了したら、大会参加者数、80歳以上の名前、最高齢の年齢を、第2図のように表示する。なお、80歳以上の名前をすべて表示する。また、同じ年齢があった場合、先に入力されたデータを優先する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Nen ≥ 80
- イ. Ten → Saiko
- ウ. Tsasu を表示
- エ. Ten ≥ 200
- オ. Na, Nen, Ten, Ju を表示
- カ. Ten ≤ 200
- キ. Na, Nen, Ten を表示
- ク. Nen → Saiko
- ケ. Nen > 80
- コ. Ju を表示

＜流れ図＞



(注) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

ある配送センターの1日分の配送データを読み、配送一覧と店舗別配送個数集計表をディスプレイに表示する。

入力データ

月日 (Thi)	店舗番号 (Tban)	商品番号 (Sban)	個数 (Ksu)	配送番号 (Hban)
××××	××	×××	×××	×

(第1図)

実行結果

(配送一覧)				
(月日)	(店舗名)	(商品名)	(個数)	(箱数)
1201	川越店	防水ジャケット	20	1
1201	熊谷店	カラーレインブーツ	16	2
}	}	}	}	}
(店舗別配送個数集計表)				
(店舗名)	(通常配送個数)	(即日配送個数)	(比率(%))	(備考)
熊谷店	255	267	51.1	◎
川越店	563	117	17.2	
}	}	}	}	}
本庄店	522	235	31.0	○
(合計)	8,847	3,566	28.7	
(◎の割合(%)) 26.3				

(第2図)

処理条件

1. 第1図の店舗番号は 1 (熊谷店) ～20 (本庄店) の20種類である。なお、商品番号は 1 (マウンテンパーカー) ～100 (カラーレインブーツ) の100種類であり、配送番号は 1 (通常配送) と 2 (即日配送) である。
2. 配列 Tmei に店舗名を、配列 Smei に商品名を、配列 Sju に商品の重量(kg)を記憶する。なお、Tmei の添字は店舗番号と対応し、Smei と Sju の添字は商品番号と対応している。

配列

Tmei	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
		熊谷店	川越店	～	行田店	本庄店
Smei	(0)	(1)	(2)	～	(100)	
		マウンテンパーカー	防水ジャケット	～	カラーレインブーツ	
Sju	(0)	(1)	(2)	～	(100)	
		0.3	0.24	～	1.4	

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
- 配送番号が 1 の場合は店舗ごとの個数を配列 Tsu に集計し、配送番号が 2 の場合は店舗ごとの個数を配列 Ssu に集計する。なお、Tsu(0) と Ssu(0) には合計を求める。また、Tsu と Ssu の添字は店舗番号と対応している。

配列

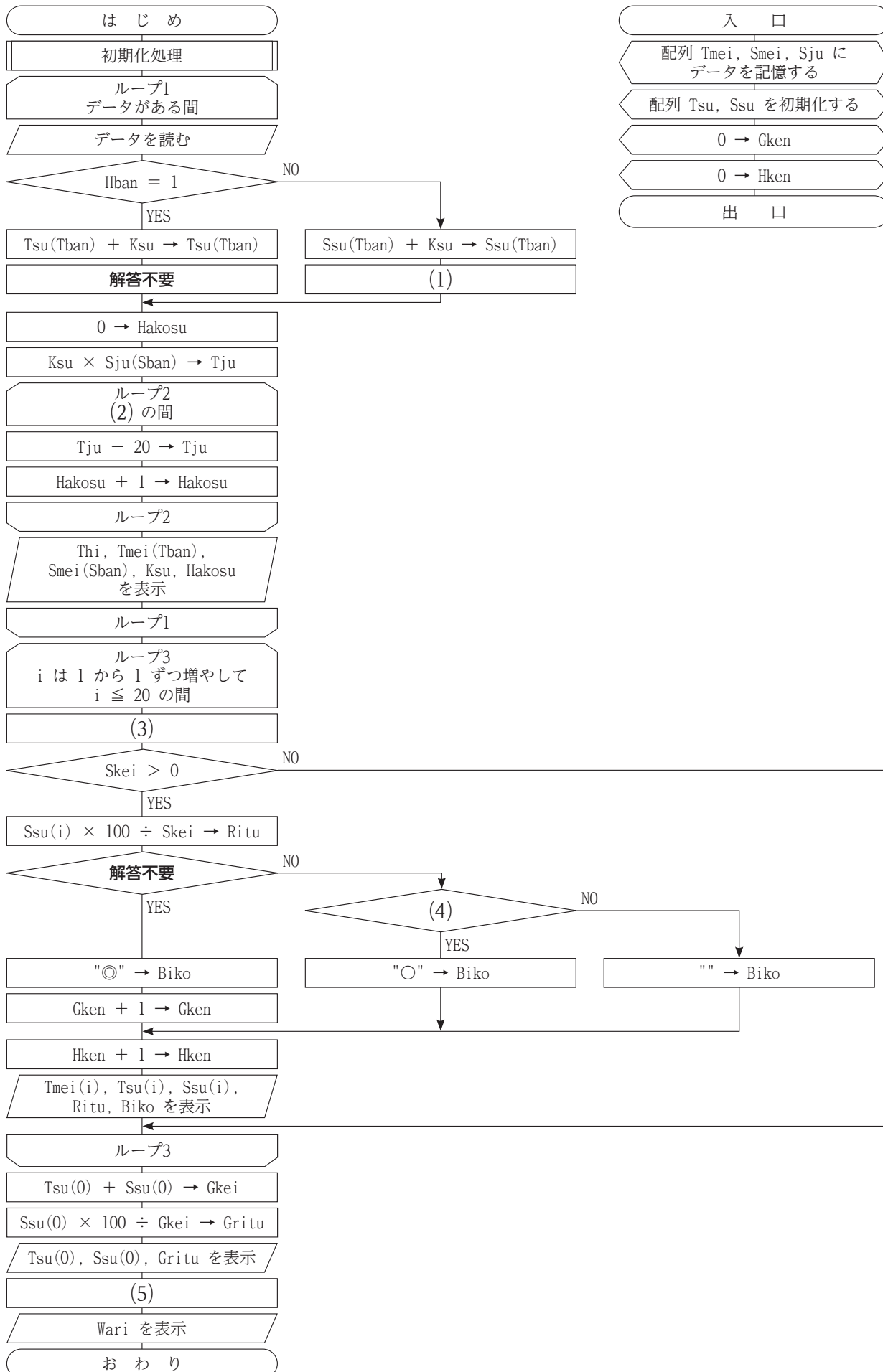
Tsu	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
				～		
(合計)						
Ssu	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
				～		
(合計)						

- 1箱の重量の上限を20kgとして箱数を求め、月日から箱数までを第2図のように表示する。
4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。
- 店舗ごとに配送した個数の合計と比率(%)を次の計算式で求め、店舗名から備考までを第2図のように表示する。なお、配送がなかった店舗は表示しない。また、備考は比率(%)が 50 以上の場合は ◎ を、25 以上 50 未満の場合は ○ を表示する。
- 店舗ごとに配送した個数の合計 = 店舗ごとの通常配送個数 + 店舗ごとの即日配送個数
- 比率(%) = 店舗ごとの即日配送個数 × 100 ÷ 店舗ごとに配送した個数の合計
- 合計と合計の比率(%)を次の計算式で求め、通常配送個数の合計から合計の比率(%)までを表示する。
- 合計 = 通常配送個数の合計 + 即日配送個数の合計
- 合計の比率(%) = 即日配送個数の合計 × 100 ÷ 合計
- ◎の割合(%)を次の計算式で求め、表示する。
- ◎の割合(%) = ◎の件数 × 100 ÷ 配送があった店舗の件数
5. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Tsu(Tban) + Ssu(Tban) → Skei
- イ. Tju > 0
- ウ. Gken × 100 ÷ Gkei → Wari
- エ. Ritu ≥ 25
- オ. Tju < 0
- カ. Tsu(i) + Ssu(i) → Skei
- キ. Ritu < 25
- ク. Ssu(0) + Ksu → Ssu(0)
- ケ. Ssu(0) + 1 → Ssu(0)
- コ. Gken × 100 ÷ Hken → Wari

<流れ図>



【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

あるレンタルサイクル店の1日分の売上データを読み、車種別時間帯別集計と乗車定員別集計をディスプレイに表示する。
入力データ

日付 (Hi)	自転車コード (Jk)	時間帯区分 (Ji)	クーポン区分 (Ku)
××××	××	×	×

(第1図)

実行結果

(車種別時間帯別集計)						
(車種名)	(午前)		(午後)		(一日)	
	(台数)	(金額)	(台数)	(金額)	(台数)	(金額)
シティ	8	7,800	7	6,700	11	15,450
＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼
クアッド	5	7,840	13	19,680	8	18,480
(合計)	40	48,080	58	75,300	51	93,480
(平均)	8,013		12,550		15,580	
(乗車定員別集計)						
(乗車定員名)	(午前計)		(午後計)		(一日計)	
1名	23		22		26	
2名	12		23		17	
4名	5		13		8	

処理条件

1. 第1図の自転車コードは Si (シティ) ～Qu (クアッド) の6種類、時間帯区分は 1 (午前)、2 (午後)、3 (一日) の3種類、クーポン区分は 0 (なし) と 1 (あり) の2種類である。
2. 配列 Jkodo に自転車コードを、配列 Jsya に車種名を、配列 Jtei に乗車定員を、配列 Jmei に乗車定員名を記憶する。なお、Jkodo, Jsya, Jtei の添字は対応している。

配列

Jkodo	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	Si	Sp	Ki	Oy	Ta	Qu	
Jsya	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	シティ	スポーツ	キッズ	親子	タンデム	クアッド	
Jtei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
		1	1	1	2	2	4
Jmei	(0)	(1)	(2)	(3)			
		1名	2名	4名			

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
- 自転車コードをもとに配列 Jkodo を探索し、貸出金額を求める。なお、半日の貸出金額は、シティからキッズまでは1,000円、親子からクアッドまでは1,600円であり、一日の貸出金額は、半日の貸出金額の1.5倍とする。また、クーポン区分が 1 の場合、貸出金額の10%引き、0 の場合、値引きなしとする。
 - 配列 Kdai に自転車コードごとの各時間帯区分の貸出数を、配列 Kkin に自転車コードごとの各時間帯区分の貸出金額を集計し、配列 Gdai に時間帯区分ごとの貸出数合計を、配列 Gkin に時間帯区分ごとの貸出金額合計を求める。なお、Kdai と Kkin の添字は対応しており、Gdai, Gkin の添字は時間帯区分と対応している。

配列

Kdai	(0)	(1)	(2)	(3)	~	(16)	(17)	(18)		
					~					
Kkin	(0)	(1)	(2)	(3)	~	(16)	(17)	(18)		
					~					
	(午前)		(午後)		(一日)	~	(午前)		(午後)	(一日)
	(シティ)					(クアッド)				
Gdai	(0)	(1)	(2)	(3)						
Gkin	(0)	(1)	(2)	(3)						
	(午前)		(午後)		(一日)					

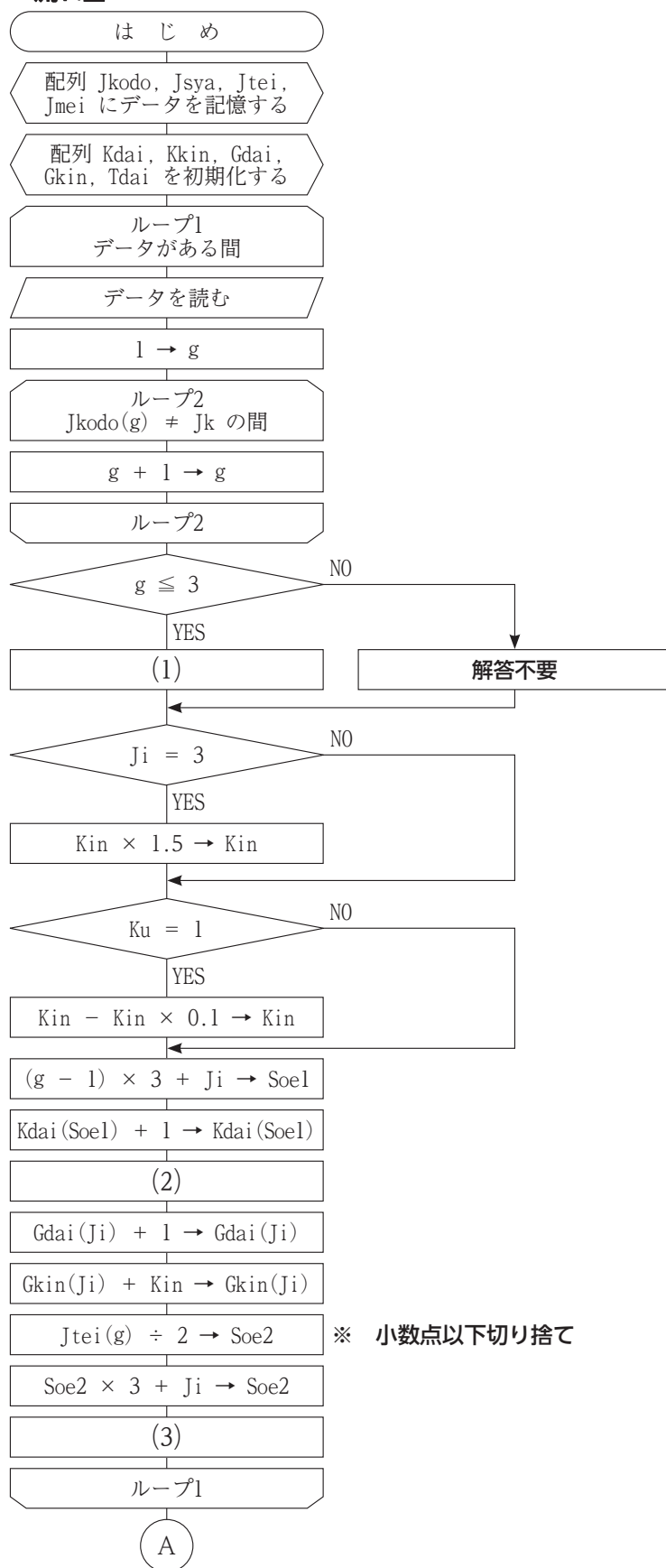
- 配列 Tdai に、乗車定員名ごとの各時間帯区分の貸出数を集計する。
- 配列
- | | | | | | | | | | | |
|------|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|------|
| Tdai | (0) | (1) | (2) | (3) | ～ | (7) | (8) | (9) | | |
| | | | | | ～ | | | | | |
| | (午前) | | (午後) | | (一日) | ～ | (午前) | | (午後) | (一日) |
| | (1名) | | | (4名) | | | | | | |
4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。
- 車種名ごとに、車種名から一日の金額までを第2図のように表示する。
 - 合計を表示する。
 - 平均を次の計算式で求め、配列 Hei に記憶し、表示する。なお、Hei の添字は時間帯区分と対応している。
- 平均 = 時間帯区分ごとの貸出金額合計 ÷ 6

配列

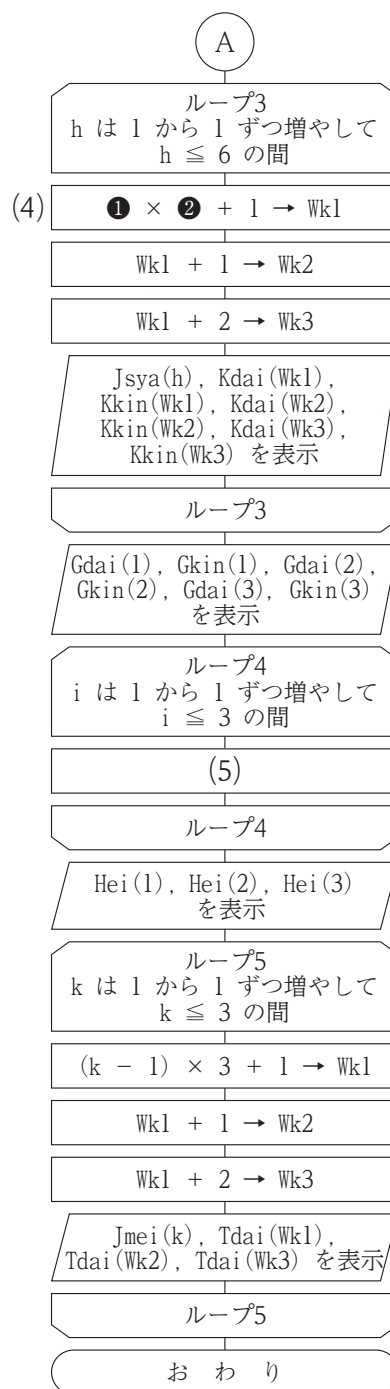
Hei	(0)	(1)	(2)	(3)	
	(午前)		(午後)		(一日)

- 乗車定員名から一日計までを表示する。
5. データにエラーはないものとする。

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て



解答群

- ア. $1600 \rightarrow \text{Kin}$
 イ. $(h + 1)$
 ウ. $(h - 1)$
 エ. $\text{Tdai}(\text{Soe2}) + 1 \rightarrow \text{Tdai}(\text{Soe2})$
 オ. $\text{Kkin}(\text{Soe1}) + 1 \rightarrow \text{Kkin}(\text{Soe1})$
 カ. $\text{Gdai}(i) \div 6 \rightarrow \text{Hei}(i)$
 キ. 3
 ク. 6
 ケ. $1000 \rightarrow \text{Kin}$
 コ. $\text{Tdai}(\text{Soe2}) + \text{Kin} \rightarrow \text{Tdai}(\text{Soe2})$
 サ. $\text{Gkin}(i) \div 3 \rightarrow \text{Hei}(i)$
 シ. $\text{Kkin}(\text{Soe1}) + \text{Kin} \rightarrow \text{Kkin}(\text{Soe1})$
 ス. 18
 セ. 9
 ソ. $\text{Gkin}(i) \div 6 \rightarrow \text{Hei}(i)$

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験プログラミング 第2級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計	
----	--

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
				回	

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
				①	

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験プログラミング 第2級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ウ	キ	オ	ケ	コ

【2】	1	2	3	4	5
	ア	カ	コ	オ	ク

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	ア	イ	ア	イ

各2点
15問

小計

30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	40	6	85	3 回	イ

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	エ	オ	ア	ク	ウ

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	ク	イ	カ	エ	コ

各3点
15問

小計

45

【7】	(1)	(2)	(3)	(4)		(5)
				①	②	
	ケ	シ	エ	ウ	キ	ソ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。順不同。

各5点
5問

小計

25

得点合計

100

2025年1月19日実施

令和6年度（第72回）
情報処理検定試験
第3級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は6ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は20分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. Webページの作成に使用される言語。タグを用いて、ページの構造やレイアウトなどを定義する。
2. 携帯情報端末や周辺機器などで、数十メートル程度までの機器間の接続に使われる無線通信規格。
3. 初期化とも呼ばれ、コンピュータなどの記憶媒体を利用できるようにすること。
4. Webページや電子メールでハイパーリンクの設定がされている文字列や画像をクリックすることで、不当な料金を請求される詐欺。
5. プログラムやデータに組み込まれ、ファイルの内容を書き換えるなどの被害を及ぼす目的で作成されたプログラム。

解答群

- ア. URL
イ. フォーマット
ウ. ワクチンプログラム
エ. コンピュータウイルス
オ. フィッシング詐欺
カ. Bluetooth
キ. HDMI
ク. フォルダ
ケ. HTML
コ. ワンクリック詐欺

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. RAM 2. OS 3. アイコン
4. ダウンロード 5. なりすまし

< B 群 >

- ア. ネットワークで接続された別のコンピュータにあるファイルやデータなどを、自分のコンピュータやスマートフォンなどに受信すること。
- イ. コンピュータの画面上で、入力できる位置や操作できる場所を示すしるし。
- ウ. 基本ソフトウェアとも呼ばれ、ハードウェアなどを管理し、効率よく利用するためのソフトウェア。
- エ. ユーザIDとパスワードなどを用いて、利用権限を持つ本人であるかを判断すること。
- オ. データの読み書きができ、電源を切ると記憶内容が失われる記憶装置。
- カ. 応用ソフトウェアとも呼ばれ、特定の業務を処理するために利用するソフトウェア。
- キ. コンピュータの画面上で、ファイルや操作などを絵や記号であらわしたもの。
- ク. 悪意のある者が、他人のユーザIDとパスワードを取得して、コンピュータなどを利用すること。
- ケ. 自分のコンピュータやスマートフォンにあるファイルやデータなどを、ネットワークを通して別のコンピュータに送信すること。
- コ. データを読み出すことができ、電源を切っても記憶内容が失われない記憶装置。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の 10101 を10進数で表したもの。

ア. 13

イ. 18

ウ. 21

2. 約1,000バイトの記憶容量を表したもの。

ア. 1KB

イ. 1MB

ウ. 1GB

3. 画面上のボタンなどを、指や専用のペンなどを使用して直接入力する装置。

ア. プロジェクタ

イ. イメージスキャナ

ウ. タッチパネル

4. インターネットへの接続など、さまざまなサービスの提供を行う。

ア. 検索エンジン

イ. プロバイダ

ウ. プリントサーバ

5. 他人に対する誹謗中傷や暴力、犯罪を助長するような情報など、閲覧することが好ましくないWebサイト。

ア. 有害サイト

イ. スパイウェア

ウ. 不正アクセス

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある金融機関の時間帯別来店者数記入表である。A4に 9時台 と入力したのち、A4を選択する。選択したA4のある部分にマウスポインタを合わせ、A9までドラッグすると表のようにデータを入力することができる。マウスポインタを合わせる位置として適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、マウスポインタを合わせる部分が、点線で表してある。

	A	B
1		
2	時間帯別来店者数記入表	
3	時間帯	人数
4	9時台	
5	10時台	
6	11時台	
7	12時台	
8	13時台	
9	14時台	

ア.

イ.

ウ.

問2. 次の表は、ある企業の分野別売上表である。「増減率」を%で表示したい。D5~D10を選択し、指定するボタンとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	分野別売上表			
3		単位：百万円		
4	分野	第17期	第18期	増減率
5	航海	5,503	5,813	0.056
6	航空	1,235	1,261	0.021
7	陸上	3,202	3,495	0.092
8	環境	1,044	1,184	0.134
9	放送	2,247	2,159	-0.039
10	モバイル	7,829	8,206	0.048

ア.

イ.

ウ.

問3. 次の表は、あるアンケート方法別回答表である。「回答率」は、「回答数」を「配布数」で割って求める。D4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、小数第3位未満を四捨五入し、%で小数第1位まで表示する。

	A	B	C	D
1				
2	アンケート方法別回答表			
3	方法	回答数	配布数	回答率
4	対面	57	102	55.9%
5	郵送	100	198	50.5%
6	オンライン	145	497	29.2%
7	電話	9	49	18.4%

ア. =ROUND(B4/C4,1)

イ. =ROUND(B4/C4,3)

ウ. =ROUND(C4/B4,3)

問4. 次の表は、ある地域の灯油販売単価一覧表である。「順位」は、「単価」の昇順に順位を求める。C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC8までコピーする。

	A	B	C
1			
2	灯油販売単価一覧表		
3	店名	単価	順位
4	A商店	120	4
5	Bスタンド	118	3
6	Cホームセンター	115	1
7	D石油	117	2
8	E米穀店	121	5

ア. =RANK(B4,\$B\$4:\$B\$8,0)

イ. =RANK(B4,\$B\$4:\$B\$8,1)

ウ. =RANK(B4,B4:B8,0)

問5. 次の表は、ある駅の利用可能列車一覧表である。「列車番号」の右端から2文字は、「種別コード」を表している。「種別コード」を抽出するために、C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	利用可能列車一覧表			
3	列車名	列車番号	種別コード	種別
4	こあら13号	K013LE	LE	特急
5	なのはな5号	NA05EX	EX	急行
6	こあら17号	K017LE	LE	特急
7	ホームライナー21号	H021CE	CE	通勤特急
8	なのはな7号	NA07EX	EX	急行
9	ホームライナー23号	H023CE	CE	通勤特急

ア. =MID(B4,2,2)

イ. =LEFT(B4,2)

ウ. =RIGHT(B4,2)

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表のD1は、次の式が設定されている。D1に表示される値を答えなさい。

$$=A1+(B1-C1)/4$$

	A	B	C	D
1	36	24	16	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

問2. 次の表とグラフは、ある画像生成AIアプリの評価表である。各項目の評価は5点満点で数値の大きい方が高い。次の(1), (2)に答えなさい。

(1) 作成されたグラフの名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. レーダーチャート
- イ. 100%積み上げ縦棒グラフ
- ウ. 円グラフ

(2) グラフから読み取った内容として正しいものを選び、記号で答えなさい。

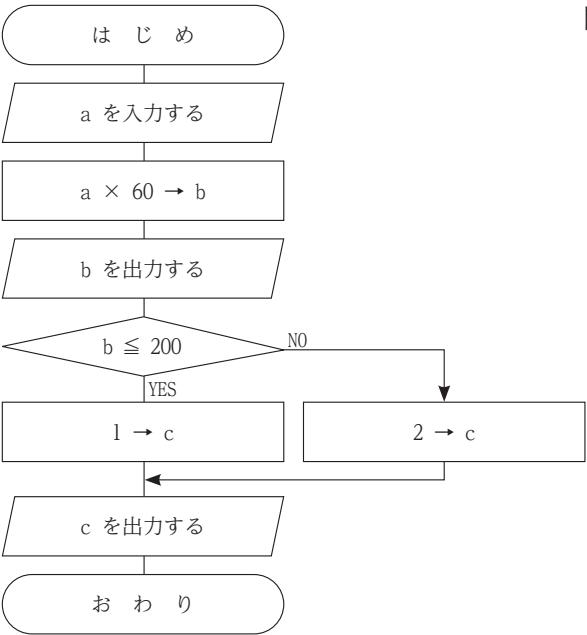
- ア. 「プロンプト解釈」は、すべてのアプリで数値が4以上である。
- イ. アプリAは、「生成速度」の評価が他の項目と比較して、数値が大きい。
- ウ. アプリBは、他の2つのアプリと比較して、「画像品質」の数値が小さい。

	A	B	C	D	E
1					
2	画像生成AIアプリ評価表 (5点満点)				
3	アプリ名	使いやすさ	プロンプト解釈	画像品質	生成速度
4	アプリA	3.0	2.5	3.0	4.3
5	アプリB	3.6	4.4	4.8	3.0
6	アプリC	2.2	2.0	2.5	2.5



【6】 流れ図にしたがって処理するとき、次の各問いに答えなさい。

<流れ図>



問1. a の値が 3 のとき、出力される b の値を答えなさい。
問2. a の値が 5 のとき、出力される c の値を答えなさい。

【7】 次の表は、マーキングペンの国別輸出金額の資料にもとづき、作成条件にしたがって作成されたものである。各問いに答えなさい。

資料

2019年 輸出金額	
単位：百万円	
国名	金額
アメリカ	2,523
インド	793
中国	1,628
ドイツ	2,574
フランス	2,431
メキシコ	851

2020年 輸出金額	
単位：百万円	
国名	金額
アメリカ	2,685
インド	893
中国	1,896
ドイツ	2,092
フランス	1,293
メキシコ	678

2021年 輸出金額	
単位：百万円	
国名	金額
アメリカ	2,949
インド	749
中国	3,644
ドイツ	1,940
フランス	1,830
メキシコ	813

2022年 輸出金額	
単位：百万円	
国名	金額
アメリカ	3,171
インド	710
中国	3,338
ドイツ	1,768
フランス	3,245
メキシコ	687

2023年 輸出金額	
単位：百万円	
国名	金額
アメリカ	3,676
インド	551
中国	2,898
ドイツ	1,399
フランス	3,944
メキシコ	687

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	マーキングペンの国別輸出金額							
3	単位：百万円							
4	国名	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	増減率	備考
5	アメリカ	2,523	2,685	2,949	3,171	3,676	45.7%	※
6	①	793	893	749	710	551	-30.5%	※
7	中国	1,628	1,896	③	3,338	2,898	78.0%	※
8	ドイツ	2,574	2,092	1,940	1,768	1,399	-45.6%	※
9	フランス	2,431	②	1,830	3,245	3,944	62.2%	※
10	メキシコ	851	678	813	687	687	-19.3%	※
11	合計	10,800	9,537	11,925	12,919	13,155		
12	平均	④	1,590	1,988	2,153	2,193		
13	最大	2,574	2,685	3,644	3,338	3,944		
14	最小	793	678	749	⑤	551		

(注) ※印は、値の表記を省略している。

作成条件

1. 資料を参考にして、A5～F10にデータを入力する。
2. 「増減率」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

$$\text{[2023年} \div \text{2019年} - 1]$$
3. 「備考」のH5には、次の式を設定する。

$$=IF(F5>E5,"O","")$$
4. 「合計」は、各列の合計を求める。
5. 「平均」は、各列の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
6. 「最大」は、各列の最大値を求める。
7. 「最小」は、各列の最小値を求める。

問1. 表の①～⑤に表示されるデータを答えなさい。

問2. G5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をG10までコピーする。

- ア. $=F5/\$B\$5-1$
- イ. $=\$F\$5/B5-1$
- ウ. $=F5/B5-1$

問3. H列に表示される ○ の数として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、H5の式をH10までコピーしてある。

- ア. 1
- イ. 2
- ウ. 3

問4. B11に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. $=SUM(B5:B10)$
- イ. $=SUM(B5:F5)$
- ウ. $=SUM(B5,B10)$

問5. B13に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. $=MIN(B5:B10)$
- イ. $=MAX(B5:B10)$
- ウ. $=COUNTA(B5:B10)$

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和6年度(第72回)情報処理検定試験 第3級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【5】	問1	問2	
		(1)	(2)

【6】	問1	問2

【7】	問1				
	①	②	③	④	⑤

問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和6年度(第72回)情報処理検定試験 第3級 筆記

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	ケ	カ	イ	コ	エ

【2】	1	2	3	4	5
	オ	ウ	キ	ア	ク

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	ア	ウ	イ	ア

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ア	ウ	イ	イ	ウ

各3点
20問

小計	60
----	----

【5】	問1	問2	
		(1)	(2)
	38	ア	イ

【6】	問1	問2
	180	2

【7】	問1				
	①	②	③	④	⑤
	インド	1,293	3,644	1,800	687

問2	問3	問4	問5
ウ	イ	ア	イ

※ 【7】問1は①～⑤のすべてができて正答とする。
コンマの有無は問わない。

各4点
10問

小計	40
----	----

得点合計

100

2025年1月19日実施

令和6年度（第72回）
情報処理検定試験
第3級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって，シート名「シート1」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は2ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって，1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

次の資料は、ある点心専門店の種類別販売金額（9月から12月）と南店の中華まん販売数量である。資料と作成条件にしたがってシート名「シート1」を作成しなさい。

資料

種類別販売金額（9月から12月）

単位：万円

種類	北店	西店	東店	南店
餃子	274	189	565	661
焼売	384	127	315	324
小籠包	172	1,031	181	276
中華まん	218	324	621	1,084
春巻き	176	350	447	592
ワンタン	188	293	165	439

南店の中華まん販売数量

単位：個

商品	9月	10月	11月	12月
あんまん	6,994	5,532	4,146	7,741
カレーまん	2,612	2,491	3,428	3,160
肉まん	8,810	8,669	7,821	8,789
濃厚ピザまん	3,796	3,102	4,830	6,625
その他	713	693	630	786

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

- 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

（設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ、％、小数の表示桁数）

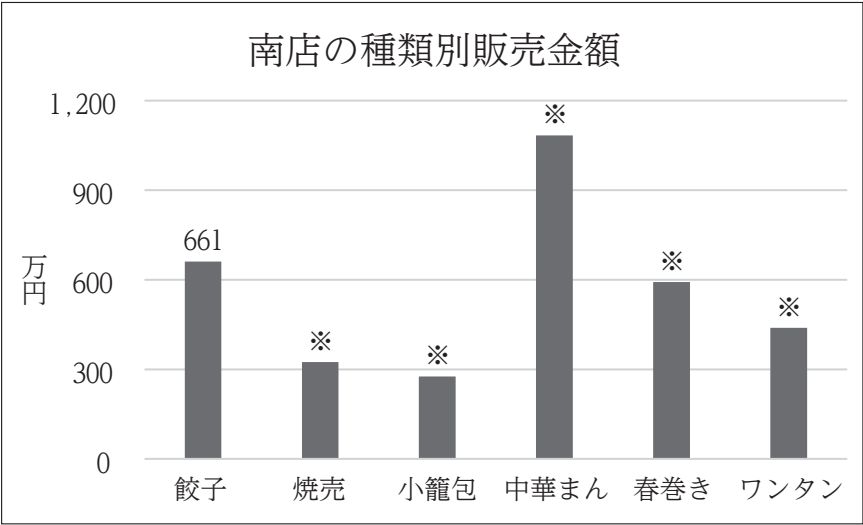
- 表の※印の部分は、式や関数を利用して求める。また、※※印の部分は、資料より必要な値を入力する。
- グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。
- 「1. 種類別販売金額」は、次のように作成する。
 - 「合計」は、「北店」から「南店」の合計を求める。
 - 「備考」は、「南店」が500以上の場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。
 - 「最大」は、各列の最大値を求める。
 - 「最小」は、各列の最小値を求める。
- 集合縦棒グラフは、「1. 種類別販売金額」から作成する。
 - 数値軸の目盛は、最小値(0)、最大値(1,200)、および間隔(300)を設定する。
 - 軸ラベルの方向を設定する。
 - データラベルを設定する。
- 「2. 南店の中華まん販売数量」は、次のように作成する。
 - 「平均」は、「9月」から「12月」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
 - 「前月比」は、「12月」を「11月」で割って求める。ただし、小数第3位未満を切り捨て、％で小数第1位まで表示する。
 - 「合計」は、各列の合計を求める。
- 折れ線グラフは、「2. 南店の中華まん販売数量」から作成する。
 - 数値軸の目盛は、最小値(2,000)、最大値(10,000)、および間隔(2,000)を設定する。
 - 軸ラベルの方向を設定する。
 - 凡例の位置を設定する。

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

販売一覧表

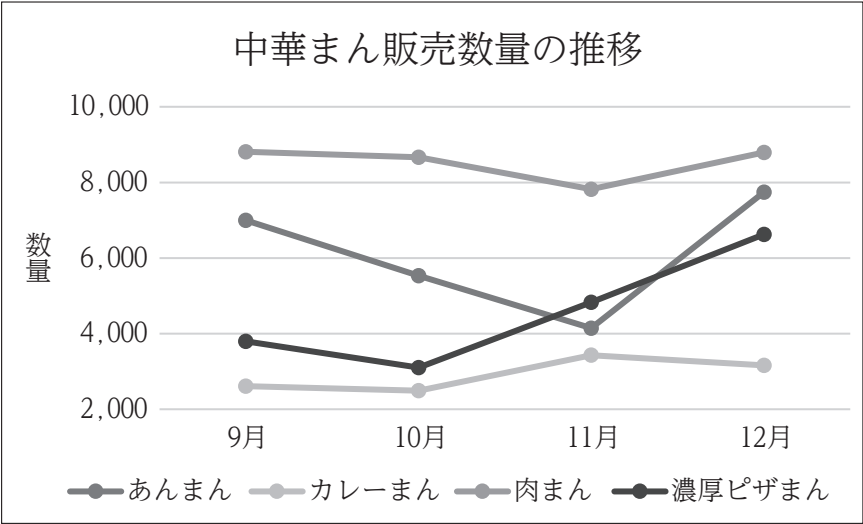
1. 種類別販売金額 単位：万円

種類	北店	西店	東店	南店	合計	備考
餃子	274	189	565	661	1,689	○
焼売	384	127	315	324	※	※
小籠包	172	1,031	181	276	※	※
中華まん	218	324	621	1,084	※	※
春巻き	176	※※	※※	592	※	※
ワンタン	188	※※	※※	439	※	※
最大	※	※	※	※		
最小	※	※	※	※		



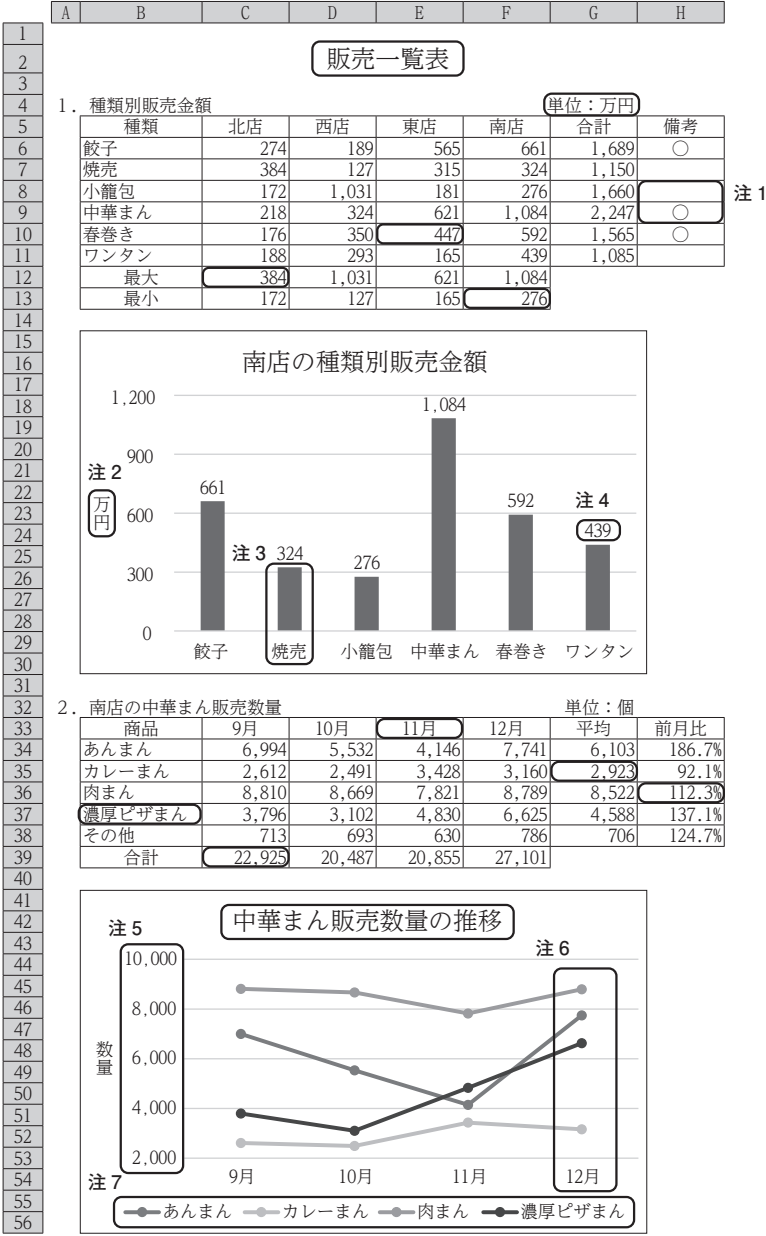
2. 南店の中華まん販売数量 単位：個

商品	9月	10月	11月	12月	平均	前月比
あんまん	6,994	5,532	4,146	7,741	6,103	186.7%
カレーまん	2,612	2,491	3,428	3,160	※	※
肉まん	8,810	8,669	7,821	8,789	※	※
濃厚ピザまん	3,796	※※	※※	6,625	※	※
その他	713	※※	※※	786	※	※
合計	※	※	※	※		



(シート1)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和 6 年度（第 72 回）情報処理検定試験 第 3 級 実技
審 査 基 準



令和6年度 第71回 情報処理検定試験

最終更新日 R6.9.22

NO. 県 名	種 別	1 級									2 級									NO. 県 名	種 別	3 級			合 計		
		ビジネス情報			プログラミング			合 計			ビジネス情報			プログラミング			合 計					合 計					
		高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計			高校	一般	計	高校	一般	計
1 北 海 道	申 込 者	978	0	978	121	0	121	1,099	0	1,099	1,343	0	1,343	280	0	280	1,623	0	1,623	1 北 海 道	申 込 者	1,143	1	1,144	3,865	1	3,866
	実受験者	872	0	872	112	0	112	984	0	984	1,264	0	1,264	256	0	256	1,520	0	1,520		実受験者	1,020	1	1,021	3,524	1	3,525
	合 格 者	244	0	244	40	0	40	284	0	284	855	0	855	154	0	154	1,009	0	1,009		合 格 者	796	1	797	2,089	1	2,090
2 青 森	申 込 者	201	1	202	108	0	108	309	1	310	293	0	293	92	0	92	385	0	385	2 青 森	申 込 者	315	0	315	1,009	1	1,010
	実受験者	191	1	192	104	0	104	295	1	296	274	0	274	88	0	88	362	0	362		実受験者	279	0	279	936	1	937
	合 格 者	48	1	49	33	0	33	81	1	82	154	0	154	56	0	56	210	0	210		合 格 者	201	0	201	492	1	493
3 岩 手	申 込 者	202	0	202	15	0	15	217	0	217	454	0	454	53	0	53	507	0	507	3 岩 手	申 込 者	358	0	358	1,082	0	1,082
	実受験者	195	0	195	12	0	12	207	0	207	415	0	415	49	0	49	464	0	464		実受験者	342	0	342	1,013	0	1,013
	合 格 者	83	0	83	5	0	5	88	0	88	235	0	235	29	0	29	264	0	264		合 格 者	274	0	274	626	0	626
4 宮 城	申 込 者	392	0	392	20	0	20	412	0	412	186	1	187	137	0	137	323	1	324	4 宮 城	申 込 者	722	1	723	1,457	2	1,459
	実受験者	359	0	359	18	0	18	377	0	377	169	1	170	99	0	99	268	1	269		実受験者	664	1	665	1,309	2	1,311
	合 格 者	76	0	76	8	0	8	84	0	84	64	0	64	41	0	41	105	0	105		合 格 者	543	1	544	732	1	733
5 秋 田	申 込 者	79	0	79	1	0	1	80	0	80	192	0	192	3	0	3	195	0	195	5 秋 田	申 込 者	469	0	469	744	0	744
	実受験者	72	0	72	1	0	1	73	0	73	184	0	184	3	0	3	187	0	187		実受験者	452	0	452	712	0	712
	合 格 者	20	0	20	1	0	1	21	0	21	124	0	124	1	0	1	125	0	125		合 格 者	400	0	400	546	0	546
6 山 形	申 込 者	128	0	128	5	0	5	133	0	133	204	0	204	8	0	8	212	0	212	6 山 形	申 込 者	318	0	318	663	0	663
	実受験者	118	0	118	5	0	5	123	0	123	194	0	194	8	0	8	202	0	202		実受験者	287	0	287	612	0	612
	合 格 者	36	0	36	0	0	0	36	0	36	117	0	117	3	0	3	120	0	120		合 格 者	212	0	212	368	0	368
7 福 島	申 込 者	398	0	398	136	0	136	534	0	534	468	0	468	98	0	98	566	0	566	7 福 島	申 込 者	778	0	778	1,878	0	1,878
	実受験者	372	0	372	132	0	132	504	0	504	443	0	443	96	0	96	539	0	539		実受験者	739	0	739	1,782	0	1,782
	合 格 者	140	0	140	58	0	58	198	0	198	300	0	300	64	0	64	364	0	364		合 格 者	645	0	645	1,207	0	1,207
8 茨 城	申 込 者	359	0	359	125	0	125	484	0	484	512	0	512	159	0	159	671	0	671	8 茨 城	申 込 者	579	0	579	1,734	0	1,734
	実受験者	328	0	328	121	0	121	449	0	449	433	0	433	152	0	152	585	0	585		実受験者	499	0	499	1,533	0	1,533
	合 格 者	95	0	95	25	0	25	120	0	120	228	0	228	90	0	90	318	0	318		合 格 者	394	0	394	832	0	832
9 栃 木	申 込 者	773	0	773	157	0	157	930	0	930	593	0	593	89	0	89	682	0	682	9 栃 木	申 込 者	698	0	698	2,310	0	2,310
	実受験者	710	0	710	153	0	153	863	0	863	516	0	516	86	0	86	602	0	602		実受験者	660	0	660	2,125	0	2,125
	合 格 者	174	0	174	49	0	49	223	0	223	263	0	263	55	0	55	318	0	318		合 格 者	568	0	568	1,109	0	1,109
10 群 馬	申 込 者	977	0	977	284	0	284	1,261	0	1,261	112	0	112	105	0	105	217	0	217	10 群 馬	申 込 者	300	0	300	1,778	0	1,778
	実受験者	920	0	920	269	0	269	1,189	0	1,189	100	0	100	89	0	89	189	0	189		実受験者	272	0	272	1,650	0	1,650
	合 格 者	267	0	267	81	0	81	348	0	348	51	0	51	48	0	48	99	0	99		合 格 者	213	0	213	660	0	660
11 埼 玉	申 込 者	620	0	620	93	0	93	713	0	713	1,763	1	1,764	409	0	409	2,172	1	2,173	11 埼 玉	申 込 者	1,230	0	1,230	4,115	1	4,116
	実受験者	544	0	544	83	0	83	627	0	627	1,654	0	1,654	370	0	370	2,024	0	2,024		実受験者	1,163	0	1,163	3,814	0	3,814
	合 格 者	140	0	140	17	0	17	157	0	157	1,045	0	1,045	200	0	200	1,245	0	1,245		合 格 者	888	0	888	2,290	0	2,290
12 千 葉	申 込 者	668	0	668	165	0	165	833	0	833	557	1	558	230	0	230	787	1	788	12 千 葉	申 込 者	932	0	932	2,552	1	2,553
	実受験者	604	0	604	154	0	154	758	0	758	466	1	467	207	0	207	673	1	674		実受験者	825	0	825	2,256	1	2,257
	合 格 者	221	0	221	45	0	45	266	0	266	273	1	274	116	0	116	389	1	390		合 格 者	712	0	712	1,367	1	1,368
13 山 梨	申 込 者	159	0	159	39	0	39	198	0	198	173	0	173	169	0	169	342	0	342	13 山 梨	申 込 者	343	0	343	883	0	883
	実受験者	149	0	149	38	0	38	187	0	187	149	0	149	162	0	162	311	0	311		実受験者	335	0	335	833	0	833
	合 格 者	36	0	36	11	0	11	47	0	47	73	0	73	120	0	120	193	0	193		合 格 者	329	0	329	569	0	569
14 東 京	申 込 者	212	0	212	15	0	15	227	0	227	267	0	267	14	0	14	281	0	281	14 東 京	申 込 者	667	1	668	1,175	1	1,176
	実受験者	173	0	173	11	0	11	184	0	184	219	0	219	12	0	12	231	0	231		実受験者	631	1	632	1,046	1	1,047
	合 格 者	32	0	32	1	0	1	33	0	33	112	0	112	5	0	5	117	0	117		合 格 者	498	1	499	648	1	649
15 神 奈 川	申 込 者	218	0	218	60	0	60	278	0	278	401	0	401	91	0	91	492	0	492	15 神 奈 川	申 込 者	1,215	0	1,215	1,985	0	1,985
	実受験者	192	0	192	55	0	55	247	0	247	366	0	366	76	0	76	442	0	442		実受験者	1,134	0	1,134	1,823	0	1,823
	合 格 者	36	0	36	23	0	23	59	0	59	232	0	232	49	0	49	281	0	281		合 格 者	889	0	889	1,229	0	1,229
16 新 潟	申 込 者	415	0	415	52	0	52																				

NO. 県 名 種 別		1 級									2 級									NO. 県 名 種 別		3 級			合 計		
		ビジネス情報			プログラミング			合 計			ビジネス情報			プログラミング			合 計					合 計					
		高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計			高校	一般	計	高校	一般	計
25 滋 賀	申 込 者	165	0	165	9	0	9	174	0	174	382	0	382	98	0	98	480	0	480	25 滋 賀	申 込 者	179	0	179	833	0	833
	実受験者	152	0	152	8	0	8	160	0	160	356	0	356	92	0	92	448	0	448		実受験者	157	0	157	765	0	765
	合 格 者	54	0	54	2	0	2	56	0	56	248	0	248	77	0	77	325	0	325		合 格 者	108	0	108	489	0	489
26 京 都	申 込 者	198	0	198	7	0	7	205	0	205	248	0	248	2	0	2	250	0	250	26 京 都	申 込 者	432	0	432	887	0	887
	実受験者	177	0	177	7	0	7	184	0	184	188	0	188	2	0	2	190	0	190		実受験者	401	0	401	775	0	775
	合 格 者	51	0	51	3	0	3	54	0	54	83	0	83	1	0	1	84	0	84		合 格 者	347	0	347	485	0	485
27 大 阪	申 込 者	280	0	280	285	0	285	565	0	565	541	3	544	322	0	322	863	3	866	27 大 阪	申 込 者	856	0	856	2,284	3	2,287
	実受験者	236	0	236	269	0	269	505	0	505	457	3	460	251	0	251	708	3	711		実受験者	706	0	706	1,919	3	1,922
	合 格 者	67	0	67	63	0	63	130	0	130	239	2	241	75	0	75	314	2	316		合 格 者	382	0	382	826	2	828
28 兵 庫	申 込 者	823	0	823	326	0	326	1,149	0	1,149	400	0	400	351	0	351	751	0	751	28 兵 庫	申 込 者	1,717	0	1,717	3,617	0	3,617
	実受験者	728	0	728	295	0	295	1,023	0	1,023	344	0	344	333	0	333	677	0	677		実受験者	1,605	0	1,605	3,305	0	3,305
	合 格 者	194	0	194	60	0	60	254	0	254	188	0	188	218	0	218	406	0	406		合 格 者	1,402	0	1,402	2,062	0	2,062
29 奈 良	申 込 者	360	0	360	7	0	7	367	0	367	192	0	192	40	0	40	232	0	232	29 奈 良	申 込 者	187	0	187	786	0	786
	実受験者	322	0	322	5	0	5	327	0	327	156	0	156	36	0	36	192	0	192		実受験者	174	0	174	693	0	693
	合 格 者	172	0	172	1	0	1	173	0	173	88	0	88	16	0	16	104	0	104		合 格 者	147	0	147	424	0	424
30 和 歌 山	申 込 者	132	0	132	61	0	61	193	0	193	174	0	174	79	0	79	253	0	253	30 和 歌 山	申 込 者	448	0	448	894	0	894
	実受験者	119	0	119	53	0	53	172	0	172	147	0	147	75	0	75	222	0	222		実受験者	416	0	416	810	0	810
	合 格 者	30	0	30	16	0	16	46	0	46	84	0	84	50	0	50	134	0	134		合 格 者	359	0	359	539	0	539
31 鳥 取	申 込 者	122	0	122	53	0	53	175	0	175	136	0	136	37	0	37	173	0	173	31 鳥 取	申 込 者	207	0	207	555	0	555
	実受験者	105	0	105	45	0	45	150	0	150	116	0	116	32	0	32	148	0	148		実受験者	179	0	179	477	0	477
	合 格 者	10	0	10	6	0	6	16	0	16	49	0	49	18	0	18	67	0	67		合 格 者	125	0	125	208	0	208
32 島 根	申 込 者	154	0	154	98	0	98	252	0	252	212	0	212	129	0	129	341	0	341	32 島 根	申 込 者	89	0	89	682	0	682
	実受験者	141	0	141	89	0	89	230	0	230	201	0	201	120	0	120	321	0	321		実受験者	79	0	79	630	0	630
	合 格 者	34	0	34	23	0	23	57	0	57	73	0	73	88	0	88	161	0	161		合 格 者	61	0	61	279	0	279
33 岡 山	申 込 者	957	0	957	234	0	234	1,191	0	1,191	176	0	176	240	0	240	416	0	416	33 岡 山	申 込 者	449	0	449	2,056	0	2,056
	実受験者	842	0	842	203	0	203	1,045	0	1,045	125	0	125	211	0	211	336	0	336		実受験者	374	0	374	1,755	0	1,755
	合 格 者	233	0	233	78	0	78	311	0	311	33	0	33	158	0	158	191	0	191		合 格 者	288	0	288	790	0	790
34 広 島	申 込 者	212	0	212	57	0	57	269	0	269	580	0	580	170	0	170	750	0	750	34 広 島	申 込 者	613	1	614	1,632	1	1,633
	実受験者	158	0	158	47	0	47	205	0	205	487	0	487	155	0	155	642	0	642		実受験者	574	1	575	1,421	1	1,422
	合 格 者	30	0	30	16	0	16	46	0	46	246	0	246	105	0	105	351	0	351		合 格 者	504	1	505	901	1	902
35 山 口	申 込 者	183	0	183	75	0	75	258	0	258	215	0	215	35	0	35	250	0	250	35 山 口	申 込 者	374	0	374	882	0	882
	実受験者	174	0	174	70	0	70	244	0	244	205	0	205	33	0	33	238	0	238		実受験者	347	0	347	829	0	829
	合 格 者	72	0	72	21	0	21	93	0	93	150	0	150	20	0	20	170	0	170		合 格 者	280	0	280	543	0	543
36 香 川	申 込 者	180	0	180	29	0	29	209	0	209	443	0	443	58	0	58	501	0	501	36 香 川	申 込 者	526	0	526	1,236	0	1,236
	実受験者	163	0	163	28	0	28	191	0	191	382	0	382	53	0	53	435	0	435		実受験者	504	0	504	1,130	0	1,130
	合 格 者	58	0	58	8	0	8	66	0	66	258	0	258	38	0	38	296	0	296		合 格 者	463	0	463	825	0	825
37 徳 島	申 込 者	202	0	202	13	0	13	215	0	215	256	0	256	104	0	104	360	0	360	37 徳 島	申 込 者	472	0	472	1,047	0	1,047
	実受験者	184	0	184	9	0	9	193	0	193	225	0	225	90	0	90	315	0	315		実受験者	430	0	430	938	0	938
	合 格 者	32	0	32	3	0	3	35	0	35	76	0	76	42	0	42	118	0	118		合 格 者	332	0	332	485	0	485
38 愛 媛	申 込 者	685	0	685	182	0	182	867	0	867	423	0	423	89	0	89	512	0	512	38 愛 媛	申 込 者	742	0	742	2,121	0	2,121
	実受験者	603	0	603	168	0	168	771	0	771	376	0	376	81	0	81	457	0	457		実受験者	698	0	698	1,926	0	1,926
	合 格 者	147	0	147	42	0	42	189	0	189	196	0	196	47	0	47	243	0	243		合 格 者	525	0	525	957	0	957
39 高 知	申 込 者	47	0	47	73	0	73	120	0	120	79	0	79	2	0	2	81	0	81	39 高 知	申 込 者	150	0	150	351	0	351
	実受験者	40	0	40	67	0	67	107	0	107	64	0	64	2	0	2	66	0	66		実受験者	136	0	136	309	0	309
	合 格 者	11	0	11	22	0	22	33	0	33	35	0	35	0	0	0	35	0	35		合 格 者	118	0	118	186	0	186
40 福 岡	申 込 者	850	0	850	79	0	79	929	0	929	935	0	935	319	0	319	1,254	0	1,254	40 福 岡	申 込 者	1,449	0	1,449	3,632		

令和6年度 第72回 情報処理検定試験

最終更新日 R7.1.19

NO. 県 名 種 別	1 級									2 級									NO. 県 名 種 別	3 級			合 計				
	ビジネス情報			プログラミング			合 計			ビジネス情報			プログラミング			合 計				高校	一般	計	高校	一般	計		
	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計									
1 北 海 道	申 込 者	936	0	936	389	0	389	1,325	0	1,325	1,826	1	1,827	405	0	405	2,231	1	2,232	1 北 海 道	申 込 者	1,218	0	1,218	4,774	1	4,775
	実受験者	854	0	854	367	0	367	1,221	0	1,221	1,591	1	1,592	379	0	379	1,970	1	1,971		実受験者	1,043	0	1,043	4,234	1	4,235
	合 格 者	176	0	176	151	0	151	327	0	327	990	1	991	263	0	263	1,253	1	1,254		合 格 者	731	0	731	2,311	1	2,312
2 青 森	申 込 者	291	0	291	153	0	153	444	0	444	482	0	482	119	0	119	601	0	601	2 青 森	申 込 者	601	0	601	1,646	0	1,646
	実受験者	276	0	276	148	0	148	424	0	424	460	0	460	109	0	109	569	0	569		実受験者	551	0	551	1,544	0	1,544
	合 格 者	63	0	63	47	0	47	110	0	110	283	0	283	74	0	74	357	0	357		合 格 者	317	0	317	784	0	784
3 岩 手	申 込 者	299	0	299	174	0	174	473	0	473	761	0	761	212	0	212	973	0	973	3 岩 手	申 込 者	474	0	474	1,920	0	1,920
	実受験者	277	0	277	169	0	169	446	0	446	701	0	701	202	0	202	903	0	903		実受験者	424	0	424	1,773	0	1,773
	合 格 者	42	0	42	75	0	75	117	0	117	430	0	430	163	0	163	593	0	593		合 格 者	289	0	289	999	0	999
4 宮 城	申 込 者	452	0	452	64	0	64	516	0	516	1,095	1	1,096	90	0	90	1,185	1	1,186	4 宮 城	申 込 者	97	0	97	1,798	1	1,799
	実受験者	425	0	425	59	0	59	484	0	484	998	1	999	78	0	78	1,076	1	1,077		実受験者	88	0	88	1,648	1	1,649
	合 格 者	128	0	128	19	0	19	147	0	147	690	1	691	28	0	28	718	1	719		合 格 者	60	0	60	925	1	926
5 秋 田	申 込 者	164	0	164	18	0	18	182	0	182	404	0	404	116	0	116	520	0	520	5 秋 田	申 込 者	604	0	604	1,306	0	1,306
	実受験者	159	0	159	18	0	18	177	0	177	372	0	372	109	0	109	481	0	481		実受験者	546	0	546	1,204	0	1,204
	合 格 者	33	0	33	1	0	1	34	0	34	151	0	151	75	0	75	226	0	226		合 格 者	358	0	358	618	0	618
6 山 形	申 込 者	182	0	182	79	0	79	261	0	261	305	0	305	68	0	68	373	0	373	6 山 形	申 込 者	461	0	461	1,095	0	1,095
	実受験者	167	0	167	78	0	78	245	0	245	291	0	291	64	0	64	355	0	355		実受験者	439	0	439	1,039	0	1,039
	合 格 者	57	0	57	28	0	28	85	0	85	206	0	206	54	0	54	260	0	260		合 格 者	407	0	407	752	0	752
7 福 島	申 込 者	417	0	417	381	0	381	798	0	798	722	0	722	383	0	383	1,105	0	1,105	7 福 島	申 込 者	614	0	614	2,517	0	2,517
	実受験者	389	0	389	361	0	361	750	0	750	672	0	672	371	0	371	1,043	0	1,043		実受験者	582	0	582	2,375	0	2,375
	合 格 者	102	0	102	164	0	164	266	0	266	450	0	450	277	0	277	727	0	727		合 格 者	445	0	445	1,438	0	1,438
8 茨 城	申 込 者	731	0	731	199	0	199	930	0	930	1,029	0	1,029	69	0	69	1,098	0	1,098	8 茨 城	申 込 者	1,035	0	1,035	3,063	0	3,063
	実受験者	694	0	694	192	0	192	886	0	886	961	0	961	62	0	62	1,023	0	1,023		実受験者	908	0	908	2,817	0	2,817
	合 格 者	220	0	220	53	0	53	273	0	273	672	0	672	37	0	37	709	0	709		合 格 者	646	0	646	1,628	0	1,628
9 栃 木	申 込 者	895	0	895	355	0	355	1,250	0	1,250	689	0	689	61	0	61	750	0	750	9 栃 木	申 込 者	654	0	654	2,654	0	2,654
	実受験者	812	0	812	346	0	346	1,158	0	1,158	621	0	621	55	0	55	676	0	676		実受験者	584	0	584	2,418	0	2,418
	合 格 者	103	0	103	124	0	124	227	0	227	367	0	367	18	0	18	385	0	385		合 格 者	424	0	424	1,036	0	1,036
10 群 馬	申 込 者	1,001	0	1,001	299	0	299	1,300	0	1,300	1,584	0	1,584	282	0	282	1,866	0	1,866	10 群 馬	申 込 者	364	1	365	3,530	1	3,531
	実受験者	898	0	898	282	0	282	1,180	0	1,180	1,484	0	1,484	257	0	257	1,741	0	1,741		実受験者	302	1	303	3,223	1	3,224
	合 格 者	152	0	152	91	0	91	243	0	243	1,069	0	1,069	185	0	185	1,254	0	1,254		合 格 者	153	1	154	1,650	1	1,651
11 埼 玉	申 込 者	734	2	736	281	0	281	1,015	2	1,017	1,591	3	1,594	278	0	278	1,869	3	1,872	11 埼 玉	申 込 者	2,419	1	2,420	5,303	6	5,309
	実受験者	659	1	660	271	0	271	930	1	931	1,459	2	1,461	249	0	249	1,708	2	1,710		実受験者	2,222	1	2,223	4,860	4	4,864
	合 格 者	160	0	160	90	0	90	250	0	250	711	2	713	157	0	157	868	2	870		合 格 者	1,689	1	1,690	2,807	3	2,810
12 千 葉	申 込 者	699	0	699	353	0	353	1,052	0	1,052	1,487	0	1,487	355	0	355	1,842	0	1,842	12 千 葉	申 込 者	507	5	512	3,401	5	3,406
	実受験者	654	0	654	341	0	341	995	0	995	1,401	0	1,401	329	0	329	1,730	0	1,730		実受験者	449	5	454	3,174	5	3,179
	合 格 者	206	0	206	122	0	122	328	0	328	1,034	0	1,034	206	0	206	1,240	0	1,240		合 格 者	334	5	339	1,902	5	1,907
13 山 梨	申 込 者	198	0	198	151	0	151	349	0	349	485	0	485	47	0	47	532	0	532	13 山 梨	申 込 者	204	0	204	1,085	0	1,085
	実受験者	181	0	181	144	0	144	325	0	325	450	0	450	40	0	40	490	0	490		実受験者	184	0	184	999	0	999
	合 格 者	50	0	50	46	0	46	96	0	96	327	0	327	17	0	17	344	0	344		合 格 者	129	0	129	569	0	569
14 東 京	申 込 者	235	0	235	39	0	39	274	0	274	706	0	706	21	0	21	727	0	727	14 東 京	申 込 者	1,104	0	1,104	2,105	0	2,105
	実受験者	203	0	203	36	0	36	239	0	239	651	0	651	17	0	17	668	0	668		実受験者	1,004	0	1,004	1,911	0	1,911
	合 格 者	36	0	36	13	0	13	49	0	49	374	0	374	7	0	7	381	0	381		合 格 者	751	0	751	1,181	0	1,181
15 神 奈 川	申 込 者	335	0	335	47	0	47	382	0	382	760	0	760	113	0	113	873	0	873	15 神 奈 川	申 込 者	416	1	417	1,671	1	1,672
	実受験者	295	0	295	42	0	42	337	0	337	699	0	699	104	0	104	803	0	803		実受験者	388	1</				

NO. 県 名 種 別		1 級									2 級									NO. 県 名 種 別		3 級			合 計		
		ビジネス情報			プログラミング			合 計			ビジネス情報			プログラミング			合 計					合 計					
		高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計			高校	一般	計	高校	一般	計
25 滋 賀	申 込 者	222	0	222	96	0	96	318	0	318	512	0	512	101	0	101	613	0	613	25 滋 賀	申 込 者	323	0	323	1,254	0	1,254
	実受験者	212	0	212	89	0	89	301	0	301	471	0	471	95	0	95	566	0	566		実受験者	293	0	293	1,160	0	1,160
	合 格 者	58	0	58	42	0	42	100	0	100	308	0	308	67	0	67	375	0	375		合 格 者	251	0	251	726	0	726
26 京 都	申 込 者	156	0	156	28	0	28	184	0	184	601	1	602	1	0	1	602	1	603	26 京 都	申 込 者	169	0	169	955	1	956
	実受験者	141	0	141	27	0	27	168	0	168	550	1	551	1	0	1	551	1	552		実受験者	150	0	150	869	1	870
	合 格 者	34	0	34	10	0	10	44	0	44	307	1	308	1	0	1	308	1	309		合 格 者	97	0	97	449	1	450
27 大 阪	申 込 者	320	0	320	298	0	298	618	0	618	779	0	779	365	1	366	1,144	1	1,145	27 大 阪	申 込 者	861	0	861	2,623	1	2,624
	実受験者	286	0	286	283	0	283	569	0	569	668	0	668	335	1	336	1,003	1	1,004		実受験者	654	0	654	2,226	1	2,227
	合 格 者	69	0	69	80	0	80	149	0	149	289	0	289	214	1	215	503	1	504		合 格 者	363	0	363	1,015	1	1,016
28 兵 庫	申 込 者	900	0	900	590	0	590	1,490	0	1,490	1,651	0	1,651	396	0	396	2,047	0	2,047	28 兵 庫	申 込 者	472	0	472	4,009	0	4,009
	実受験者	780	0	780	559	0	559	1,339	0	1,339	1,455	0	1,455	368	0	368	1,823	0	1,823		実受験者	396	0	396	3,558	0	3,558
	合 格 者	132	0	132	161	0	161	293	0	293	779	0	779	221	0	221	1,000	0	1,000		合 格 者	288	0	288	1,581	0	1,581
29 奈 良	申 込 者	289	0	289	180	0	180	469	0	469	549	0	549	40	0	40	589	0	589	29 奈 良	申 込 者	119	0	119	1,177	0	1,177
	実受験者	256	0	256	158	0	158	414	0	414	495	0	495	40	0	40	535	0	535		実受験者	115	0	115	1,064	0	1,064
	合 格 者	50	0	50	44	0	44	94	0	94	359	0	359	31	0	31	390	0	390		合 格 者	100	0	100	584	0	584
30 和 歌 山	申 込 者	436	1	437	23	1	24	459	2	461	957	0	957	20	0	20	977	0	977	30 和 歌 山	申 込 者	51	0	51	1,487	2	1,489
	実受験者	379	1	380	22	1	23	401	2	403	864	0	864	14	0	14	878	0	878		実受験者	30	0	30	1,309	2	1,311
	合 格 者	79	1	80	13	0	13	92	1	93	498	0	498	8	0	8	506	0	506		合 格 者	23	0	23	621	1	622
31 鳥 取	申 込 者	197	0	197	57	0	57	254	0	254	375	0	375	10	0	10	385	0	385	31 鳥 取	申 込 者	235	0	235	874	0	874
	実受験者	176	0	176	54	0	54	230	0	230	361	0	361	6	0	6	367	0	367		実受験者	215	0	215	812	0	812
	合 格 者	31	0	31	7	0	7	38	0	38	234	0	234	1	0	1	235	0	235		合 格 者	123	0	123	396	0	396
32 島 根	申 込 者	389	0	389	166	0	166	555	0	555	736	0	736	15	0	15	751	0	751	32 島 根	申 込 者	140	0	140	1,446	0	1,446
	実受験者	364	0	364	162	0	162	526	0	526	697	0	697	14	0	14	711	0	711		実受験者	130	0	130	1,367	0	1,367
	合 格 者	111	0	111	58	0	58	169	0	169	478	0	478	9	0	9	487	0	487		合 格 者	74	0	74	730	0	730
33 岡 山	申 込 者	1,440	0	1,440	350	0	350	1,790	0	1,790	1,856	0	1,856	170	0	170	2,026	0	2,026	33 岡 山	申 込 者	331	1	332	4,147	1	4,148
	実受験者	1,322	0	1,322	320	0	320	1,642	0	1,642	1,690	0	1,690	155	0	155	1,845	0	1,845		実受験者	245	1	246	3,732	1	3,733
	合 格 者	357	0	357	111	0	111	468	0	468	1,284	0	1,284	111	0	111	1,395	0	1,395		合 格 者	146	1	147	2,009	1	2,010
34 広 島	申 込 者	532	1	533	139	0	139	671	1	672	961	1	962	337	0	337	1,298	1	1,299	34 広 島	申 込 者	763	1	764	2,732	3	2,735
	実受験者	397	1	398	124	0	124	521	1	522	795	1	796	253	0	253	1,048	1	1,049		実受験者	676	1	677	2,245	3	2,248
	合 格 者	62	1	63	33	0	33	95	1	96	456	1	457	168	0	168	624	1	625		合 格 者	502	1	503	1,221	3	1,224
35 山 口	申 込 者	316	0	316	125	0	125	441	0	441	817	0	817	199	0	199	1,016	0	1,016	35 山 口	申 込 者	387	0	387	1,844	0	1,844
	実受験者	306	0	306	121	0	121	427	0	427	788	0	788	196	0	196	984	0	984		実受験者	357	0	357	1,768	0	1,768
	合 格 者	109	0	109	36	0	36	145	0	145	588	0	588	166	0	166	754	0	754		合 格 者	291	0	291	1,190	0	1,190
36 香 川	申 込 者	239	0	239	51	0	51	290	0	290	547	0	547	11	0	11	558	0	558	36 香 川	申 込 者	198	0	198	1,046	0	1,046
	実受験者	224	0	224	49	0	49	273	0	273	506	0	506	7	0	7	513	0	513		実受験者	175	0	175	961	0	961
	合 格 者	64	0	64	24	0	24	88	0	88	344	0	344	2	0	2	346	0	346		合 格 者	146	0	146	580	0	580
37 徳 島	申 込 者	255	0	255	51	0	51	306	0	306	546	0	546	62	0	62	608	0	608	37 徳 島	申 込 者	336	0	336	1,250	0	1,250
	実受験者	211	0	211	48	0	48	259	0	259	470	0	470	55	0	55	525	0	525		実受験者	282	0	282	1,066	0	1,066
	合 格 者	27	0	27	23	0	23	50	0	50	170	0	170	30	0	30	200	0	200		合 格 者	164	0	164	414	0	414
38 愛 媛	申 込 者	445	1	446	302	1	303	747	2	749	863	1	864	151	0	151	1,014	1	1,015	38 愛 媛	申 込 者	532	2	534	2,293	5	2,298
	実受験者	398	1	399	287	1	288	685	2	687	799	1	800	148	0	148	947	1	948		実受験者	467	1	468	2,099	4	2,103
	合 格 者	83	0	83	78	0	78	161	0	161	424	1	425	100	0	100	524	1	525		合 格 者	310	1	311	995	2	997
39 高 知	申 込 者	165	0	165	4	0	4	169	0	169	372	0	372	67	0	67	439	0	439	39 高 知	申 込 者	245	0	245	853	0	853
	実受験者	149	0	149	4	0	4	153	0	153	288	0	288	64	0	64	352	0	352		実受験者	189	0	189	694	0	694
	合 格 者	48	0	48	1	0	1	49	0	49	152	0	152	50	0	50	202	0	202		合 格 者	120	0	120	371	0	371
40 福 岡	申 込 者	945	0	945</																							